Panasonic

パーソナルファクシミリ

取扱説明書（ファクス編）

品番 UF-L1WCL
UF-L2CL

このたびはパーソナルファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

●この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、
販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

もくじ

まず ご使用まえに準備と確認を

準備する（親機／子機）

音量調節/呼出音の種類を変える

お使いになる前に登録する

すぐ 使いたいとき

電話する

ファクスする

留守セットする

ハンドスキャナー

もっと使いこなしたいとき

呼出メロディーを 自分で作った曲に変える

外出先から 留守中の用件を聞く

便利な使いかた

リストのプリント

もし必要なとき

増設するときは

お手入れのしかた …82

故障かな！?

困ったときは

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

電池パックから液漏れしたとき“液”が目に入ると危険

失明の恐れがあります。こすらずに、すぐに水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣服に付いたときは、すぐに洗い流してください。

専用の電池パックです 指定以外の機器に使用しない

禁止

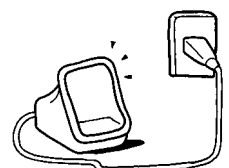
液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

電池パックをお使いになるとき、次のようなことはしない

（火中に投げ入れたり、加熱したり、プラスとマイナスを針金などの金属物で接続したり、金属製の物と一緒に保管したり、変形させたり、ハンダ付けしたり、電子レンジや高圧容器に入れたり、強い衝撃を与えたり投げ付けたりしない）

禁止

液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

専用の充電台を使用して、指定の電池パックを充電する

液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

⚠危険

電池パックを分解・改造しない

分解禁止

液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

⚠警告

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

医用電気機器の近くでの設置または使用をしない
医用電気機器を近づけない

禁止

（手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない。）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
＊CCUとは冠状動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでの設置または使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

煙・異臭がしたり、落下・破損したとき、内部に異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。
●販売店または修理ご相談窓口にご連絡ください。

本機を分解・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
●販売店または修理ご相談窓口にご連絡ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

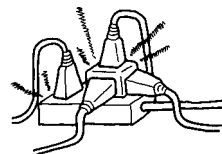
⚠警告

本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない（花びん、コップ、化粧品、クリップなど）

禁止

こぼれたり、落ちたりして内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、火災・ショート・感電の原因となります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
また、抜き差しするときはプラグ（金属でない部分）を持つ

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

所定の充電時間を超えても短時間の使用で、使えなくなった電池パックは使用しない

禁止

液漏れ・発熱の原因となります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電池パックを水や海水にぬらさない

禁止

発熱やサビの原因となります。

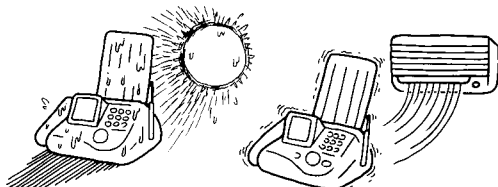
指定の電池以外は使用しない

禁止

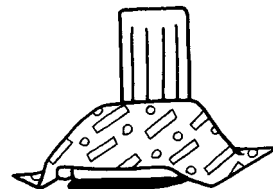
液漏れ・発熱・破裂・発煙・やけどの恐れがあります。

⚠注意

直射日光の当たる場所や、エアコンや暖房機のそばなど温度変化の激しい場所には置かない

禁止

内部の温度が上がる、カバーや電源コードの被覆が溶ける、本機の内部に結露が発生するなどで、火災・感電の原因となることがあります。

本機に布などをかぶせない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない(調理台、風呂場、加湿器のそばなど)

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多い場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

移動する場合は、電源コードや回線コードなどをはずすまた、ハンドスキャナーがついている方を上に向けて移動する

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、ハンドスキャナーが落ちて、けがの原因となることがあります。

開閉部を閉めるときは手を挟まないように注意する

指に注意

けがの原因となることがあります。

子機を壁に掛けて使うときは、充電台を確実に取り付ける

落ちて、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行う

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

湿気の多い場所では、アース線を取り付けて使用する

アース線接続

感電の原因となることがあります。

ご使用前のお願い

こんなところには置かないで
●暑い場所（35°C以上）や寒い場所（5°C以下）
⇨ 誤動作の原因
●じゅうたんなどの上
⇨ 発熱により、じゅうたんの変色の原因
●ピアノや高級家具などの上
⇨ ひびわれやキズ・変色の原因
記録紙をセットしたあと必ず防塵カバーを取り付ける
記録紙の給紙不良などの防止
アンテナは垂直にすべてのばす
雑音の防止や子機へ電波を届きやすくするため
親機の前に障害物を置かない
送信やコピーした原稿が引っかかり、紙づまりの原因
親機と子機の充電台の電源コードは
無線機器
テレビ
やラジオの近くで使用しない

お願い

●親機のアンテナに電源コードや充電台を近づけない ➪ 雑音の防止
●動作中は、操作パネル部を開けたり、ハンドスキャナーを外さない
➪ 動作の中断防止
●強い衝撃を与えない➪故障の原因
●ハンドスキャナーを屋外で使用しない
➪ 読取不良の原因
●日常点検をしやすくするために壁から少し離して設置することをおすすめします。

インクフィルム

●当社指定品を使う
●保管は、高温・多湿・直射日光が当たる場所は避ける
●ご使用済みは「燃えるゴミ」へ
➪地域によっては条例により「不燃ゴミ」として取り扱われます。
➪インクフィルムの材質は、芯が**「紙製」**
フィルムが**「ポリエチレン・カーボン・パラフィン」**になります。
➪印刷文字が白抜きで残ります。廃棄には、情報の保護にお気をつけください。
●コピーや受信のとき、数行の印刷でも、1回約315mm（A4サイズ相当）を使います。
添付品での印刷枚数：約30枚
別売品での印刷枚数：約95枚（利用状況により少なくなります）

記録紙

●当社推奨品を使う
●保管は、高温・多湿・直射日光が当たる場所は避ける
■プリントした記録紙の扱い
別の紙を上にのせて、文字を書かないでください。別の紙や机などにインクが転写することがあります。

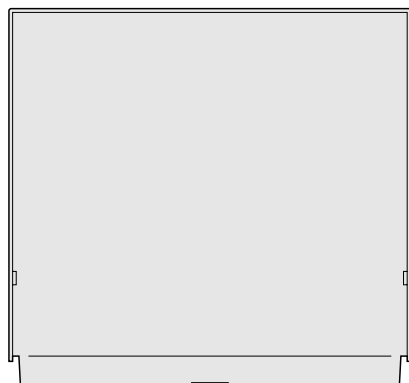
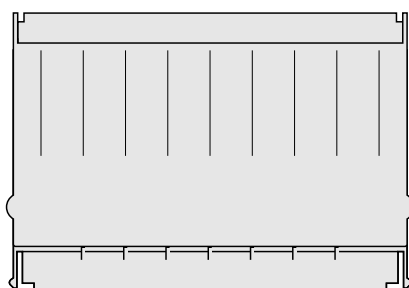
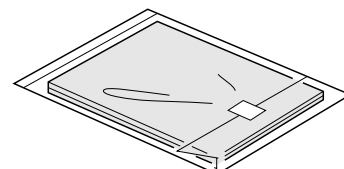
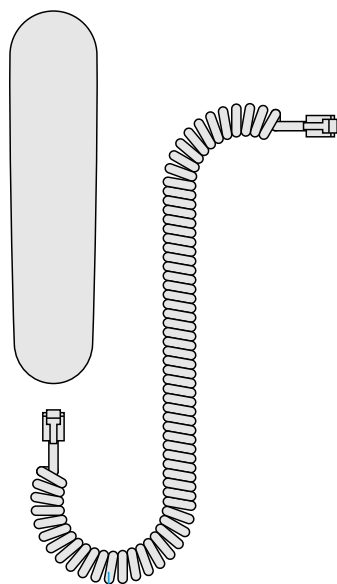
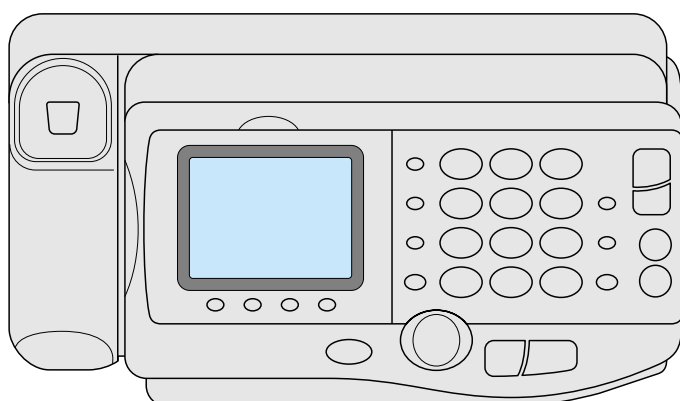
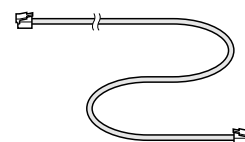
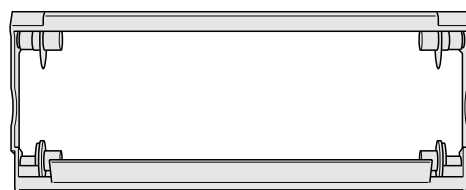
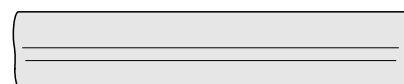
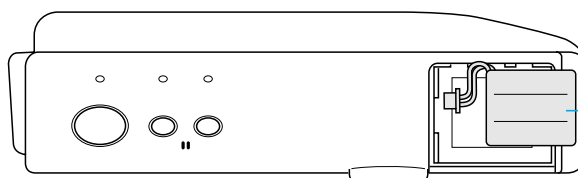
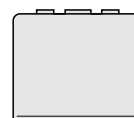
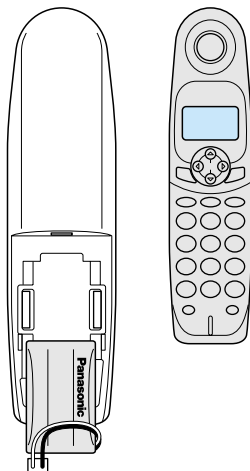
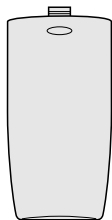
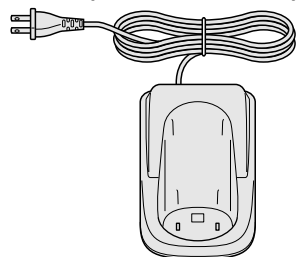
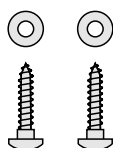
子機

●**親機から見通し距離約100m以内で使用してください。**
鉄筋コンクリート、金属の扉など周囲の環境によっては、雑音が入り電波が届かなくなったり、使用範囲が狭くなったりします。
➪ ご使用前に、親機と子機の間で内線通話を（☞40ページ）して、通話できる範囲を確認してください。
●**雑音が入ります** ➪ 自動車やオートバイが近くを通ったとき
蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき
●**使用後は、必ず外線ボタンを押し、ランプを消灯させる**
➪ 消し忘れると、話し中の状態になります。
充電台に戻すと、自動的にランプが消えます。
●**放送局などが近く、雑音が大きいときは**
➪ 親機の置き場所を変えてください。

傍受にご注意

●本機は盗聴防止スクランブルを搭載しておりません。子機を使っての通話は電波を利用している関係から、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機の利用をお勧めします。（傍受〈ぼうじゅ〉とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。）
●近所でコードレス電話機を使っていると、正しく動作しないことがあります。一時的に親機をお使いください。

本体と付属品の確認

●セットの内容に足りないものがある場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

各部のなまえ 親機

- □ 子機……1台（※2台）
- □ 子機用電池パック……1個（※2個）（☞18ページ）
  ※ビニールははがさないで！
- □ 子機用電池カバー……1個（※2個）（☞18ページ）
- □ 充電台……1台（※2台）（☞18ページ）
- □ 壁掛け用木ネジ・ワッシャー………各2個（※各2個×2）（☞19ページ）

※：UF-L1WCLの場合

正面・右側面

防塵カバー
●保護フィルムをはがしてからお使いください。

原稿台

受話器

アンテナ
●必ずのばして使う。

記録紙トレイ

原稿排出口

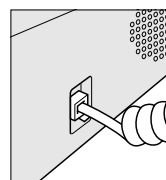
オープンレバー

ハンドスキャナー

背面・左側面

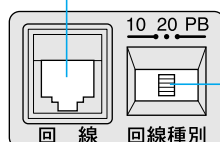
記録紙排出口

スピーカー

接地（アース接続）端子

受話器用モジュラージャック
●受話器のカールコードをつなぐ。（☞16ページ）

回線用モジュラージャック
●NTTの電話回線を接続する。☞16ページ）

回線種別スイッチ
（☞16ページ）

回　線　10 20 PB　回線種別

各部のなまえ 操作部

ディスプレイ部

（表面に付いている保護フィルムをはがしてからお使いください。）

●ファクスを受信中に表示（☞ 46ページ）
●受信したファクスを保存しているときに表示（☞47ページ）

●メールを受けているとき表示（☞ 電話サービス編 32）

●ナンバー・ディスプレイで、電話がかかってきたときや着信メモリーにまだ確認していない電話があるときに表示（☞ 電話サービス編 18）

●コミスタ機能が使えるとき表示（☞ 電話サービス編 4）

●おやすみモードをセットしたとき表示（☞ 電話サービス編 21）

●呼出音が鳴らないようにしたとき表示（☞ 25ページ）

●ハンドスキャナーが外れているとき表示

●インクフィルムの残り（目安）を表示
：残り30m　：残り20m　：残り10m
：残り5m（点滅）　：フィルムがありません

[00件] ●録音した用件の件数を表示

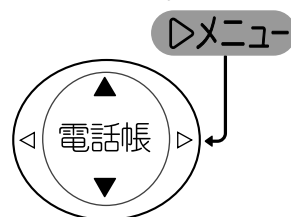
●メモリーの使用量を表示（目安）
：残り48～45枚　：残り44～31枚　：残り30～17枚
↔（交互に点滅）：メモリーにほとんど空きがありません
※枚数はA4標準原稿（A4サイズ700字程度）を読み込んだときの枚数

お知らせ

着信メモリー はナンバー・ディスプレイをお使いで、相手の電話番号を保存していないときは表示されません。

見える

●ファクス受信した原稿を見るときに押す。（☞47、48ページ）
●ファクスをメモリーで受けて、画面で確認したいとき「ピッ」と鳴るまで押し続ける。

●登録や設定をするときに押す。

電話帳
●電話帳に登録した宛先を探す。（☞32ページ）
●登録項目を順に表示する。

再ダイヤル/ポーズ
●電話をかけ直すときに押す。(☞ 38ページ)
●海外などに電話するとき、番号の間に入れてかかりやすくする。(☞ 73ページ)

音量/クリアー
●音量調節するときに押す。(☞ 25ページ)
●間違いを訂正したいときに押す。

キャッチ
●通話中に他の電話がかかってきたとき、後からかけてきた相手と話したいときに押す。(☞ 72ページ)

●Lモードを使うときに押す。(☞ 電話サービス編24)

ダイヤルボタン
●ダイヤルするときや、登録・設定するときに押す。
●(＊) は、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに押す。(☞ 73ページ)

通話録音 留守
●留守番電話にするときに押す。(☞ 52ページ)
●通話を録音するときに押す。(☞ 71ページ)

聞き直し
●用件や伝言を聞きたいときに押す。(☞ 55ページ)

写真コピー
●カタログなどをコピーするときに押す。(☞ 56 ページ)

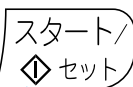
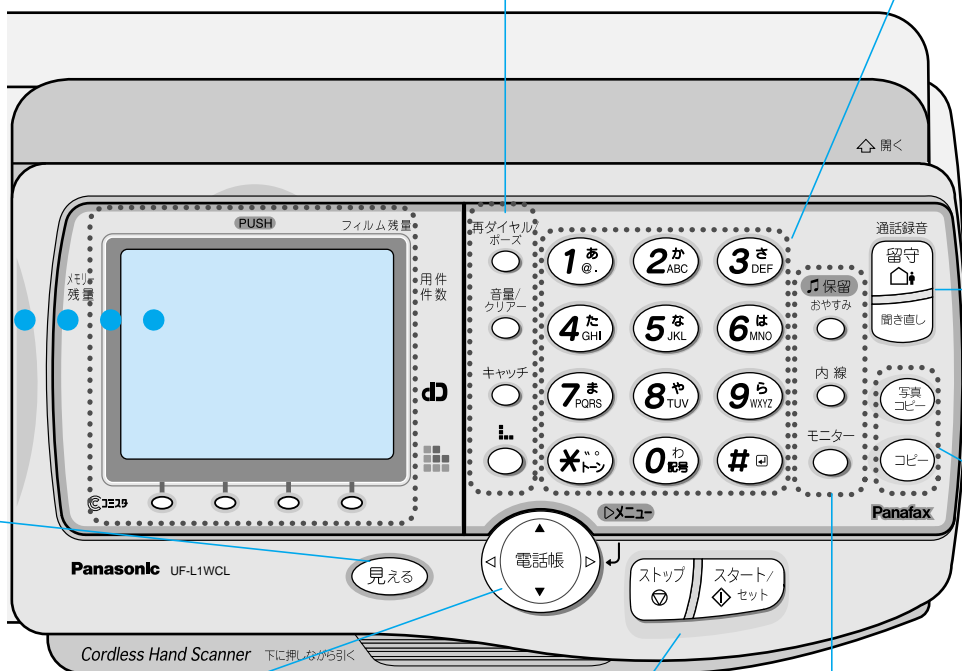
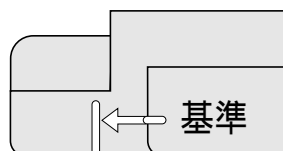
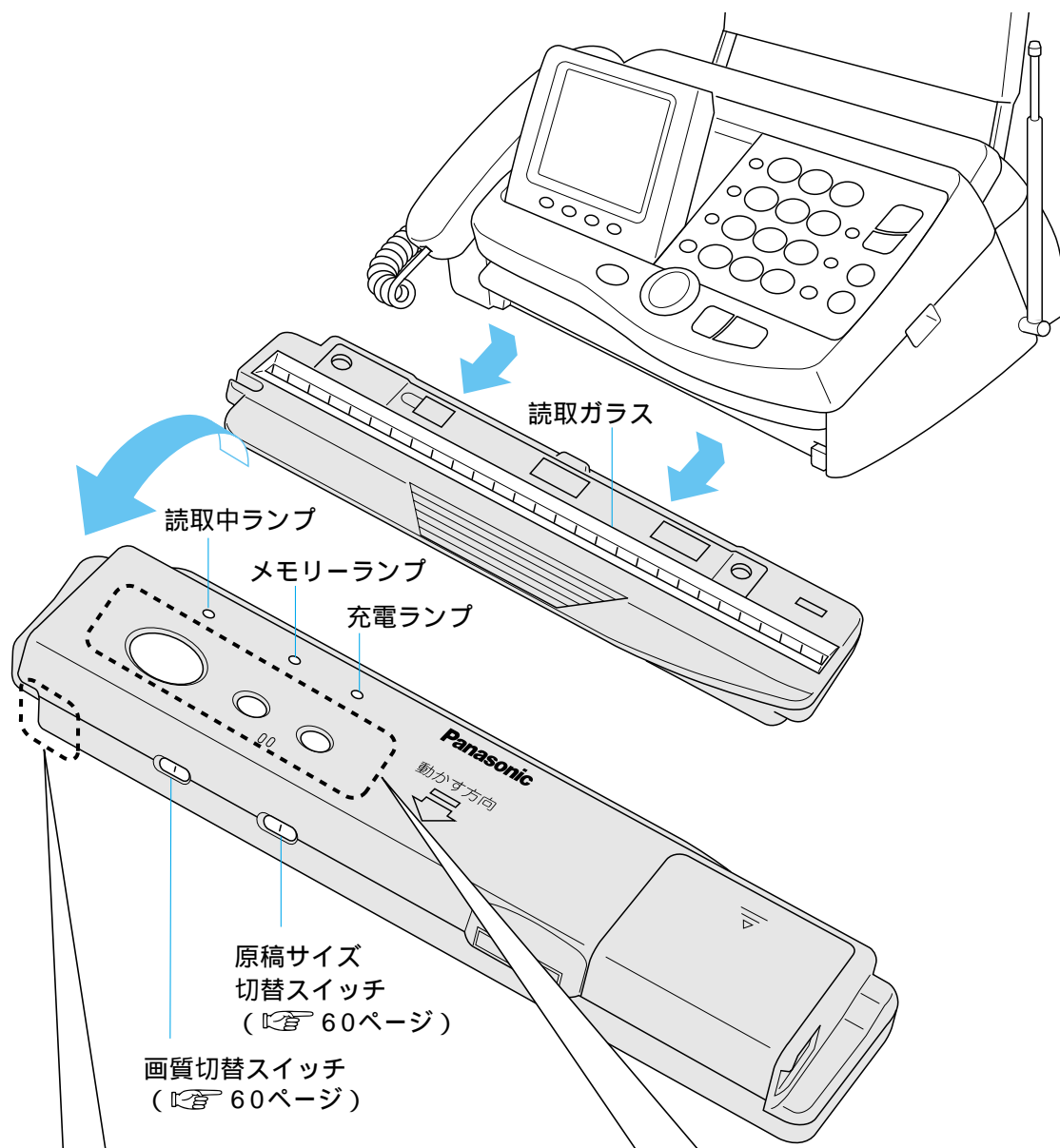
コピー
●コピーするときに押す。(☞ 56 ページ)

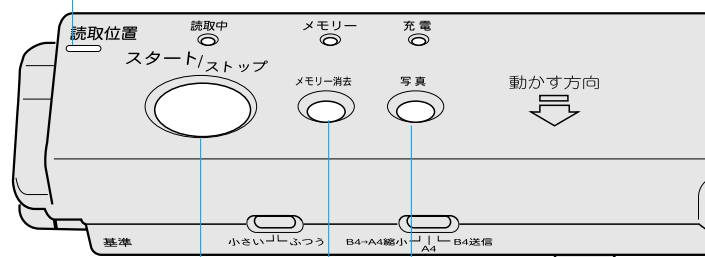
ストップ
●操作を途中で止めるときに押す。

スタート/セット
●送受信や登録・設定するときに押す。

保留 おやすみ
●通話を保留するとき押す。(☞ 38ページ)
●おやすみモードをセットするときに押す。(☞ 電話サービス編21)

内線
●子機を呼び出すときに押す。(☞ 40ページ)

モニター
●受話器を置いたままダイヤルするときに押す。(☞ 38ページ)

各部のなまえ ハンドスキャナー

子機

操作パネル

外線
●電話をかけるときや、終わるときに押す。

ポーズ（再ダイヤル）
●電話をかけ直すときに押す。
（☞ 39ページ）
●海外などに電話するとき、番号の間に入れてかかりやすくする。
（☞ 73ページ）

（キャッチ）
●通話中に他の電話がかかってきたとき、後からかけてきた相手と話したいときに押す。
（☞ 72ページ）

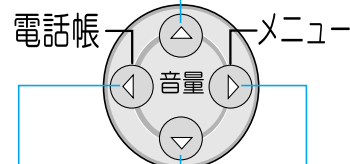
セット（保留）
●通話を保留するときに押す。
（☞ 39ページ）
●登録・設定をするときに押す。

ダイヤルボタン
●ダイヤルするときなどに押す。
●(＊)は、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに押す。
（☞ 73ページ）

受話口

ディスプレイ
●表面に付いている保護フィルムをはがしてからお使いください。

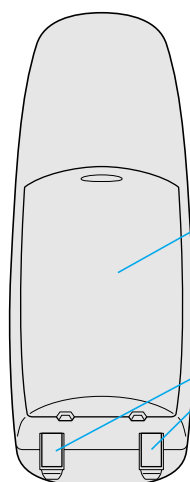
内線／クリアー
●親機を呼び出すときに押す。
（☞ 40ページ）
●間違いを訂正したいときに押す。

クロスナビボタン
●音量を上げるときに押す。

●音量を下げるときに押す。
●電話帳の宛先を探すときに押す。
（☞ 32ページ）
●登録や設定をするときに押す。

ファクス
●子機からファクスを受けるときに押す。（☞ 46ページ）

送話口

スピーカーホン（☞ 39ページ）

背面

子機用電池カバー

充電端子（底面）

充電台

充電端子

親機を接続する

電源コンセント
（AC100V）

受話器

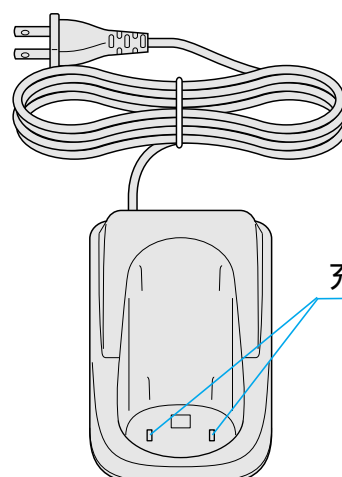
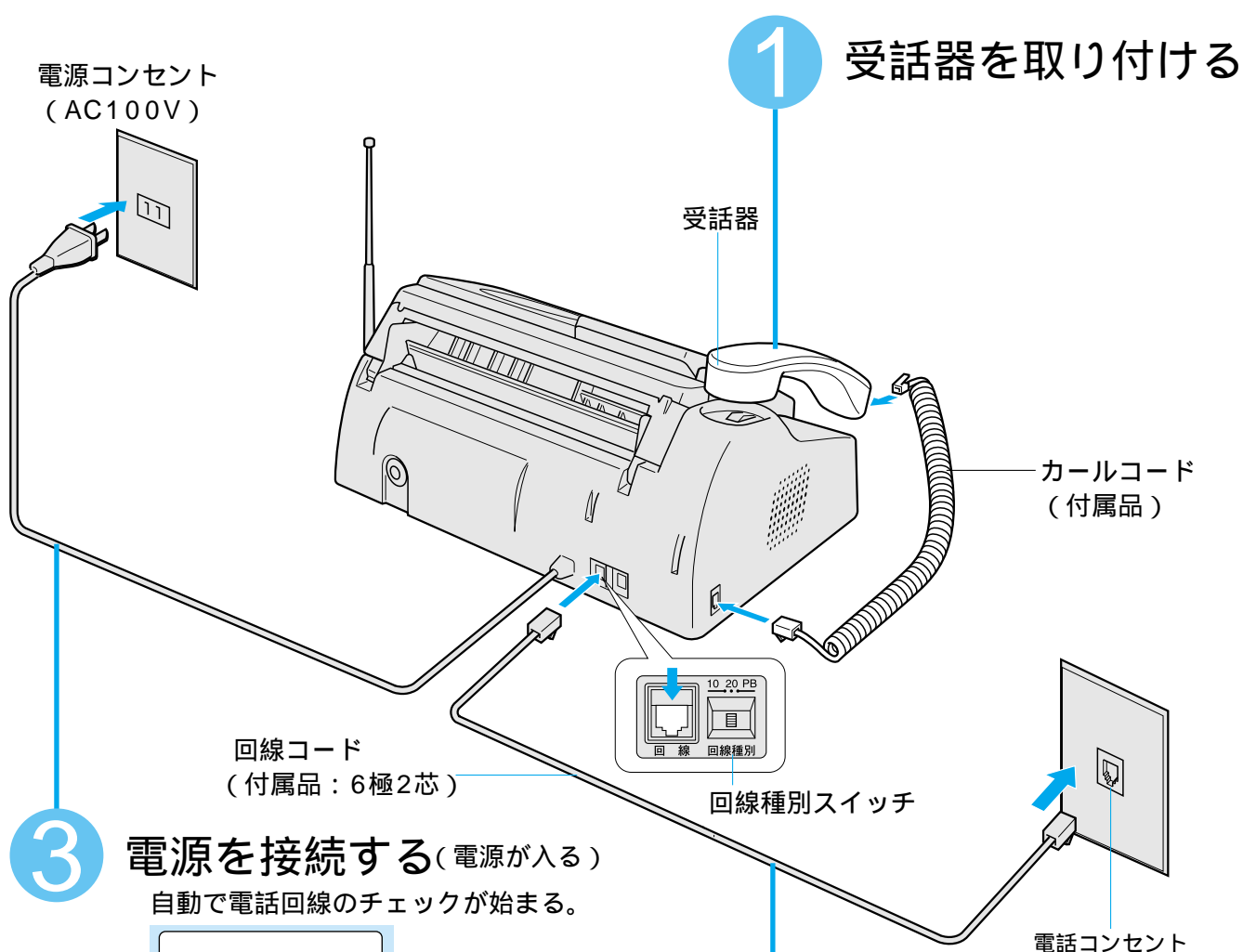
カールコード
（付属品）

回線コード
（付属品：6極2芯）

回線種別スイッチ

電話コンセント

1 受話器を取り付ける

3 電源を接続する（電源が入る）

●自動で電話回線のチェックが始まる。

回線チェック中です

終わると…

例：プッシュ回線（PB）のとき

本体背面にある回線種別ｽｲｯﾁをPBに設定してください

●チェックした値が本体背面の回線種別スイッチと一致しないときに表示。

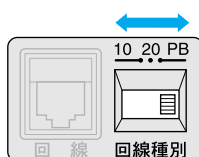
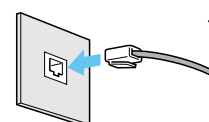
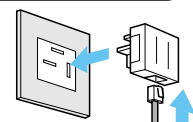
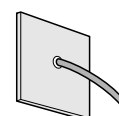
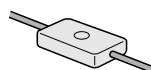
●チェックできなかったときは

自動設定解除します
回線種別ｽｲｯﾁを設定してください

●チェックできなかったときは手動で回線の種類を設定してください。（☞右ページ）

●スイッチの値と一致したときは
⇨ 回線種別を表示
（例：**「ダイヤル回線20です」**）

2 電話コンセントに接続する

4 背面にある回線種別スイッチを合わせる

10 20 PB
回線
回線種別

●自動でのチェックができなかった。
●構内交換機やINS64のターミナルアダプターにつないでいるときは…

手動で回線の種類を設定してください

■設定は…

1 押す

2 押して「しない」を反転させ　押す

●「プー」が聞こえる。

3 **背面の回線種別スイッチを合わせる**

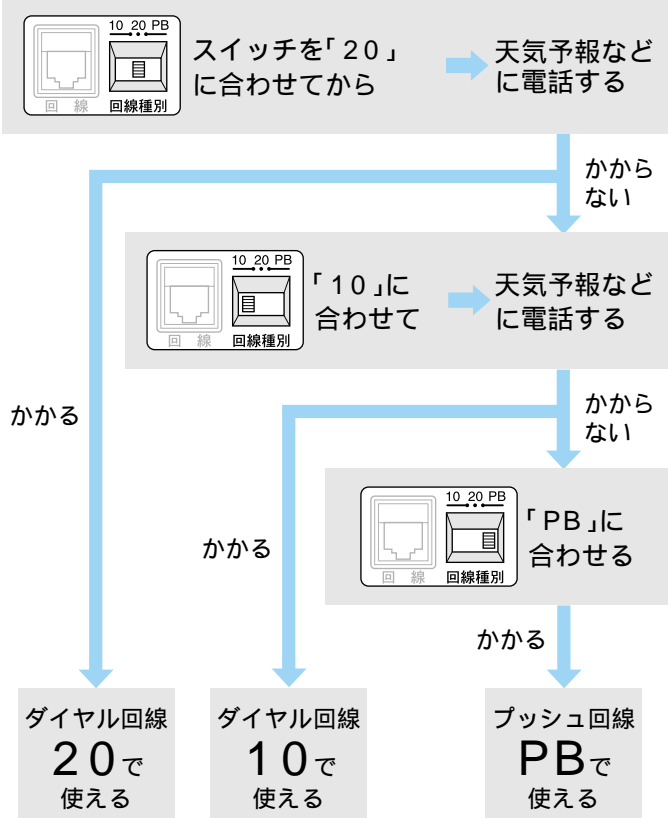
●**電話回線の種類がわかるとき**
　⇨お使いの電話回線に合わせる
　例：プッシュ回線のとき

●**電話回線の種類がわからないとき** ⇒

回線の種類がわからないときには

スイッチを「20」に合わせてから → 天気予報などに電話する
- かかる → ダイヤル回線 **20**で使える
- かからない → 「10」に合わせて → 天気予報などに電話する
  - かかる → ダイヤル回線 **10**で使える
  - かからない → 「PB」に合わせる → かかる → プッシュ回線 **PB**で使える

お知らせ

●手順2を「する」にしたときは、回線種別スイッチを変えても、回線の自動チェックで選んだ値が優先されます。

お願い

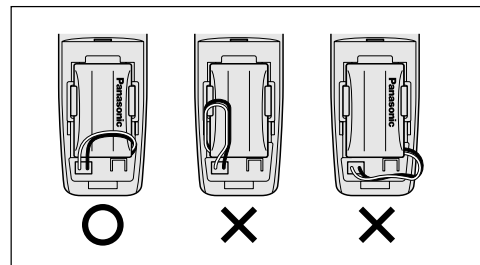
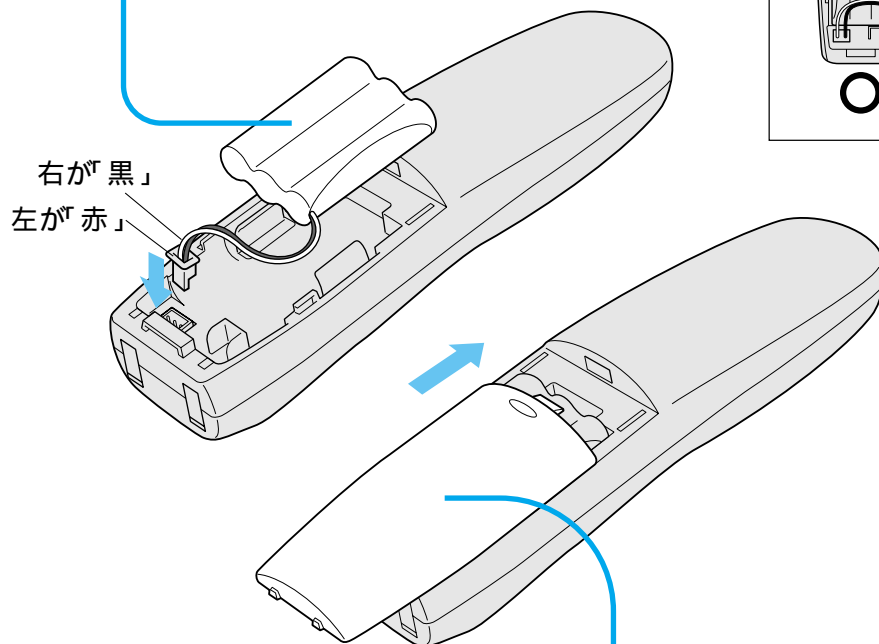
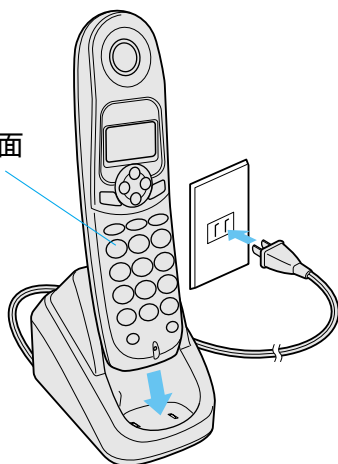
●**正しく使うために**
　⇨NTTのピンク電話の回線には接続できません。
　⇨他の電話機を並列に接続しない。
●**回線チェックを正常にするために**
　⇨回線コードを先に接続してから、電源を接続する。
　⇨回線チェック中に、ストップボタンを押さない。
●**電話回線の種類が変わったときは**
　⇨電源を入れ直してください。自動で回線のチェックが始まります。
　⇨回線チェックが始まらないときは、上の操作をしてください。

このファクシミリを設置する場所がNTT電話局から遠距離の場合、宛先によっては通信できないことがあります。このときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お知らせ

●ご不明な点は、お近くのNTT窓口にお問い合わせください。
●NTTのレンタル電話機が不要になった場合は
　⇨NTT（局番なしの116番）へ連絡すれば「機器使用料金」は、不要となります。
●ホームテレホンに接続したいとき（☞ 94ページ）
●ドアホンを接続したいとき（☞ 81ページ）
●構内交換機やINS64のターミナルアダプターにつないでいるとき、通話中に相手や自分の声が響いて聞こえる
　⇨親機の設定項目29「回線接続先」を"構内回線、TA"にしてください。（☞74ページ）

子機の準備

■**はじめてお使いのときは** ⇨ 連続10時間以上の充電が必要です。

●連続10時間以上で充電完了。
●充電が完了すると「充電中」が消えます。
●完了後も、充電しながらお使いください。

お知らせ

●子機や充電台の一部が温かくなりますが、故障ではありません。
●**電池パックのビニールカバーははがさないでください。**
●子機を充電台に乗せていなくても、電力を消費しています。

お願い

●子機の充電台は、携帯電話の充電器やニッカド電池などの充電器の近くに置かないでください。
⇨ 電話がかかってきたとき、子機の呼出メロディーが鳴らなくなることがあります。

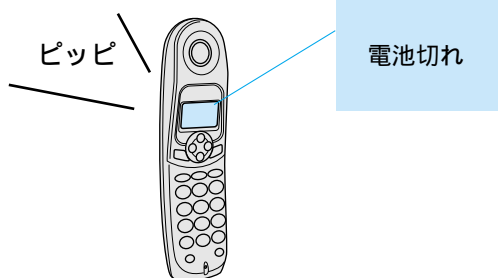
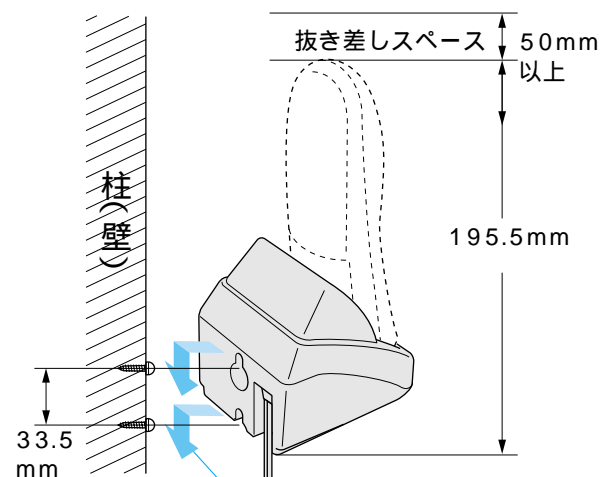
通話できる時間

●**続けて通話できる(連続通話)時間**
子機を持って通話……………………………約6時間
スピーカーホンで通話……………………約4時間
●**一度も通話しないで、充電台から外しておける(待ち受け)時間** ………………………約150時間

お願い

●子機を使い終わったら、常に充電台に戻すようにしてください。長時間、充電台から外したままにしておくと、充電台に戻しても充電できなくなることがあります。

充電が必要になると

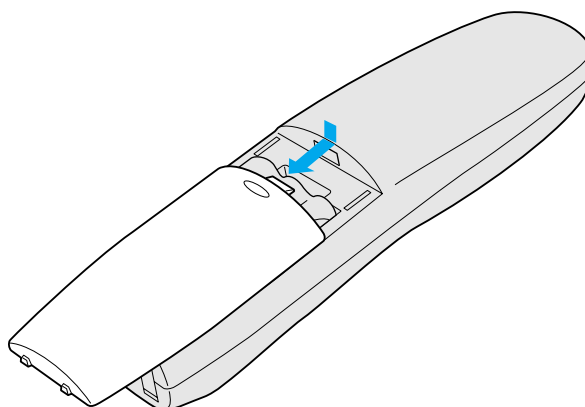
充電が必要になると
⇨「ピッピッ」が聞こえ、ディスプレイに「電池切れ」が表示されます。(通話中は、約30秒で切れる)
続けて通話したいときは
⇨①子機で保留/セットボタンを押す
②親機で受話器を取り、話をする

子機を壁に掛けて使うとき

お知らせ

●親機は壁に掛けられません。

子機用電池パックの交換

●**交換時期は**
⇨連続で10時間以上充電しても、数分で通話が切れる。
⇨充電台に置いても、充電できない。
(「電池切れ」を表示)
●**お買い求めは**
お買い上げの販売店にご依頼ください。
品番:UG-4405(保証期間中でも有料とさせて頂きます。)

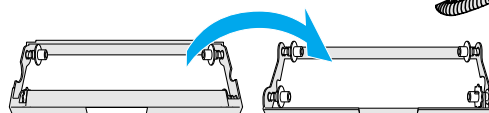
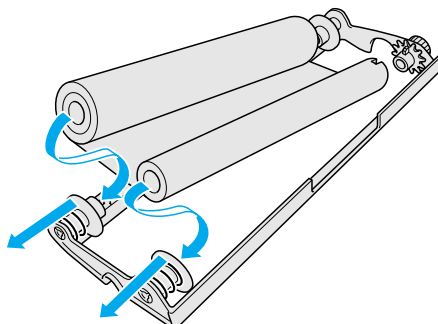
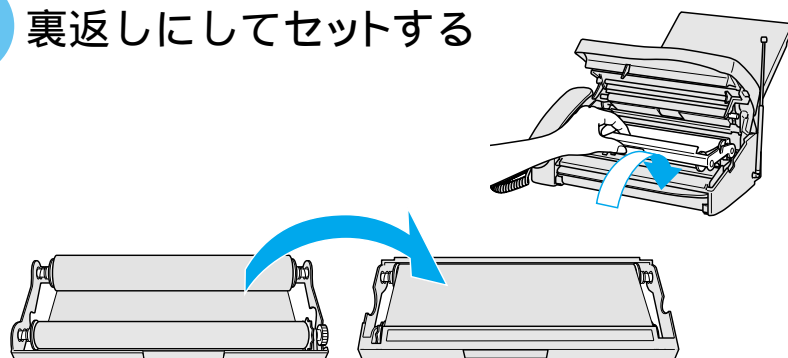
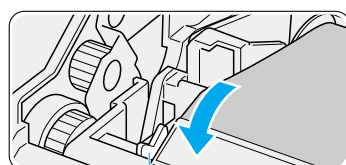
ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

●**交換のしかた**
①電池カバーを押しながらスライドさせて外す
②新しい電池パックを入れる
③必ず、連続10時間以上充電する

充電台の壁掛け穴の位置
33.5 mm

インクフィルムのセット

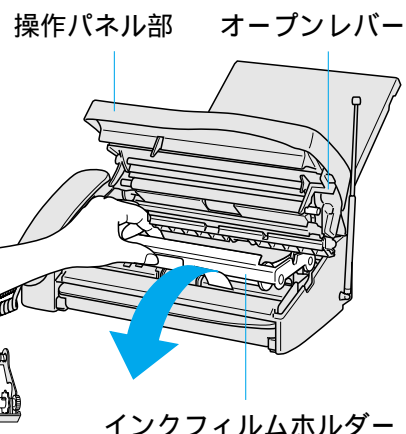
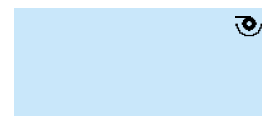
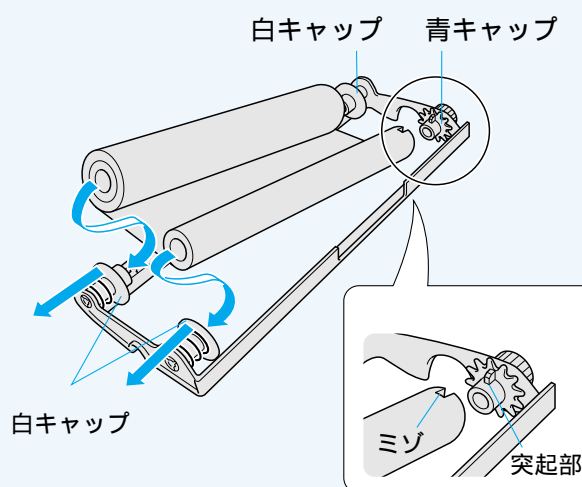
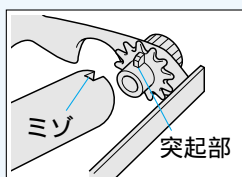
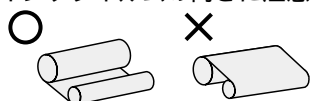
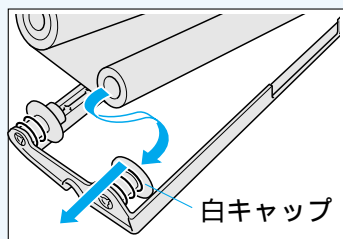
お買い上げ時に添付されているインクフィルムをセットします。

1 オープンレバーを押し上げ
操作パネル部を開ける

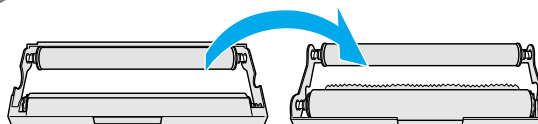
2 インクフィルム
ホルダーを取り出し
裏返しにする

3 インクフィルムホルダーに
付属のインクフィルムを取り付ける

4 **裏返しにしてセットする**

5 青色ノブを手前に回し、
たるみを取り除く

6 **操作パネル部を閉める**

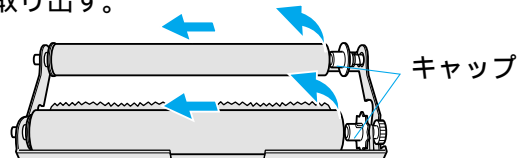
・インクフィルムの残りが、約10m（目安）であることを表示。

インクフィルムの取り付けかた

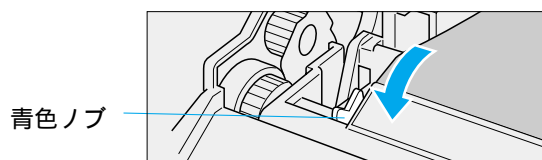
白キャップ　青キャップ
③
白キャップ　②
①
ミゾ
突起部

①青キャップの突起部と細巻きのミゾを合わせ、差し込む。

②細巻きの反対側にある白キャップを、矢印の方向に押しながら差し込む。

③太巻きの両側の白キャップを②のようにして差し込む。

■別売のインクフィルムに交換する

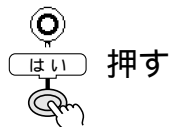
1 インクフィルムを本体から取り出し裏返しにする

2 使用済みのインクフィルムを取り外す

●インクフィルムを矢印の方向に押しながら取り出す。

3 新しいインクフィルムを取り付ける

4 裏返しにしてセットする

●青色ノブを手前に回して、たるみを取り除く。

5

操作パネル部を閉め、10秒以内に

押す

・インクフィルムの残りが、約30m（目安）であることを表示。

お知らせ

●別売品のお買い求めは

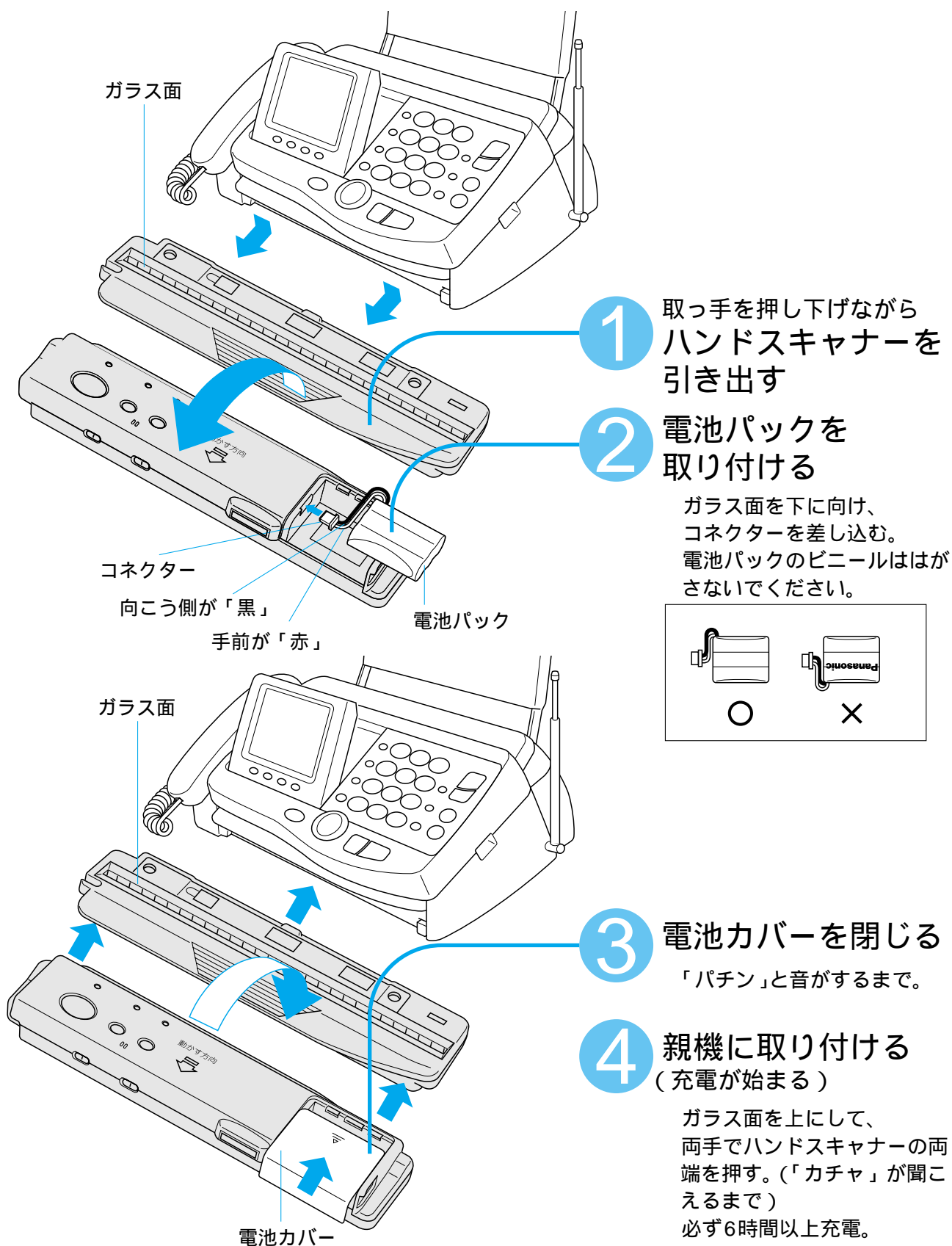
⇨お買い上げの販売店にご依頼ください。
品番：UF-3050（有料）

●インクフィルム1本でプリントできる枚数は

⇨付属品では：A4サイズの原稿を**約30枚**
別売品では：A4サイズの原稿を**約95枚**

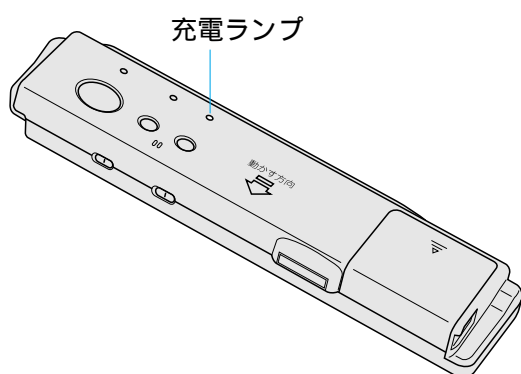
●別売品のインクフィルムをセットしたのに残量表示が ● にならないときは

⇨お買い上げ後すぐにセットしていませんか？
（フィルムを一度も使用していないため、残量を正確に検知できなくなります。）
一度コピーをしてから、再セットしてください。

ハンドスキャナーの準備

充電ランプについて

充電ランプが点滅し、「ピーピーッ…ピーピーッ…」が聞こえたら

⇨ 充電が必要です。ハンドスキャナーを親機に戻してください。30分以上充電すれば、お使いになれます。(フル充電には6時間必要)

⇨ ハンドスキャナーを外したときに充電ランプが消灯していれば、ハンドスキャナーをお使いになれます。

お知らせ

- ●充電が完了しないと、ハンドスキャナーで原稿を読み取れません。
- ●充電完了後も、親機に取り付け、充電しながらお使いください。
- ●ハンドスキャナーや親機の一部が温かくなることがありますが、充電によるもので故障ではありません。

ご使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ハンドスキャナー用電池パックの交換

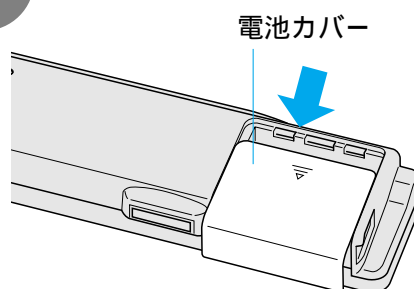
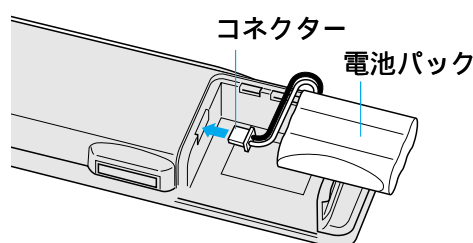
●交換時期は

30分以上充電しても、充電ランプが点滅する場合。

●お買い求めは

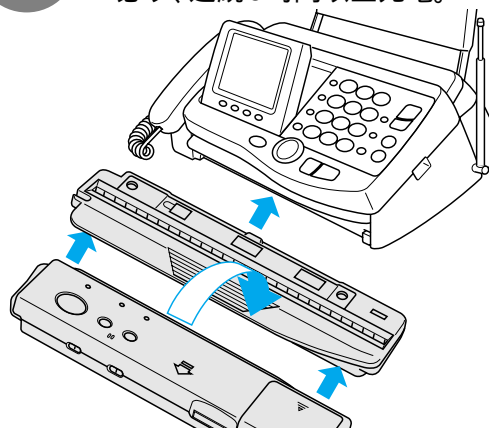
お買い上げの販売店にご依頼ください。
品番：UG-4404(保証期間中でも有料とさせて頂きます。)

●交換のしかた

1 電池カバーを外す

2 使用済みの電池パックのコネクターを外し新しい電池パックを取り付ける

3 電池カバーを閉じる

●「パチン」と音がするまで。

4 親機に取り付ける（充電が始まる）

●必ず、連続6時間以上充電。

記録紙のセット

1 記録紙トレイを取り付ける

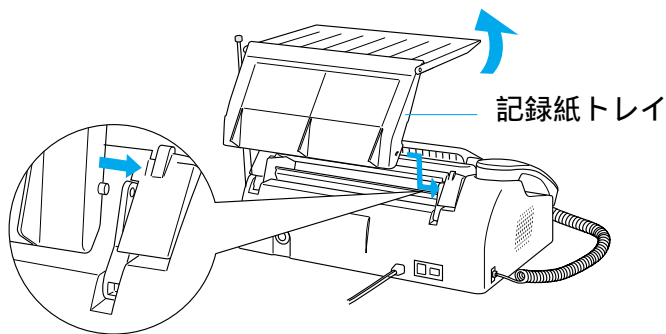
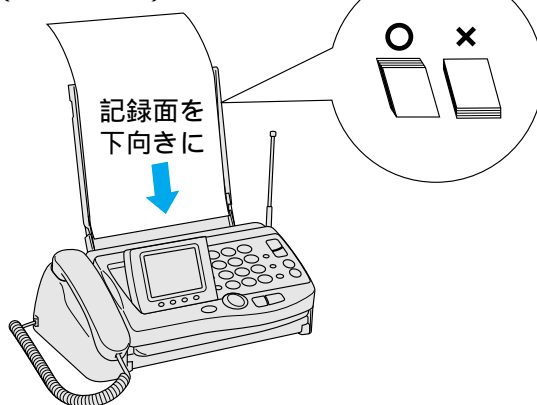
①記録紙トレイを開く
②記録紙トレイを垂直に立てた状態で
　本体の穴に差し込む

記録紙トレイ

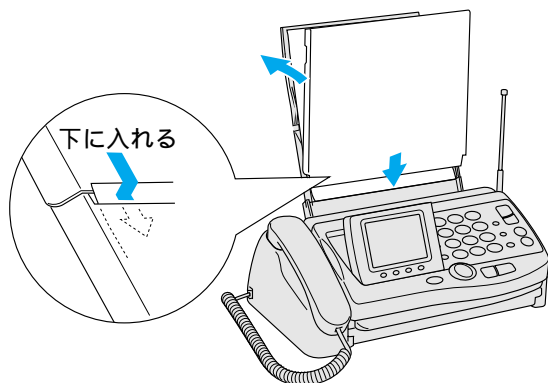
2 記録紙をセットする

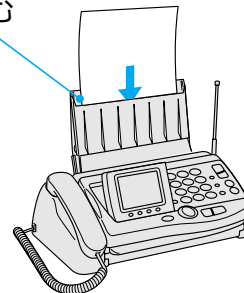
（最大20枚）

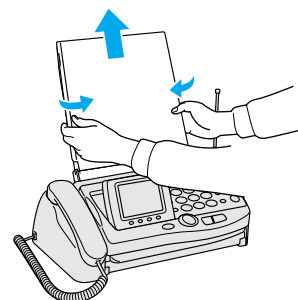
記録面を
下向きに

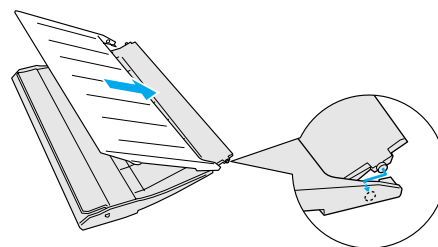
○ ×

3 防塵カバーをセットする

①防塵カバーの先端を記録紙トレイの
　下に入れ
②防塵カバーを後ろに倒す

下に入れる

記録紙トレイをたたんでご利用になるときは

●図のように、記録紙トレイのスキマから
　記録紙を**1枚ずつ**差し込んでください。

防塵カバーの取り外し

①防塵カバーを図のようにたわませ、記録紙
　トレイ両脇のツメを外す
②防塵カバーを取り外す

記録紙トレイが分解してしまったときは

①記録紙トレイをたたんだ状態にして、
②ツメと穴を合わせる

お願い

●印字不良や故障を防ぐために
　⇨折り目やシワのある記録紙は使わない。
　⇨残っている紙の下に記録紙を追加しない。
　⇨記録紙を長期間セットしたままにしない。（湿気などにより紙づまりの原因）

音量調節

お知らせ

●呼出音「切」の場合、ディスプレイ上部に ⊠ が点灯します。

音量調節（親機）

■呼出音量（小・中・大・切）

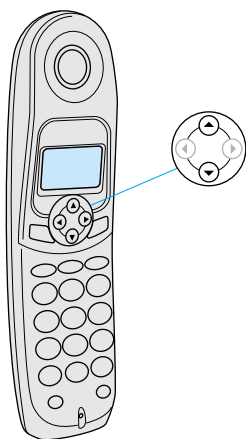
⇨ 電話をしていないときに 音量/クリアー 押して **調節する**

■受話音量（小・中・大・特大）

⇨ 電話をしているときに 音量/クリアー 押して **調節する**

■スピーカーから聞こえる音量
（小・中・大・特大）

⇨ モニター 押したときに

スピーカーから聞こえる音を 音量/クリアー 押して **調節する**

音量調節（子機）

■呼出音量（小・中・大・特大・切）

⇨ 電話をしていないときに 音量 押して **調節する**

●「切」にしたいときは→音量を「小」にしたあと、▽ を2秒間押し続ける。

●呼出音を止めるには→キャッチボタンを押してください。

■受話音量（小・中・大・特大）

⇨ 電話をしているときに

押して **調節する**

■スピーカーホン音量
（小・中・大・特大）

スピ－カ－音量

⇨ スピーカーホンを使って電話しているとき

押して **調節する**

呼出音の種類を変える 親機

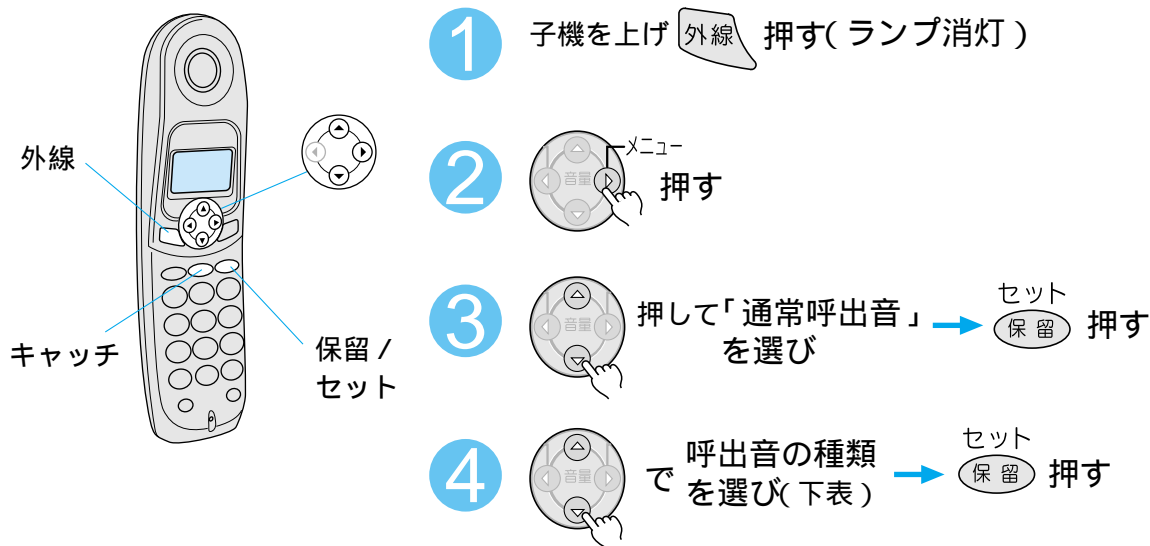
●**ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、「電話サービス編」22～23ページの操作をして呼出音を変えてください。**

お知らせ

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。
●ドアホンや内線から呼び出されたときの呼出音は変更できません。

■親機の呼出音の種類

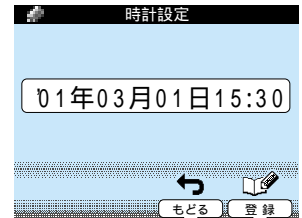
パターン1	呼出音（プルルルルルル…）	メロディー1	オリジナル1
パターン2	プルル…プルル…プルル…	メロディー2	オリジナル2
パターン3	オリジナル1	メロディー3	オリジナル1
パターン4	オリジナル2	メロディー4	オリジナル2
パターン5	汽車ポッポ	メロディー5	オリジナル1
パターン6	ウイリアムテル序曲	自作1	（登録していないときは「美しい少女」）
パターン7	子犬のワルツ	自作2	（登録していないときは「トルコ行進曲」）

●**ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、「電話サービス編」22〜23ページの操作をして呼出音を変えてください。**

お知らせ

●**途中でやめるときは** ⇨ キャッチボタンを押す。
●ドアホンや内線から呼び出されたときの呼出音は変更できません。
●子機で曲名の確認をすることはできません。

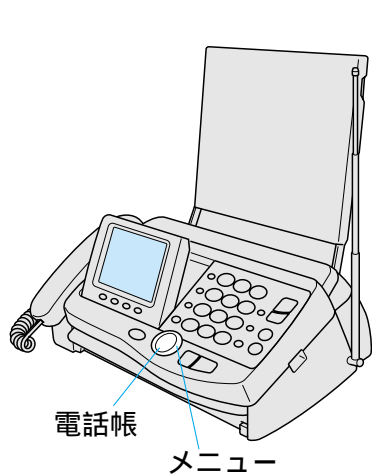
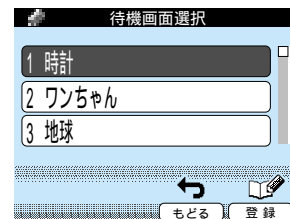
■子機の呼出音の種類

メロディー1	オリジナル1	パターン4	オリジナル1
メロディー2	オリジナル2	パターン5	オリジナル2
パターン1	汽車ポッポ	パターン6	呼出音（低音）
パターン2	ウイリアムテル序曲	パターン7	呼出音（高音）
パターン3	子犬のワルツ	パターン8	プルル…プルル…プルル
		パターン9	ドレミファソラシド

日付・時刻の登録

お知らせ

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。
●時刻は1ヶ月で60秒前後ずれることがあります。ずれているときは、最初から入れ直してください。
●" 年 "は必ず「西暦」で入れてください。「平成○年」と入れると、曜日が合わなくなります。

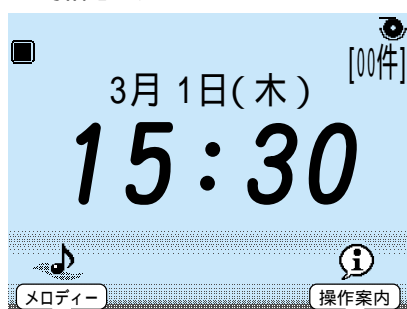
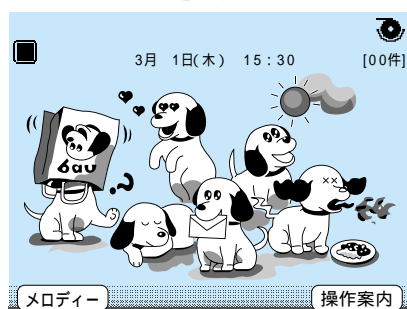
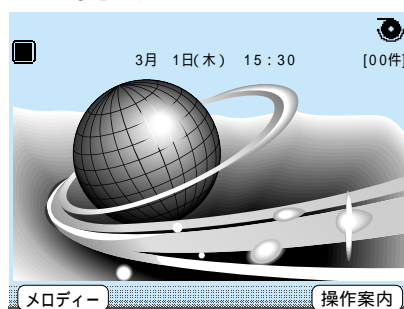
■**年月日や時分を直したいときは** ⇨ で「▮」を間違えた数字の上に移動させてから入れ直す。

ディスプレイの絵柄を変える

お知らせ

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。
●手順2で選べる“ 4 ユーザー登録 ”は、Lモードをお使いでインターネット上の画像を取り込んだ方のみお使いになれます。画像を取り込みたいときは（☞電話サービス編 42）

■画面表示の種類

お買い上げ時は「時計表示」「ワンちゃん」「地球」の3種類が登録されています。

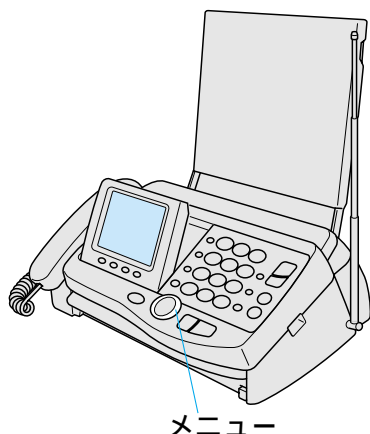
「時計」を選んだとき

「ワンちゃん」を選んだとき

「地球」を選んだとき

※「ワンちゃん」などの絵柄を選んだときは、メロディー 操作案内 のアイコン（♪ や ⓘ）が表示されなくなります。

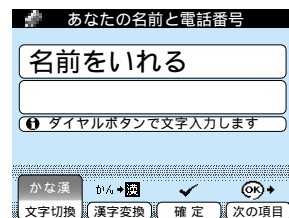
あなたのお名前と電話番号の登録

お名前（発信元）と電話番号（ID番号）の登録

登録した名前（発信元）は、相手の記録紙の先端にプリントされ、
電話番号は、相手のファクスのディスプレイに表示されます。

1 ▷メニュー 1 1 **押す**

あなたの名前と電話番号
名前をいれる
■
ダイヤルボタンで文字入力します
かな漢 文字切換 漢字変換 確定 次の項目

2 **あなたのお名前を入れる**

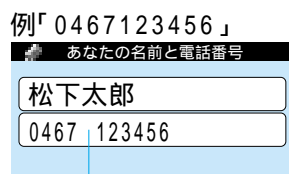
（半角カタカナ・英数字：最大16文字
全角ひらがな・漢字・カタカナ・英数字：最大8文字）

3 お名前をすべて入れたら
次の項目 **押す**

4 **お名前のヨミガナを確認する**
●直したいときは
（**半角のカタカナ・英数字**で最大16文字まで入れられます）

5 ヨミガナを確認したら
次の項目 **押す**

例「0467123456」

スペースはモニターボタンで
（＋は # で入れる）

6 **あなたの電話番号を入れ**
（最大20ケタ） → 登録 **押す**

お知らせ

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。
●相手も当社のファクスを使っていれば、送受信のとき電話番号の代わりに「ヨミガナ」がディスプレイに表示されます。（一部表示しない場合もあります。）

■名前や電話番号を変更したいときは

⇨ ①（電話帳）で「■」を間違えた数字の上に移動させる。
②音量／クリアーボタンを押し、入れ直す。

■登録した名前や電話番号を削除したいときは

⇨ 手順2～4で音量／クリアーボタンを押し、文字（数字）を全て消す。

■手順2で「漢字」の読みが13文字以上または「半角のカタカナ・英数字」で13文字以上入れた場合

⇨ 手順3で「ヨミガナ」は12文字分しか表示されません。お名前と同じ「ヨミガナ」にしたい場合は、（電話帳）で（■）を文字の最後まで移動させ、ヨミガナを追加してください。

●文字を入れるときは、文字列一覧表を使います。

■ひらがなで入れる
例：すずき

かな漢 を確認し

ダイヤルボタンで入れる

●一度に入れられるひらがなは、9文字まで。

■漢字で入れる
例：鈴木

かな漢 を確認し

変換したい漢字が出るまで押す

押す

■カタカナ・英字・数字（全角・半角）で入れる
例：スズキ・PANA・123

押して入れたい文字に合わせて 半カナ 半英字 半数字 全カナ 全英字 全数字 を選ぶ

ダイヤルボタンで入れる

カタカナ：

英字：7 2 6 6 2
P A N A

数字：1 2 3

■文字を直したいときは ⇨ で「■」を移動させ、音量／クリアーボタンを押してから入れ直す

■文字列一覧表

ダイヤルボタン	ひらがな	カタカナ	英字	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . − _ $ % & = ¯ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをん ー・！？、。「」	ワヲンー・！？、。「」	( ) , \ ; : ＊ # / + [ ] " ' ?! | <> {}	0
＊	゛(濁点) ゜(半濁点)	゛(濁点) ゜(半濁点)		

●変換したい漢字がなかなか出てこないときは…
①96〜103ページの「漢字変換表」で変換したい漢字を探す
②その漢字に対応する「読みがな」でもう一度漢字変換する

●スペースを入れたいとき

⇨   で「■」を右に動かして入れる。

※カタカナ・英数字なら、モニターボタンを押しても、スペースが入ります。

●濁点や半濁点を入れるとき（例：「ば」や「ぱ」を入れる）

6 押す → ＊ 押す → ＊ 押す
「は」 「ば」 「ぱ」

●「ひらがな入力」から「カナ入力」に切り換えるなど文字を入れている途中で文字切換をしたいとき

⇨   で「■」を移動させてから、切り替える。

●「あい」など同じボタンで続けて文字を入れたいとき

1 押す → 押す → 1 1 押す
「あ」 (■)を移動 「い」

●「まつした」の中の「まつ」だけ漢字変換したいとき

①「まつした」を入れ →

② 押して「まつ」を選ぶ

③ 漢字変換 押して変換する

電話帳でかける

名前で探して簡単ダイヤル！

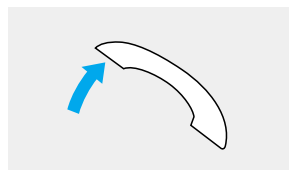
電話帳を使ってかける

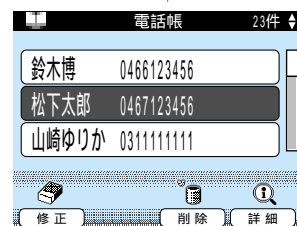
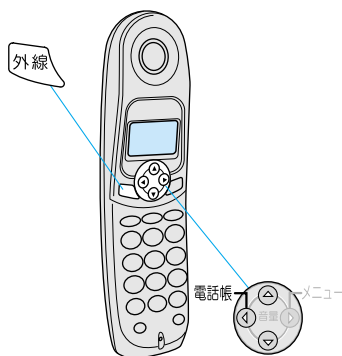
登録が必要です （☞ 34ページ）

電話する

■**親機でかける**

▼ 押してから、

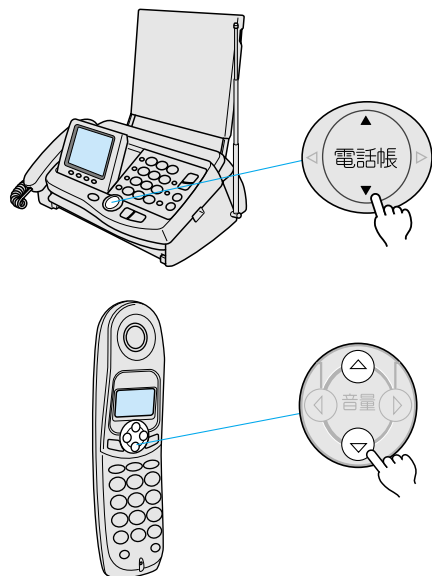
▲▼で電話する相手を選ぶ

選んだ相手が反転表示

受話器を上げる
（ダイヤル開始）

■**子機でかける**

充電台から上げ、
押す

▼または▲押して、
電話する相手を選ぶ

押す
（ダイヤル開始）

マツシタタロウ
0467123456

電話帳でダイヤルするとき、表示の順番は…

●親機は電話帳登録のときの「ヨミガナ」で、
子機は「宛先名」の順番で表示します。

親機や子機で▼を押すと…

数字 → アルファベット → カタカナ → 記号

の順番で表示

親機や子機で▲を押すと…

記号 → カタカナ → アルファベット → 数字

の順番で表示

●親機の電話帳登録をするときは（☞ 34ページ）
●子機の電話帳登録をするときは（☞ 36ページ）
●よく使う電話番号をはやく表示させたいときは
34ページ手順5や36ページ手順3で「ヨミガナ」や宛先名の最初に数字を入れてください。

宛先が多いとき、すぐに表示させるには

押す →

電話帳 押す →

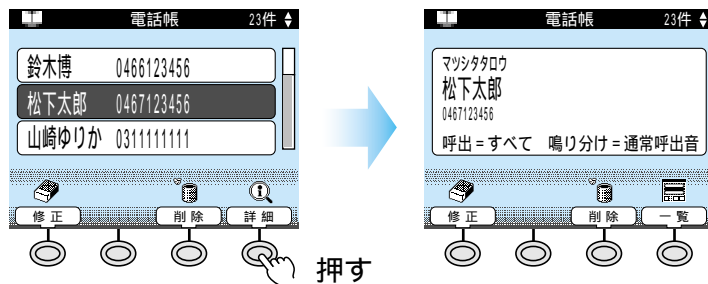
宛先の最初の文字を
ダイヤルボタンで選ぶ
（「松下太郎」なら ⑦ を押す）

→ 押して探す

→ 押して探す

親機で電話帳を選んでいるとき、詳しい登録内容を確認できます

電話帳表示中に…

押す

●詳しい内容を表示中に（一覧）を押せば、もとの表示に戻ります。
●詳しい内容を表示中に受話器を上げれば、表示中の相手に電話をかけられます。

使いかた

電話帳でかける 親機の電話帳を登録

親機で登録するとき

最大160件まで登録できます。

電話帳

1 押す

2 押す

3 **名前を入れ**
●半角カタカナ・英数字で最大12文字
●全角ひらがな・漢字・カタカナ・英数字で最大6文字

例:「松下太郎」

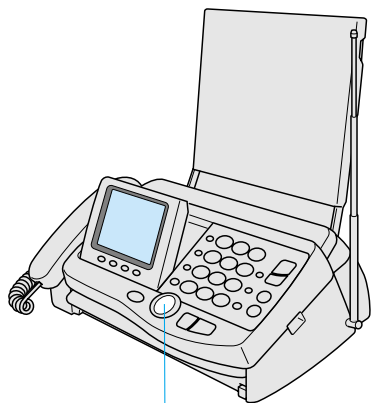
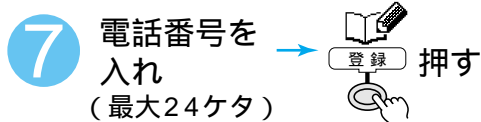
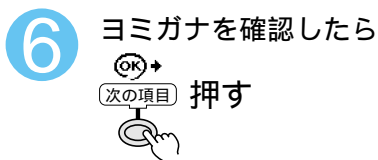
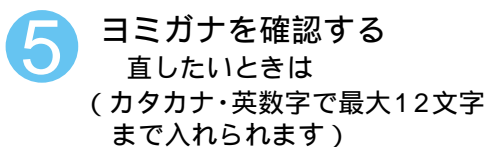
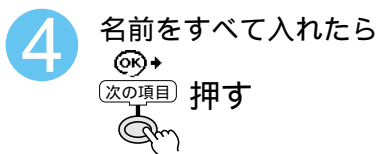
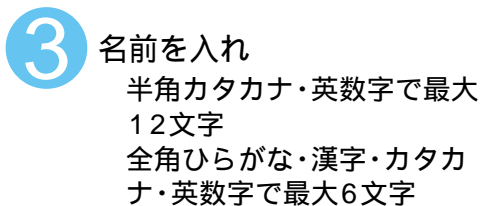
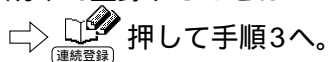
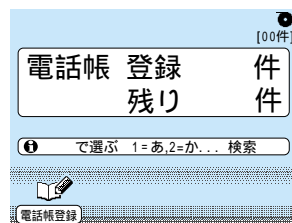
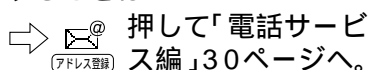
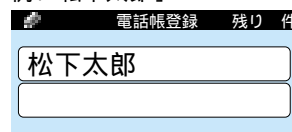
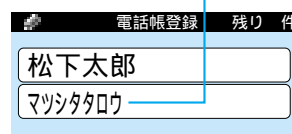
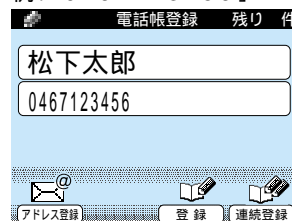
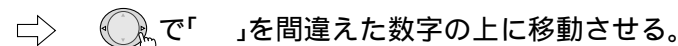
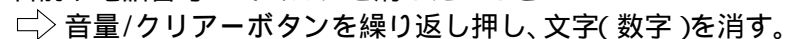
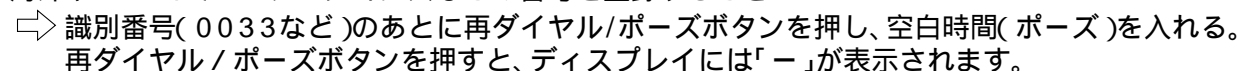
4 名前をすべて入れたら 次の項目 **押す**

5 **ヨミガナを確認する**
●直したいときは
(**カタカナ・英数字**で最大12文字まで入れられます)

ヨミガナの表示例

6 ヨミガナを確認したら 次の項目 **押す**

例:「0467123456」

7 **電話番号を入れ**
(最大24ケタ)
→ **押す**

●続けて登録するときは
⇨ 連続登録 押して手順3へ。

●メールで使うアドレスを登録するときは
⇨ アドレス登録 押して「電話サービス編」30ページへ。

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。
●**番号を見やすく登録するには** ⇨ モニターボタンでスペースを入れる。
●**電話番号を変更したいとき**
⇨ ① で「■」を間違えた数字の上に移動させる。
②音量/クリアーボタンを押し、入れ直す。
●**名前や電話番号・ヨミガナを消したいとき**
⇨ 音量/クリアーボタンを繰り返し押し、文字(数字)を消す。
●**海外やNTTコミュニケーションズなどの番号を登録するとき**
⇨ 識別番号(0033など)のあとに再ダイヤル/ポーズボタンを押し、空白時間(ポーズ)を入れる。
再ダイヤル/ポーズボタンを押すと、ディスプレイには「ー」が表示されます。

お知らせ

●電話帳には最大で163件まで入りますが、お客様が登録・修正できるのは最大160件までです。
●すでに登録済みの電話番号は、登録できません。
●親機で登録するとき、名前を漢字にすると、入れ方によっては、ヨミガナを変更する必要があります。
●「ヨミガナ」で電話帳の表示順が決まります。
●登録した電話番号を子機に転送してお使いになれます。(☞77ページ)

●文字を入れるときは、文字列一覧表を使います。

■ひらがなで入れる
例：すずき

かな漢 文字切換 かな漢 を確認し

■漢字で入れる
例：鈴木

かな漢 文字切換 かな漢 を確認し

ダイヤルボタンで入れる

3 3 3 ○ 3 3 3 ※ 2 2
す す き
（■）を右に動かす
濁点（゛）をつける

●一度に入れられるひらがなは、9文字まで。

変換したい漢字が出るまで押す

押す

■カタカナ・英字・数字（全角・半角）で入れる
例：スズキ・PANA・123

押して入れたい文字に合わせて 半カナ 半英字 半数字 全カナ 全英字 全数字 を選ぶ

ダイヤルボタンで入れる

カタカナ：3 3 3 ○ 3 3 3 ※ 2 2
ス ス キ
（■）を右に動かす
濁点（゛）をつける

英字：7 2 6 6 2
P A N A

数字：1 2 3

■文字を直したいときは ⇨ で「■」を移動させ、音量／クリアーボタンを押してから入れ直す

■文字列一覧表

ダイヤルボタン	ひらがな	カタカナ	英字	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. － _ $ % & = ‾ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをん ー・！？、。「」	ワヲンー・！？、。「」	( ), \ ;:＊ # / + [ ] "' ?! | <> {}	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点）	゛（濁点） ゜（半濁点）		

●変換したい漢字がなかなか出てこないときは…
①96～103ページの「漢字変換表」で変換したい漢字を探す
②その漢字に対応する「読みがな」でもう一度漢字変換する

●スペースを入れたいとき

⇨ で「▮」を右に動かして入れる。

※カタカナ・英数字なら、モニターボタンを押しても、スペースが入ります。

●濁点や半濁点を入れるとき（例：「ば」や「ぱ」を入れる）

6 押す → ※ 押す → ※ 押す
「は」 「ば」 「ぱ」

●「ひらがな入力」から「カナ入力」に切り換えるなど文字を入れている途中で文字切換をしたいとき

⇨ で「■」を移動させてから、切り替える。

●「あい」など同じボタンで続けて文字を入れたいとき

1 押す → 押す → 1 1 押す
「あ」 （■）を移動 「い」

●「まつした」の中の「まつ」だけ漢字変換したいとき

① 「まつした」を入れ →

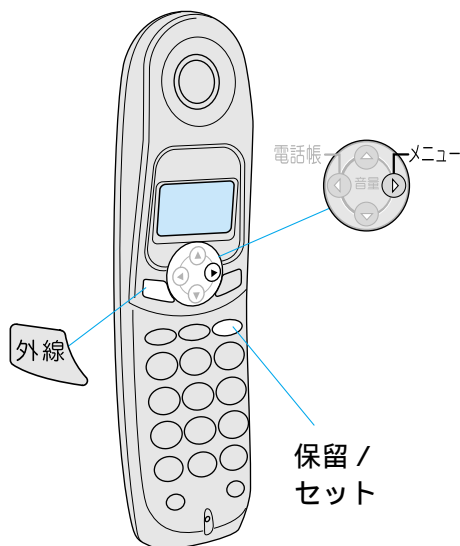
名前をいれる
松下

②

押して「まつ」を選ぶ

名前をいれる
まつした

③ かん→漢 漢字変換 押して変換する

電話帳でかける 子機の電話帳を登録

●**途中でやめるときは** ⇨ キャッチボタンを押す。
●**番号を見やすく登録するには** ⇨ ファクスボタンで＿（アンダーバー）を入れる。
●**名前や電話番号を変更したいとき** ⇨ 内線／クリアーボタンを押して入れ直す。
●**名前や電話番号を消したいとき**
⇨ 内線／クリアーボタンを繰り返し押して消す。
●**海外やNTTコミュニケーションズなどの番号を登録するとき**
⇨ 識別番号（0033など）のあとに再ダイヤル／ポーズボタンを押し、空白時間（ポーズ）を入れる。
●**子機の電話帳の宛先名をひらがなや漢字にしたいとき**
⇨ 77ページの操作で、親機に登録した電話帳を子機に転送する。
●すでに登録済みの電話番号は、登録できません。

文字の入れかた

1 ダイヤルボタンで文字を入れる
（☞「文字列一覧表」）

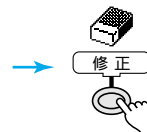
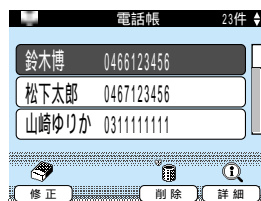
例：「マツシタ」
⑦ ④④④ ③③ ④
マ ツ シ タ

文字列一覧表

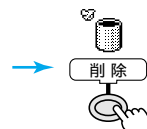
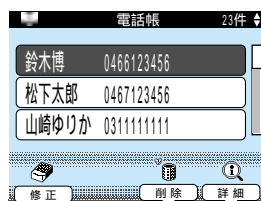
ダイヤルボタン	文字列
1	アイウエオ ァィゥェォ 1
2	カキクケコ ABC2
3	サシスセソ DEF3
4	タチツテトッ GHI4
5	ナニヌネノ JKL5
6	ハヒフヘホ MNO6
7	マミムメモ PQRS7
8	ヤユヨ ャュョ TUV8
9	ラリルレロ WXYZ9
0	ワヲン゛ ゜. —／( )・& = 0

電話帳の変更・削除

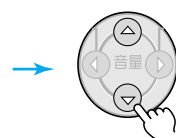
電話帳の修正（親機）

押して
修正する相手を選ぶ
●選んだ相手が反転表示

押して34ページ
「親機で登録するとき」手順❸からの操作をする

電話帳の削除（親機）

押して
削除する相手を選ぶ
●選んだ相手が反転表示

押して
削除する

電話帳の修正（子機）

外線ボタン消灯状態で

▲または▼で修正する相手を選ぶ

電話帳
修正 ＜
削除

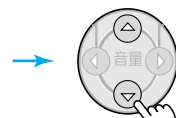
セット 保 留

押して
36ページ 手順❸からの操作をする

電話帳の削除（子機）

外線ボタン消灯状態で

▲または▼で削除する相手を選ぶ

押して
「削除」を選び

電話帳
修正
削除 ＜

セット 保 留

押し
削除する

●**修正/削除を途中でやめるときは** ⇨（親機）ストップボタンを押す。
⇨（子機）キャッチボタンを押す。

お知らせ

●お買い上げ時から登録されている電話番号のうち「時報」や「電報」などの電話番号は、修正・削除できますが、「NTTコム問合わせ」「コミスタ問合わせ」「割引自動登録」の3つは、修正・削除できません。

電話をかける／受ける 親機

■電話をかけるとき

1 **受話器を上げる**

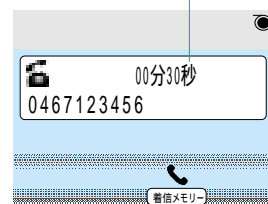
2 **ダイヤルし、話をする**

通話時間

00分30秒
0467123456

●終わったら、受話器を戻す。

■電話を受けるとき

1 呼出音が鳴ったら
受話器を上げて話をする

●終わったら、受話器を戻す。

再ダイヤル／ポーズ

保留／おやすみ

モニター

■受話器を上げずにかける

モニター

①押してダイヤルする
②相手が出たら、受話器を上げて話をする

■通話中に待ってもらう（保留）

①通話中に押す
●保留メロディー「ピアノソナタ」を相手に流す。
②通話に戻すにはもう一度押す

■最後にかけた相手にもう一度かける（再ダイヤル）

再ダイヤル/ポーズ

受話器を上げてから
押す

お知らせ

●プリント中や子機（親機）使用中は、電話はかけられません。
●呼出音の大きさ・種類は、変更できます。（☞ 25、26ページ）
●呼出音が鳴らないようにしている場合、ディスプレイに「電話に出てください」と表示されたら、受話器を取ってお話しください。
●ナンバー・ディスプレイをお使いの方は…（☞ 電話サービス編）
●ダイヤル回線をお使いの方が、プッシュ信号を使いたい場合は(＊)を押してください。（ディスプレイには“T”を表示）

■電話をかけるとき

1 **子機を上げる**

●充電台にないときは 外線 **押す**

2 **ダイヤルし、話をする**

●終わったら、充電台に戻す。
（または外線ボタン押す。）

■電話を受けるとき

1 呼出音が鳴ったら
子機を上げて話をする

●充電台にないときは外線ボタン押す。

●終わったら、充電台に戻す。
（または外線ボタン押す。）

■スピーカーホンでかける（子機を持たないで話したいとき）

スピーカーホン

①押して、ダイヤルする
②相手が出たら、話をする
●終わるとき 外線 押す

■通話中に待ってもらう（保留）

セット 保留

①通話中に押す
●保留メロディー「ピアノソナタ」を相手に流す。
②通話に戻すにはもう一度押す

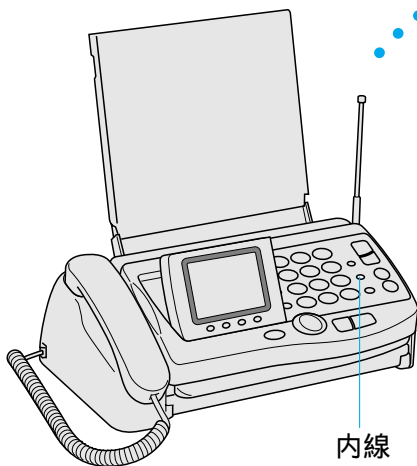
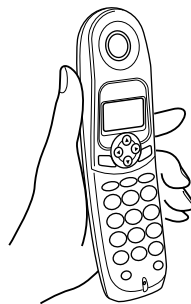
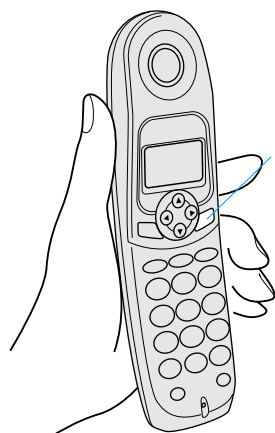
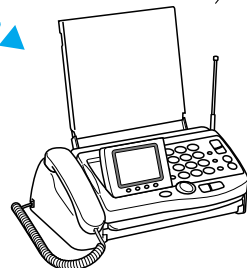
■最後にかけた相手にもう一度かける（再ダイヤル）

ポーズ 再ダイヤル

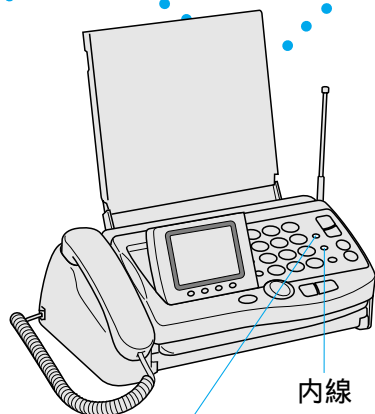
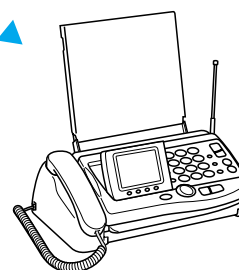
子機を上げてから
押す

お知らせ

●**スピーカーホンで話すときは…**
⇨ 子機からの距離は、40〜50cmまで。
●**スピーカーホン使用時で、相手の声が聞き取りにくいときは…**
⇨ 相手が話し終わってから話をする。
⇨ 騒音の少ないところで使う。
⇨ 子機での通話に切り替える。（騒音が多いと、相手の声が途切れることがあります。）
●**スピーカーホン通話から子機での通話に切り替えるときは…**
⇨ スピーカーホンボタンを押す。
●**子機で保留中は…**
⇨ 外線ボタンが点滅
⇨「ピッ…ピッ…」が聞こえる。
●ダイヤル回線をお使いの方が、プッシュ信号を使いたい場合は ＊ を押してください。（ディスプレイには“ ＊ ”を表示）

親機や子機の間で話をする 内線通話・子機間通話

お知らせ

- **親機から呼び出されたときに、子機を充電台に置いてなかったら** ⇨ 子機で出るときに、内線/クリアーボタンを押す。
- **内線通話中に「ププッ…ププッ」が聞こえたとき** ⇨ 電話がかかっています。キャッチボタンを押せば、電話に出られます。
- **親機から子機を呼出中に電話がかかってきたら** ⇨ 受話器を戻して、再度上げる。
- **子機から親機を呼出中に電話がかかってきたら** ⇨ 外線ボタンを押す。
- **増設子機やドアホンを接続している場合…**（☞80、81ページ）
- **UF-L2CLをお使いの方が子機を増設しても、子機間通話はできません。**

かかってきた電話をまわす 保留転送

使いかた

お知らせ

●親機から転送されたときに、子機を充電台に置いてなかったら
⇨子機で出るときに、内線/クリアーボタンを押す。

●まわすのを中断し、電話に出るには
⇨（親機）内線ボタンを押す。
⇨（子機）内線/クリアーボタンを押す。

ファクスを送る

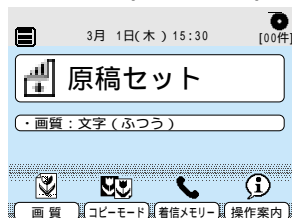
原稿台

送る面を
ウラ向きに

原稿ガイド

1 原稿台を開け 原稿をセットする

①原稿ガイドを合わせ、
②原稿をウラ向きにして
差し込む（5枚まで）

3月 1日（木）15:30 [00件]
原稿セット
・画質：文字（ふつう）
画質 コピーモード 着信メモリー 操作案内

●画質を選ぶときは
⇨ 画質 押して選ぶ
（下記）

2 ダイヤルする

（最大24ケタ）

●電話帳でかけるには
⇨ （☞32ページ）

3 スタート/セット **押す**

■相手と話してから送る

①通話中に、原稿をセットする
②相手に、ファクスのスタートボタンを押してもらうよう伝える
③スタート／セットボタンを押す

■同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）

①原稿をセットする
②再ダイヤル／ポーズボタンを押す
③スタート／セットボタンを押す

お知らせ

●送信を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
●相手の電話番号が24ケタよりも多いときは、受話器を上げて、相手と話をしてから送ってください。

画質を選ぶときは

原稿をセットすると、画質を選べるようになります。

●文字の大きさが普通のとき
●新聞など、小さい文字のとき
●とくに小さい文字のとき
●カタログなどのとき

お知らせ

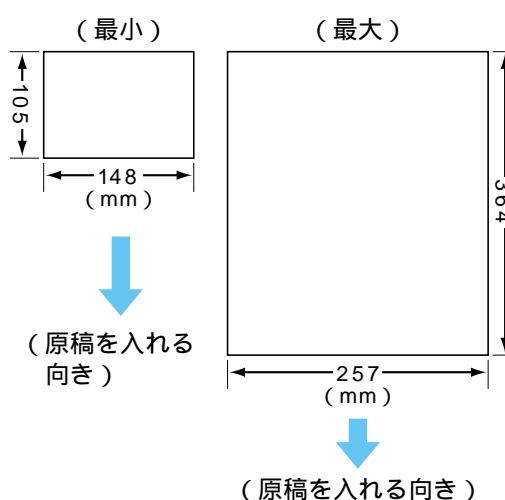
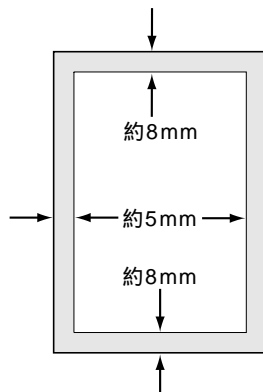
●よくお使いになる画質を登録しておけば、送信のたびに選ぶ手間が省けます。
（☞75ページ　親機の設定項目51）
●送信時間は、普通＜小さい＜細密＜写真の順番で長くなります。

原稿について

原稿は5枚までセットできます。

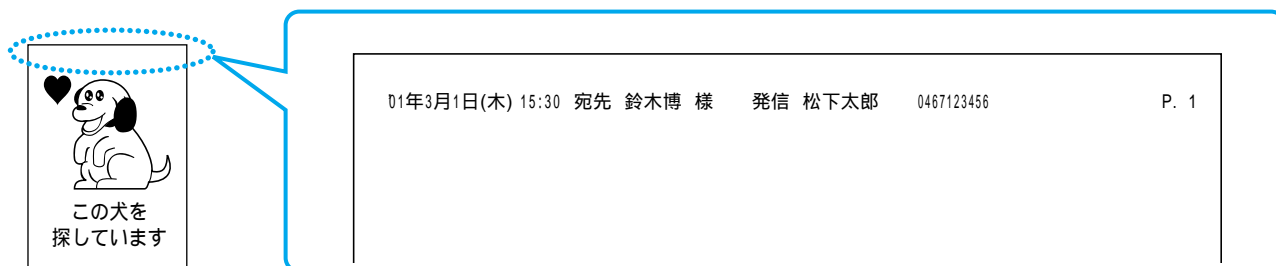
●ホチキスがついているときは ⇨取り除く
●インクが乾いていないときは ⇨完全に乾かしてからセットする

■紙の厚さ

⇨ **1枚なら** 0.06～0.15mm
⇨ **2枚以上なら** 0.06～0.12mm
●この取扱説明書の紙の厚さは、表紙が約0.15mm、本文が約0.09mmになっています。

■原稿のサイズ **■読みとれる範囲**

●コピーのときアミの部分には文字を書かないで
●ファクス送信のときは先端から12mmまで書かないで（発信元などの情報を送るため）

■次のような原稿はハンドスキャナーで読み取って（☞ 58ページ）から（または複写機でコピーしてから）送信・コピーしてください。

●紙が厚すぎる（0.15mmを超える）または薄すぎる（0.06mmより薄い）
●透明な原稿（ハンドスキャナーで読み取るときは、下に白い紙を敷いてから、読み取ってください）
●化学処理をした原稿（裏カーボン紙・感熱紙など）
●破れ、しわ、カール、折り目のついた原稿
●コーティングされている原稿
●小さすぎる原稿（幅が148mmより小さい　高さが105mmよりも小さい）
●布地や金属シート（ハンドスキャナーでは読み取れません）
●貼り合わせた原稿
●写真
●雑誌など

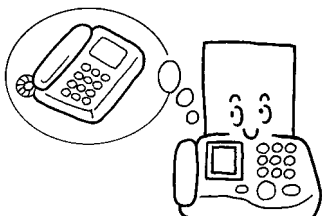
ファクスを送ったとき、相手の記録紙には

使いかた

ファクスの受けかたを選ぶ

あなたの使いかたは？ ▶▶▶ 相手がかけてきたら ▶▶▶

在宅受信

消灯状態

電話がかかってくることが多いときは「手動受信」

呼出音が鳴ります

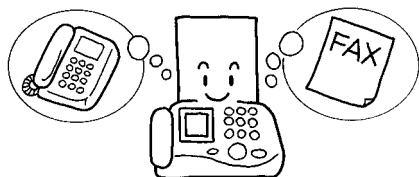
ファクスを送ってきたら

⇨ いったん電話に出てから

押して受ける

電話がかかってきたら

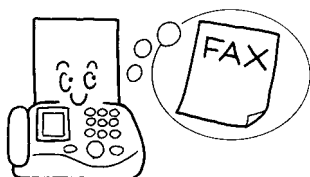
⇨ 受話器を取り話をする

電話もファクスも両方よく使うときは「ファクス／電話」

ファクスを送ってきたら

⇨ 自動的に受ける

電話がかかってきたら

⇨ 受話器を取り話をする

ファクスだけ受けたいときは「ファクス専用」

呼出音は鳴りません

ファクスを送ってきたら

⇨ 自動的に受ける

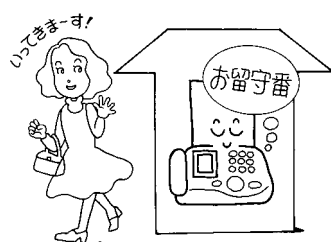
電話がかかってきたら

⇨ 電話には出られなくなります。

留守受信

点灯状態

外出することが多いときは

押す

ファクスを送ってきたら

⇨ 自動的に受ける

電話がかかってきたら

⇨ 用件は録音されます

留守ボタンは

お買い上げ時の設定

登 録
押す

押して**消灯**

「ファクス／電話」 に設定してください。

押して**消灯**

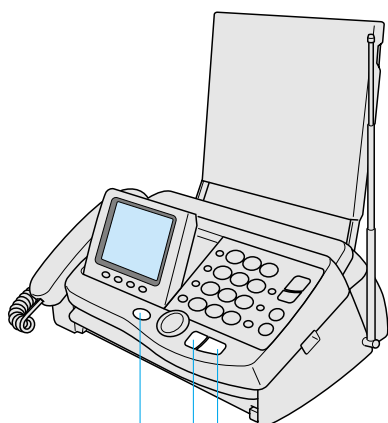
「ファクス専用」 に設定してください。

押して**消灯**

「留守セット」 してください。

特別な設定はいりません。

押して**点灯**

ファクスを受ける 手動受信

■親機で受けるとき

1 電話がかかってきたら
受話器を上げる

2 **相手と話をする**

⇨ 相手がファクスを送ると言ったときは

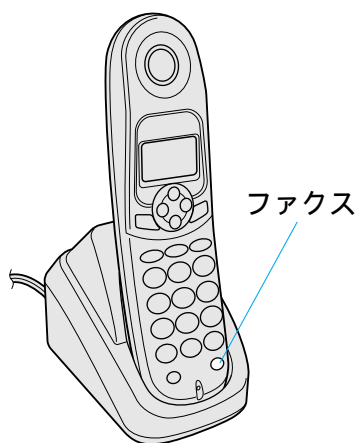
 押して、受話器を戻す

■子機で受けるとき

1 **子機を上げて**

2 **相手と話をする**

⇨ 相手がファクスを送ると言ったときは

ファクス **押して、**
子機を充電台に戻す

■ファクスを受けると

見える **が点滅し、**

⇨ 原稿を見たいときは ☞ 48ページ

お知らせ

●電話に出たときに何も聞こえない ⇨ （親機） スタート／セットボタンを押す。
⇨ （子機） ファクスボタンを押す。
●原稿がセットされているときは ⇨ 取り除いてから、親機のスタート／セットボタンを押す。
●受信を途中でやめるときは ⇨ （親機） ストップボタンを押す。
⇨ （子機） 「ファクスを受信します」が聞こえているうちに、ファクスボタンを押す。
●メモリーは、A4標準原稿（A4サイズ700字程度）で約48枚まで。用件などが録音されていれば少なくなります。

■自動送信のファクスを受けるとき

⇨ ①電話に出ると「ポー…ポー…」が聞こえる
②受信開始（親切受信）
③受話器を戻す

お知らせ

●「ポー…ポー…」が聞こえても受信が始まらない、または何も聞こえないときは、スタート／セットボタンを押してください。
●親切受信は、設定が“なし”になっているとできません（☞ 75ページ 親機の設定項目54）。このときは、スタート／セットボタンを押してください。
●「ポー…ポー…」が聞こえてからすぐに受話器を戻すと、受けられないことがあります。

■ 見える ランプの点灯／消灯を切り替えて、上手にファクスを受ける

見える ランプが点灯していると

⇨ ●受信した原稿はメモリーに保存
●受信内容はディスプレイで確認できます。
●必要なファクスだけプリントアウト
要らないファクスは消去できます。
（ランプを消灯させると、メモリーに保存している原稿を記録紙にプリントします。プリントした内容はメモリーから消去されます。）

見える ランプが消灯していると

⇨ ●受信した原稿はすぐにプリントアウト
●ファクスをすぐに記録紙にプリントするので、留守番電話の用件をたくさん録音できます。
（記録紙がないときは、受信したファクスをメモリーに保存します。）

●ランプの点灯／消灯を切り替えるには

⇨ 見える を1秒以上（「ピッ」が聞こえるまで）押してください。

お知らせ

●メモリーに原稿が保存されているときに、ランプを消すと
→**保存している原稿を記録紙にプリントします。**（記録紙がない場合は、そのままメモリーに保存）
●メモリーに保存されている原稿をプリントするには
→記録紙をセットして、スタート／セットを押す。（メモリーの内容は消去されます。）

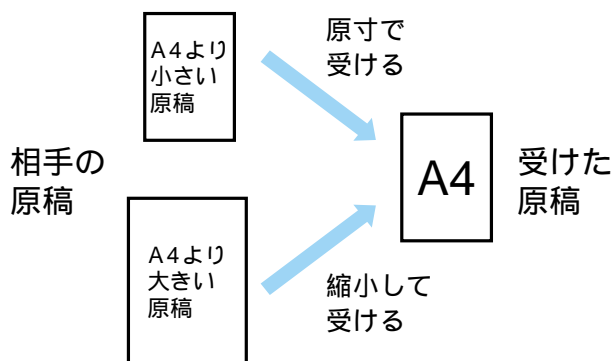
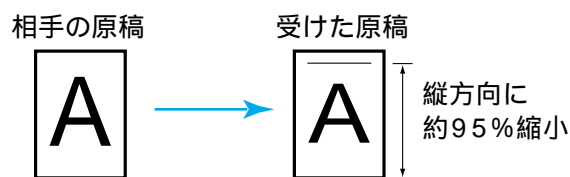
● 見える ランプが点滅しているときは

● 見える ランプが点滅しているときは

⇨ ファクスを受信すると点滅します。
受信した内容をディスプレイで確認またはプリントすると、点滅から点灯に変わります。

● 見える ランプは消灯しているが、[アイコン]を表示しているときは

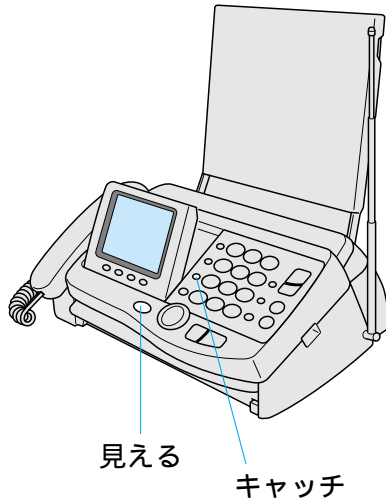
⇨ メモリーに受信した原稿が、まだプリントされずに保存されています。 見える を1秒以上押して（「ピッ」が聞こえる）、48ページからの操作をしてください。

■送られた原稿は、A4記録紙でプリントします

●受けた原稿の先頭部分に、受信日時や電話番号などを印字するために、縦方向に約95％で縮小してプリントします。（エコノミー受信）

お知らせ

●エコノミー受信を利用したくないときは、親機の設定項目57「エコノミー受信」を“なし”にしてください。（☞75ページ　お買い上げ時は“あり”になっています）

ファクスを受ける

メモリーに受信した原稿の確認のしかた

■ファクスを受けると ⇨ 見える 点滅してお知らせ

1 ポンと1回 見える 押す

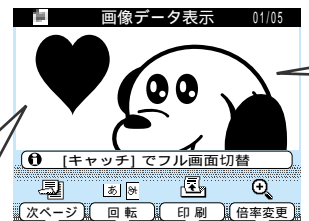
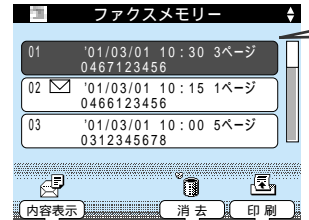
2 電話帳 押して表示させるファイルを選ぶ

3 内容表示 押して表示させる

■画面表示について

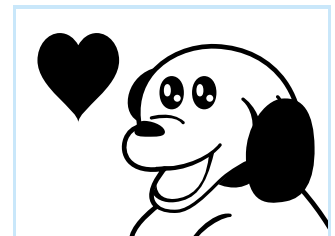
A4サイズの原稿を受信したとき

この部分を表示

この犬を探しています

5ページ中の1ページ目が表示されていることを意味します。

●次のページを見るときは 次ページ 押す。

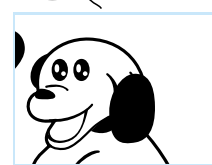
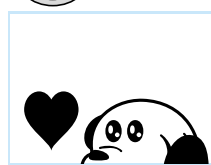
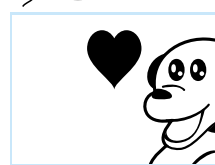
キャッチ

押すと表示範囲が大きくなります。（再度押すと、元に戻る）

●**受信した原稿によって、表示するまでの時間が変わります。**
・新聞など、文字の多い原稿なら：約60秒
・A4サイズ700字程度の原稿なら：約10秒

●**相手がA4サイズより大きい原稿を送信したときは**
A4サイズに縮小して表示されます。

●**画面を動かして表示したいとき**

押して画面を上下左右に動かして表示させる。（原稿の端までくると、動かなくなります。）

この表示を動かしたいときは…

● を押すと画面表示が大きくなりますが、しばらく何もしないでいると元の画面に戻ります。

一覧表表示中に…

■メモリーを消すには

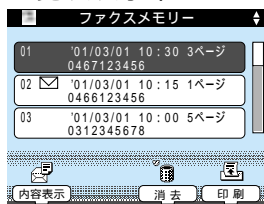
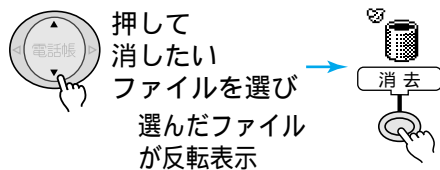
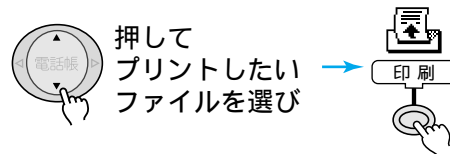
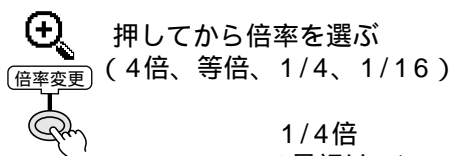
押して
消したい
ファイルを選び
●選んだファイルが反転表示

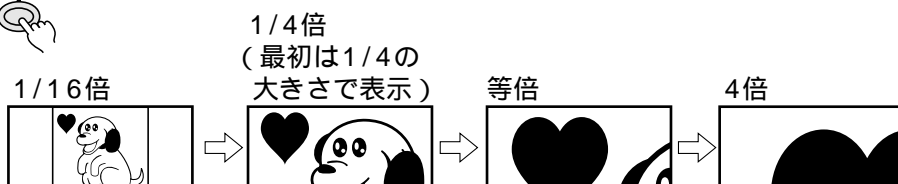
■プリントするには

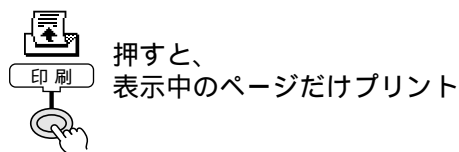
押して
プリントしたい
ファイルを選び

表示中に…

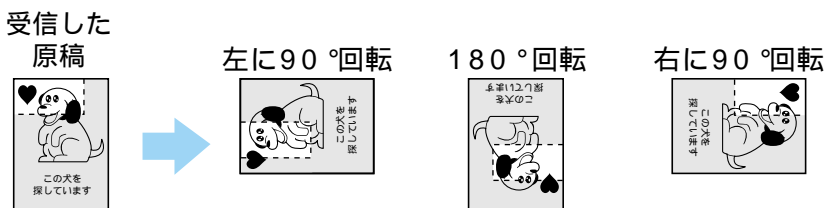
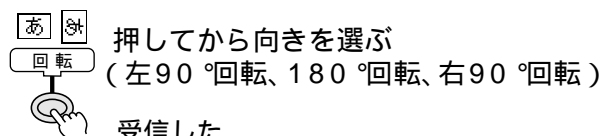
■倍率を変えて表示する

押してから倍率を選ぶ
（4倍、等倍、1/4、1/16）

●画面を拡大・縮小させても、プリントするときは拡大・縮小されません。

1/16倍　1/4倍（最初は1/4の大きさで表示）　等倍　4倍

■表示しているページだけプリントする

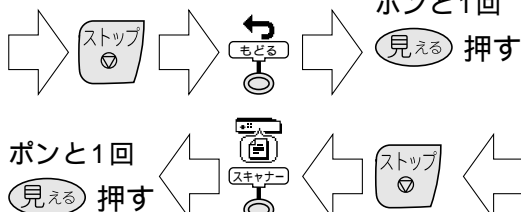
押すと、
表示中のページだけプリント

■向きを変えて（画面を回転して）見やすい向きで表示する

押してから向きを選ぶ
（左90 °回転、180 °回転、右90 °回転）

受信した原稿　左に90 °回転　180 °回転　右に90 °回転

●点線内がディスプレイに表示されます。
●画面を回転させても、プリントの向きは回転されません。

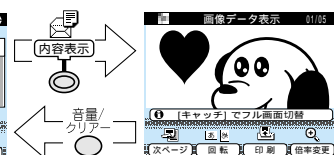
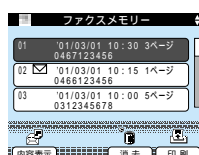
メモリーにスキャナーとファクスの内容が両方あるとき

スキャナーの内容表示中

受信した内容を見るには

ポンと1回
見える **押す**

ポンと1回
見える **押す**

ハンドスキャナーの内容を見るには

使いかた

ファクスを受ける

ファクス／電話またはファクス専用にしてファクスを受ける

■「ファクス専用」または「ファクス／電話」にセットするには

押す →

押して
「ファクス／電話」または
「ファクス専用」を選ぶ

→

押す

■ファクス／電話のとき

ここから通話料金が、かかります。

ファクスでは

相手がファクスを送ってくると…

相手が電話をかけてくると…

呼出音は鳴らないでつながる

つながったらすぐにファクス受信

つながったら呼出音が鳴り出します

プルルル プルルル…

呼出音の回数を変えたいときは
→「ファクス／電話 再呼出回数の設定」をしてください。
（☞ 右ページ）

相手には

相手が電話をかけてくると…

呼出音が1～2回聞こえる

プルルル

ただいま呼び出しております

プルルル プルルル…

呼び出しましたが近くにおりません…

呼出音の回数を変えたいときは
（お買い上げ時は“0回”になっています）
→「呼出回数の設定」をしてください。
（☞ 右ページ）

音声を消したいときは
→「ファクス／電話 音声応答の設定」をしてください。（☞ 右ページ）

■ファクス専用のとき

ファクスでは

相手から電話やファクスがくると

呼出音は鳴らないでつながる

つながったらすぐにファクス受信

相手には

相手が電話をかけてくると…

呼出音が1～2回聞こえる

ピーヒョロロ…

留守セットをしてファクスを受ける

■留守セットするには

押して、**ランプを点灯させる**（詳しくは、52ページをご参照。）

手動受信（お買い上げ時の設定）に戻すには

■「ファクス専用」または「ファクス／電話」から戻すには…

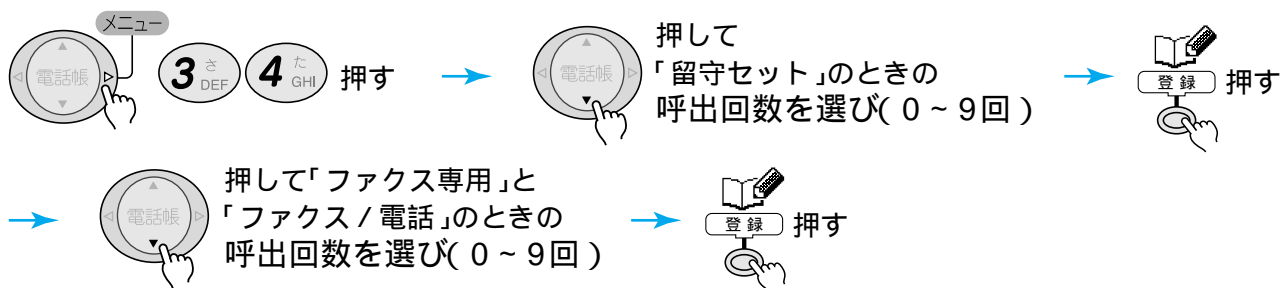
■留守セットから戻すには…

押して、**ランプを消灯させる**

呼出回数などの設定

■呼出回数の設定

「ファクス専用」「ファクス／電話」のときと、「留守セット」のとき両方の設定をしてください。
（お買い上げ時は…　留守セット：5回　ファクス専用・ファクス／電話：0回）

押して「ファクス専用」と
「ファクス／電話」のときの
呼出回数を選び（0～9回）

お知らせ

●「0回」に設定しても、相手には呼出音が1～2回聞こえます。

■ファクス／電話 再呼出回数の設定

■ファクス／電話 音声応答の設定

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタン押す。

使いかた

留守セットする

お出かけ前にポン! 帰宅後ポン!でOK。

留守セットのしかた

1 留守セットする

■外出前に…

受話器を置いたままで
押す
(ランプ点灯)

■電話がかかってくると…

呼出音が約5回鳴り (呼出回数を変えるには ☞ 51ページ)

応答メッセージが流れ
(自分の声でメッセージを録音したいときは ☞ 54ページ)

●**相手が電話なら** ⇨ **録音を開始** (約30秒)

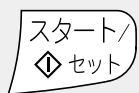
●**相手がファクスなら** ⇨ **受信開始**

●録音時間を変更するには (☞ 74ページ 親機の設定項目32)

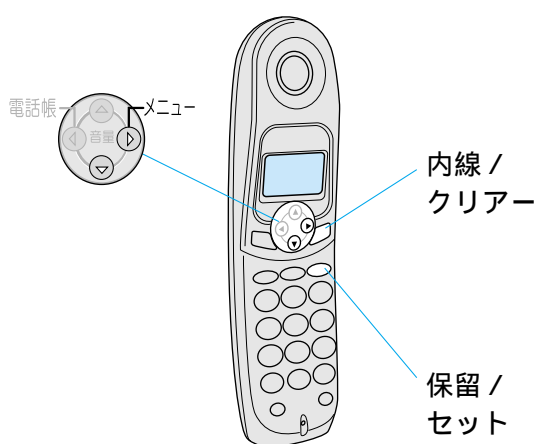
2 用件を聞くには

■帰ってきたら…

(用件が録音されていたら、**ランプ点滅**)
押す
(**ランプ消灯**→録音した用件を再生。)

●再生を途中で止めるには
⇨ ストップボタンを押す。

用件を消すには、
再生終了後10秒以内に
押す

●消去したくないときは
⇨ ストップボタンを押す。

子機から留守セットするときは…

1. 子機を上げ [外線] 押す（ランプ消灯）
2. [▷メニュー] 押し、[▽] 押して「リモコン操作」を選ぶ
3. セット [保留] 押す
4. [＊] 押す
5. 子機を戻す または クリアー [内線] 押す

外出先から留守セットするときは…

●あらかじめリモコン暗証番号を登録しておいてください。(☞ 74ページ 親機の設定項目30)
●親機の設定項目33「外からの留守セット」を“ あり ”にしておいてください。(☞ 75ページ)

1. **外から電話をかける**
2. **音声メッセージが聞こえているうちに**
   プッシュホン信号「ピッポッパッ」で
   [＃] 押す
   暗証番号を入れてください。ピー
3. **リモコン暗証番号**を押し、
   [＃] 押す
   用件○件あります。リモコンコードを入れてください。ピー
4. [＊] [＃] 押す
5. **電話を切る**

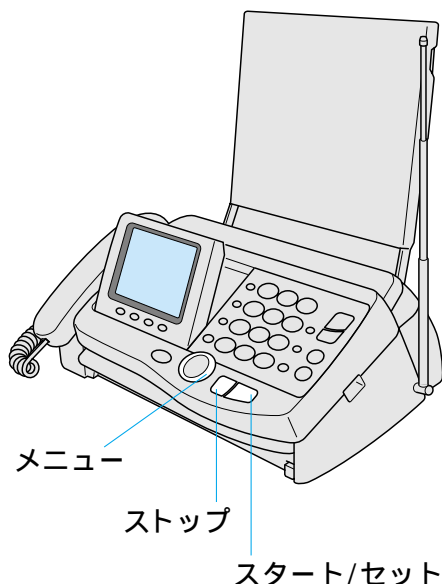
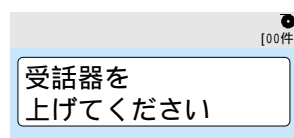
●ファクスの受信方法を“ 手動受信 ”「外からの留守セット」を“ あり ”にしているとき電話をかけると…

使いかた

自作の応答メッセージを録音したいとき

1

押す

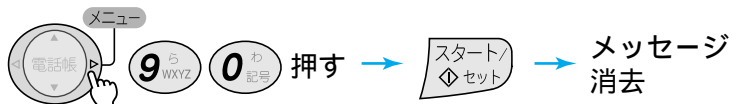
[00件]
受話器を
上げてください

2 **受話器を上げる**

3 「ピー」が聞こえたら
応答メッセージを話す
（最大30秒）
●終わったら、受話器を戻す。
（メッセージの再生開始）
●途中で止めるとき⇨ストップボタンを押す。

■応答メッセージを再生するには⇨

押す → 再生開始

■応答メッセージを消去するには⇨

→ メッセージ消去

■応答メッセージを変更するには⇨

録音済みの応答メッセージを消去 → 新しいメッセージを録音

お知らせ

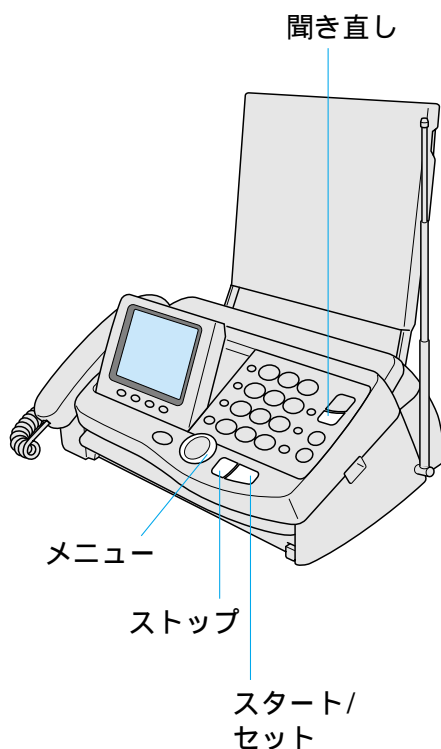
●固定の応答メッセージ ⇨
「ただいま留守にしております。電話のかたは『ピー』という音のあとにお話しください。
ファクシミリのかたは送信してください」
●メモリーに空きが無くなると応答メッセージを録音できなくなります。メモリーの内容を消去してから録音し直してください。
（☞ 49、55ページ）

次のようなときは、このようなメッセージが流れます。

こんなとき	メッセージの内容
用件の録音はできるがファクスの受信はできない。	ただいま留守にしております。電話のかたは「ピー」という音のあとにお話しください。
ファクスの受信はできるが、用件は録音できない。	ただいま留守にしております。電話のかたは後ほどおかけ直しください。ファクシミリのかたは送信してください。
用件もファクスも受けられない。	（約15回呼出音が鳴ったあと）ただいま留守にしております。後ほどおかけ直しください。

※メッセージの内容は変更できません。

用件を聞く／消す

用件を聞く

押す

●1件目から用件を再生。

■録音した用件を、通話中に相手に聞かせるには

⇨ 通話中に聞き直しボタンを押す

用件再生中には次のようなことができます

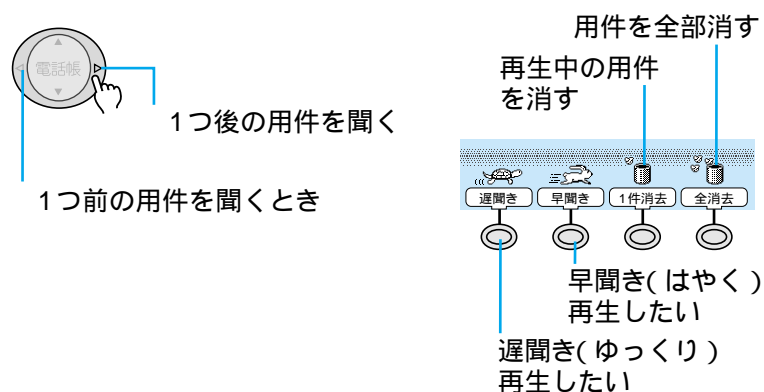
●1つ後の用件を聞く

●1つ前の用件を聞くとき

●用件を全部消す

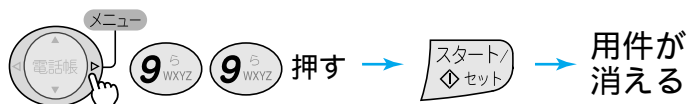
●再生中の用件を消す

●早聞き（はやく）再生したい

●遅聞き（ゆっくり）再生したい

■再生を中断するには

⇨ ストップボタンを押す。

用件を消す

→ **用件が消える**

お知らせ

●用件はこまめに消してください

⇨ メモリーがいっぱいになると、録音できなくなります。

（合計の録音最大時間：18分
録音件数　　　　　：99件）

●用件の遅聞きや早聞きをしているときに、普通の早さに戻すには

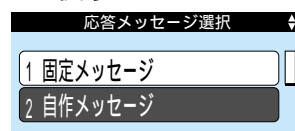
⇨ 遅聞きのとき：早聞き 押して戻す

早聞きのとき：遅聞き 押して戻す

留守番電話を上手に使う

●自作または固定の応答メッセージを選んで使う

①留守 押す。

②応答メッセージ再生中に 1（固定）
または 2（自作）を押す。

●相手の声を聞いてから電話に出る

応答メッセージや用件がスピーカーから聞こえるので、相手を確認してから電話に出られます。

⇨ 相手の声を聞こえないようにするには…
（☞75ページ　親機の設定項目37）

●再度、留守セットするだけで用件を消せます。

①親機の設定項目36「留守セットで用件消去」を"する"にセット
（☞ 75ページ）

②再度、留守セット ⇨ 再生済みの用件をすべて消す。

使いかた

コピーする

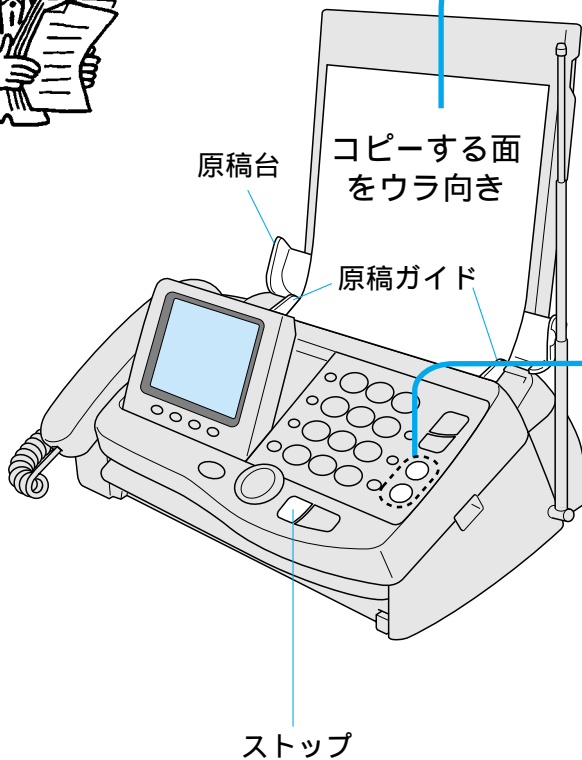
必ず
記録紙をセット
してから

1 原稿台を開け原稿をセットする

①原稿ガイドを合わせる
②原稿をウラ向きにして
　差し込む（5枚まで）

3月 1日（木） 15:30 [00件]
原稿セット
・画質：文字（ふつう）
画質　コピーモード　着信メモリー　操作案内

●画質を選ぶときは
　⇨ 下記

原稿台
コピーする面をウラ向き
原稿ガイド
ストップ

2 写真コピー または コピー 押して コピーを始める

写真コピー	：カタログなどのとき
コピー	：普通の原稿のとき

●途中でやめるときは
　⇨ストップボタンを押す

お知らせ

●コピーできる原稿は
　⇨（☞ 43ページ）
●コピー中は
　⇨親機や子機で電話をしたり登録・設定できなくなります。

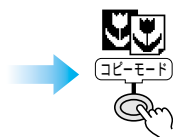
次のようなコピーは所有するだけでも、法律により罰せられます。

●紙幣・貨幣・政府発行の有価証券・国債証券
●外国で流通する紙幣・貨幣・証券類
●未使用郵便切手・官製はがき・政府発行の印紙・酒税法で規定の証券類
●著作権の目的となっている書籍・絵画・版画・地図・図面・写真等の著作物は、個人的または家庭内その他、これに準じる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁止されています。

お知らせ

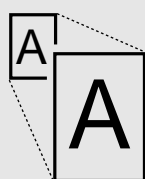
●画質を選ぶとき「ふつう」を選んでも、自動的に「小さい」でコピーされます。
●よく使う画質を登録することもできます。
（☞ 75ページ　親機の設定項目52）

■手順

●**原稿をセット**
または
●**ハンドスキャナーで読み取り** → **親機に戻す**

→ **下記の操作をしたあと** → **押す**

複数のコピーをしたいとき

 押す → ダイヤルボタンで **コピーしたい部数を入れる**（最大20部）

お知らせ
●コピー中に記録紙がなくなったときは
⇨記録紙を補充し、（☞24ページ）スタート/セットボタンを押してください。

拡大コピーをしたいとき
●A6→A4
●B5→A4

押して **「拡大　A6→A4」 または 「拡大　B5→A4」 を選ぶ**

お知らせ
●任意の倍率は選べません。

縮小コピーをしたいとき
●B4→A4

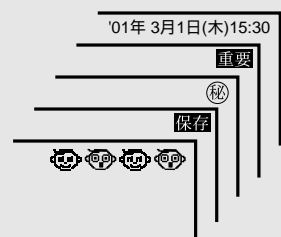
押して **「縮小　B4→A4」 を選ぶ**

お知らせ
●任意の倍率は選べません。

白黒反転コピーをしたいとき

押して **「白黒反転」 を選ぶ**

お知らせ
●原稿台やハンドスキャナーに2枚以上原稿があっても、1枚しか白黒反転コピーできません。

日時や重要マークなどスタンプを入れたいとき

押して **「スタンプコピー」を選び** スタート/セット **押す** →

押して選ぶ

1 日時印字
2 重要
3 マル秘
4 保存
5 ナビナビ坊や

選んだ項目が反転表示 → 4 保存

お知らせ
●「拡大コピー」と「複数のコピー」を同時にとるなど、組み合わせて選べません。
●複数枚のコピーや、拡大・縮小コピーができないとき
⇨メモリーが少ないので、内容を消去してください。（☞49、55ページ）
（原稿を、一度メモリーに読み込んでから、コピーを始めるため）
●原稿台には、A6縦サイズの原稿はセットできません。
●A6→A4の拡大コピーはハンドスキャナーで読み取ったA6縦サイズの原稿だけコピーすることをおすすめします。

ハンドスキャナー

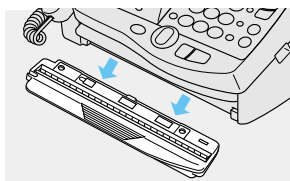
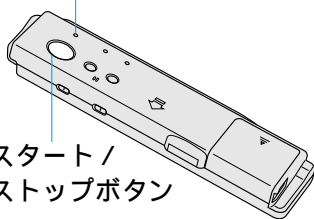
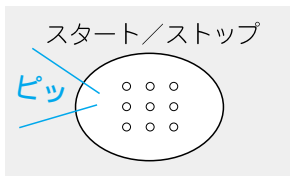
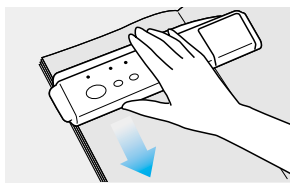
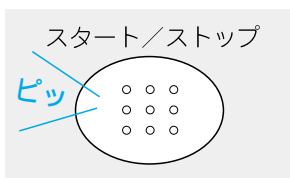
雑誌もノートも、
家でコピーできるんだ！

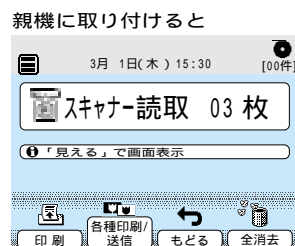
お好きな部屋で読み取って、コピー・ファクス

ハンドスキャナーを使う

原稿を読み取る

読取中ランプ
・読取中→点灯
・読取後→点灯から消灯

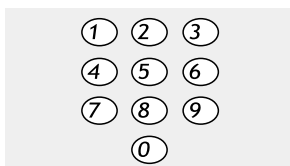
スタート／ストップボタン

取っ手を押し下げながら
親機から取り外し裏返して、

原稿の上に置き
押す

読み取る
（ゆっくり移動、浮かせないで）

読み終わったら
もう1度押す
親機に取り付ける

親機に取り付けると

読み取った原稿を
プリントする

押す

読み取った原稿を
ファクスで送る

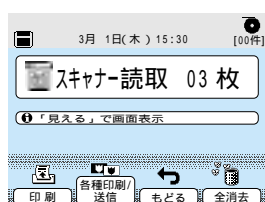
押す

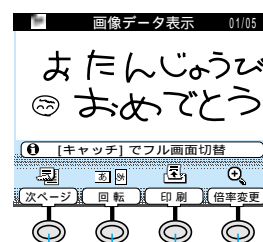
押して
「スキャナーメモリー送信」を選び スタート/セット **押す**

ダイヤルし、 スタート/セット **押す**

●**途中で止めるときは** ⇨ ストップボタン押す。

ハンドスキャナーで読み取った原稿を画面表示したいときは…

ハンドスキャナーで原稿を読み取り親機にセットする

3月 1日(木) 15:30 [00件]
スキャナー読取 03 枚
「見える」で画面表示
印刷 / 各種印刷/送信 / もどる / 全消去

画面表示するとき
ポンと1回
見える **押す**

画像データ表示 01/05
おたんじょうび おめでとう
[キャッチ]でフル画面切替
次ページ / 回転 / 印刷 / 倍率変更

次のページを見たいとき押す。

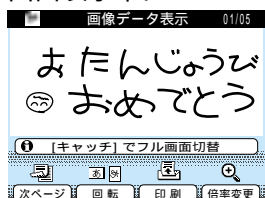
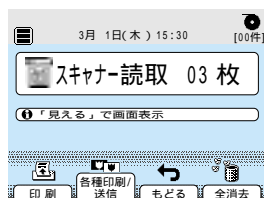
表示の向きを変えたいとき押す。

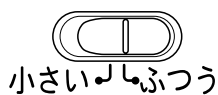
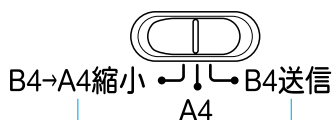
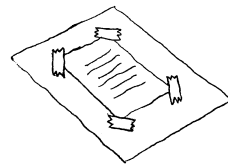
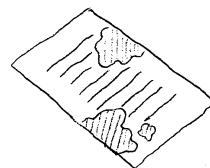
プリントしたいとき押す。

倍率を変えて見たいとき押す。

●詳しくは、48ページ「メモリーに受信した原稿の確認のしかた」をご覧ください。

画面表示したあとにファクスで送りたいときは…

使いかた

ハンドスキャナー 上手な読み取りかた

■画質と原稿サイズの選びかた

お知らせ

●読み取り方向と逆に動かすと、鏡に写したように上下や左右が反対にプリントされます。

●写真ボタンなどを押しても「ピー」が聞こえないときは…

①電池パックを抜き差ししてから、

②ハンドスキャナーを親機に取り付ける。

（「しばらくお待ちください」の間は、ストップボタンを押したり、ハンドスキャナーを取り外さない）

読み取った原稿を消す/詰込みコピー

■上手に読み取るために

●**読み取れる枚数は、約35枚**

（A4標準原稿（A4サイズ、約700字）
画質：小さい）

読み取り中

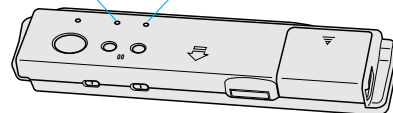
●**原稿を2枚以上読み取るには** ⇨
①スタート／ストップボタンを押し、1枚目を読み取る。
②終わるとき、再度スタート／ストップボタンを押す。
2枚目からも、①・②を繰り返す。

●**原稿を読み取ると**
⇨ メモリーランプが点灯してお知らせ。

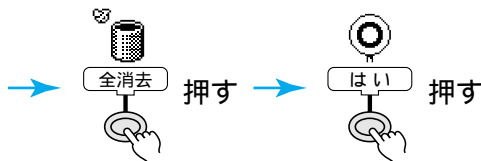
●**メモリーがいっぱいになると**
⇨ メモリーランプが点滅する。
他の原稿は、メモリーの内容を消去してから読み取る。

読み取った後

●**ハンドスキャナーは親機に戻す**
⇨ 外しておくだけでも、電池を消耗します。
フル充電の状態から約2時間で**充電ランプが点滅し、アラーム音が鳴る。→ 約5分後に電池切れ**

●**電池パックを抜いたり、電池切れにさせない**
⇨ メモリーの内容が消えます。

読み取った原稿を消す（メモリー消去）

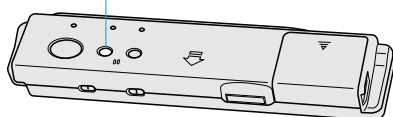
■全部消す

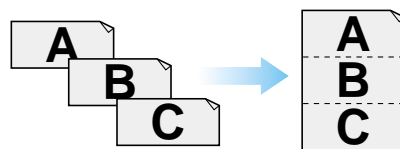
ハンドスキャナーを親機にセット →

■最後のページだけ消す

お知らせ

●一度コピーや送信をすれば、親機から外すだけで自動的にメモリーから消えます。

●全部を消去する前に
⇨ セットしている原稿を取り除き、エラー表示がある場合は解除してください。
（☞91ページ）

●2枚以上読み込んでいるとき
⇨ ページを選んで消去することはできません。

詰込みコピーをする

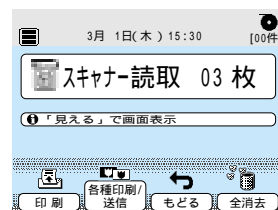
ハンドスキャナーで読み込んだ短い原稿をA4サイズの記録紙にまとめてプリントできます。

1. 読み終わったら **ハンドスキャナーを親機にセットする**

2.

押して **「詰込みコピー」を選ぶ**

3.

押す

使いかた

呼出メロディーを自分で作った曲に変える

好きなメロディーを作って親機の呼出音として使えます。

●**メロディーの作りかたは…**
- ➪ **ダイヤルボタンで音階や音符を選んで作ります。**
- ➪ **「着信メロディー作曲シート」に音符や音階を書き込んで作ります。**

●**メロディーは3和音で作曲できます。**

■**作ったメロディーを子機でも使いたいときは…**

➪ 子機にメロディーを転送してから、子機の呼出音を変えてください。 （☞67ページ）

■**呼出メロディーを作るまえに…**

➪ 原稿がセットされている場合は、取り除いてください。

➪ 「スキャナー読取 ○枚」を表示している場合は [もどる] を押してください。

着信メロディー作曲シートで作曲する

1 シートをプリントする

①時計表示のとき [メロディー] 押す

② 押して「手書きメロディーシート印刷」を選び → 押す

メロディー
2 子機へメロディー転送
3 手書きメロディー読取登録
4 自作メロディー編集
5 手書きメロディーシート印刷
▲▼で選び、スタートで決定

選んだ項目が反転表示

2 メロディーを書き込む

●書きかたは… ☞右ページ
●メインメロディ、サブメロディ1・2は、別々のシートに書き込む。
●1曲で書き込める枚数は、メインメロディー、サブメロディー1・2それぞれ2枚まで。

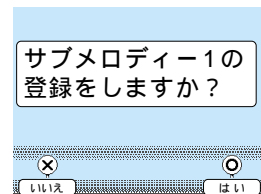
3 メロディーを登録する

①時計表示のとき [メロディー] 押す

②原稿台を開け、手順2で書き込んだメインメロディーの用紙をセットする

③ 押して「手書きメロディー読取登録」を選び → 押す

●メインメロディーの登録が終わると、右の画面を表示。
●続けて、サブメロディー1・2を登録するときは、手順2で書き込んだシートをセットしてから ◎（はい）を選ぶ。

サブメロディー1の登録をしますか？
✕ いいえ　◎ はい

お知らせ

●**途中でやめるときは** ➪ ストップボタンを押す。
●**メロディーを変えたいとき** ➪ 新しいメロディーを登録する。
●**メロディー読込中に電話がかかってくると** ➪ 読み込みが止まり、呼出音が鳴ります。

メロディーの書きかた

3 音符や休符を書き込む

●音符や休符の長さを数字で入れる
2,4,8,16分音符
→「2」「4」「8」「16」
全音符は、「1」

●音の高さを入れる

高音部のとき	△
中音部のとき	空白
低音部のとき	▽
半音高い	#

●ド・レ・ミ.....
や休符(「○」と書く)を入れる

●音符を書き込むときの例

中音部ミ、8分音符を入れる → ミ | | 8

低音部ソ、16分音符を入れる → ソ | ▽ | 16

●半音高くしたいときは → #を入れる

高音部のソ#を入れるとき → ソ | △#

低音部のソ#を入れるとき → ソ | #▽

●休符(○)を入れたいときは

4分休符(𝄽)を入れる → ○ | | 4

全休符(𝄻)を入れる → ○ | | 1

書き込みをするときは…

●筆記具は
⇨黒のボールペンまたは鉛筆(HB以上)をお使いください。(筆先の太いマジックなどは使わない)
⇨ボールペンを使ったときは、インクが乾いてから読み込む。
●文字は枠からはみ出ないように！　また、小さすぎる文字は読みとれません。
●読取部が汚れていると、メロディーを正しく読み取れなくなります。
⇨読取部を清掃してください。 (☞82ページ)
●書き込みを間違えたときは
⇨鉛筆で書き込んだときは、消しゴムで消してから書き込み直してください。
⇨ボールペンで書き込んだときは、作曲シートを再度プリントしてから書き直してください。
●付点4部音符は書き込めません。

呼出メロディーを自分で作った曲に変える

ダイヤルボタンで作曲する

1 **時計表示のとき** メロディー **押す**

2 押して
「自作メロディー編集」 → スタート/セット 押す
を選び
●「自作メロディー編集」が
反転表示される。

選んだ項目が反転表示 →

メロディー
1 コミスタ着信メロディーサービス
2 子機へメロディー転送
3 手書きメロディー読取登録
4 自作メロディー編集
▲▼で選び、スタートで決定

3 押して**自作メロディー**
（1または2）を選び → 決定 押す

4 押して
作曲するメロディー → スタート/セット 押す
を選ぶ

メインメロディー　楽譜　：主旋律を作曲
サブメロディー1・2　楽譜：副旋律を作曲
●重奏や和音を奏でたいとき、サブメロディーも作曲してください。

5 **ダイヤルボタンで**
メロディーを作り、 登録 押す

●メロディーの作りかたは（☞ 右ページ）
●サブメロディー1・2を作曲するときは手順4からの操作を繰り返す。

6 作曲したメロディーの
音色を設定する

① 押して
メロディーを選び → スタート/セット 押す

② 押して
音色を選び → スタート/セット 押す

7 作曲したメロディーを呼出音にするため、
「呼出音の種類を変える（親機）」の操作をする（☞ 26ページ）

お知らせ

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。
●**作成中にメロディーを確認したいとき** ⇨ ♩♪（演奏）押すと、作成中のメロディーが繰り返し演奏されます。
演奏を止めたいときは、ストップボタンを押します。
●**作曲したメロディーの大きさを調節できます**
⇨手順6で音量／クリアーボタンを押して調節（4段階）してください。
●**メロディーを消したいとき** ⇨ メインメロディー・サブメロディー1・2をそれぞれ消してください。
手順4で消したいメロディーを選んでから、(削除）を押してください。
●**メロディーを変えたいとき** ⇨ 元のメロディーを消してから作り直す。

自作メロディーの作曲のしかたと音色の種類

1 テンポ 押して **曲のテンポを（120または144）選ぶ**

2 1 ～ 7 、0 で **音符を選ぶ**

3 ＊ または ＃ 押して**音符や休符の長さを選ぶ**

4 **押す**

●手順2～4を繰り返してメロディーを作る。

		中音部		低音部		高音部	
		1回	2回	3回	4回	5回	6回
ド →	1	ド	ド#	ド▽	ド#▽	ド△	ド#△
レ →	2	レ	レ#	レ▽	レ#▽	レ△	レ#△
ミ →	3	ミ(1回押す)		ミ▽(2回押す)		ミ△(3回押す)	
ファ →	4	ファ	ファ#	ファ▽	ファ#▽	ファ△	ファ#△
ソ →	5	ソ	ソ#	ソ▽	ソ#▽	ソ△	ソ#△
ラ →	6	ラ	ラ#	ラ▽	ラ#▽	ラ△	ラ#△
シ →	7	シ(1回押す)		シ▽(2回押す)		シ△(3回押す)	
休符 →	0	休符					

例：中音の「ド」の長さを変える

ド4（4分音符♩） ⇄（#／＊） ド2（2分音符𝅗𝅥） ⇄（#／＊） ド1（全音符𝅝） ⇄（#／＊） ド16（16分音符𝅘𝅥𝅯） ⇄（#／＊） ド8（8分音符♪）

例：休符の長さを変える

○4（4分休符𝄽） ⇄（#／＊） ○2（2分休符𝄼） ⇄（#／＊） ○1（全休符𝄻） ⇄（#／＊） ○16（16分休符𝄿） ⇄（#／＊） ○8（8分休符𝄾）

お知らせ

●**音符や長さを間違えたときは**
⇨音量／クリアーボタンを押して入れ直す。

●**メロディー作成中に電話がかかってくると**
⇨作成中のメロディーは無効になります。

●1曲では最大253音で入れられます。（曲によっては、126音までしか入らないことがあります。）

●付点4分音符は入力できません。

●**「ドド」など同じボタンで続けて音符を入れたいとき**

1 押す（ド） → 押す → 1 押す（ド）

■音色の種類

00	グランドピアノ	25	クリーンギター	50	フレンチホルン	75	メタルパッド
01	ブライトピアノ	26	オーバードライブギター	51	ブラスセクション	76	ヘイローパッド
02	電子ピアノ	27	ディストーションギター	52	シンセブラス	77	スィープパッド
03	ホンキー・トンク	28	アコースティックベース	53	ソプラノサックス	78	氷雨
04	ローデスピアノ	29	フィンガーベース	54	アルトサックス	79	サウンドトラック
05	コーラスピアノ	30	ピックベース	55	テナーサックス	80	水晶
06	ハープシコード	31	フレットレスベース	56	バリトンサックス	81	大気
07	クラビコード	32	スラップバス	57	オーボエ	82	光輝
08	チェレスタ	33	シンセバス	58	イングリッシュホルン	83	小悪魔
09	グロッケン	34	バイオリン	59	ファゴット	84	反響
10	オルゴール	35	ビオラ	60	クラリネット	85	星空
11	ビブラフォン	36	チェロ	61	フルート	86	シタール
12	マリンバ	37	コントラバス	62	リコーダー	87	バンジョー
13	チューブラーベル	38	トレモロ	63	尺八	88	三味線
14	サントゥール	39	ピチカート	64	オカリナ	89	琴
15	ドローオルガン	40	ハープ	65	矩形波	90	カリンバ
16	パーカスオルガン	41	ティンパニ	66	のこぎり波	91	バグパイプ
17	ロックオルガン	42	ストリング	67	カリオペ	92	フィドル
18	教会オルガン	43	スロー弦楽器	68	チファリード	93	シャナイ
19	リードオルガン	44	シンセ弦楽器	69	ソロボーカル	94	ティンクルベル
20	アコーディオン	45	シンセボーカル	70	フィフス	95	アゴゴ
21	ハーモニカ	46	オーケストラヒット	71	バスリード	96	スチールドラム
22	ナイロンギター	47	トランペット	72	ファンタジア	97	木魚
23	スチールギター	48	トロンボーン	73	ポリシンセ	98	和太鼓
24	ジャズギター	49	チューバ	74	スペースボイス	99	小鳥

使いかた

呼出メロディーを自分で作った曲に変える

自作メロディー1に入っている「美しい少女」を作曲してみよう

「美しい少女」はメインメロディーとサブメロディーで構成されています。

親機で作曲したメロディーを子機の呼出メロディーとして使う

取り込んだメロディーを子機の呼出音として使うには

●お買い上げ時、子機のメロディー1にはオリジナル1、メロディー2にはオリジナル2が入っています。
●メロディーは2曲まで取り込めます。

1

押す

2
押して
「子機へメロディー転送」を選び → スタート/セット **押す**

3
押して
転送するメロディーを選び →

押す

●曲名を確認したいときは

選んだ項目が反転表示

4 **UF-L1WCLなら**

押して
転送先（子機1または2のメロディー1または2） → **押す**
を選び

UF-L2CLなら

押して
転送先（子機のメロディー1または2） **を選び** → **押す**

●転送したメロディーが子機から流れる。

5 転送したメロディーを呼出音にするため、
「呼出音の種類を変える（子機）」の操作をする（☞ 27ページ）

お知らせ

●途中でやめるときは手順3までにストップボタンを押してください。

外出先から留守中の用件を聞く トールセーバー

●電話代を節約するために、呼出回数で用件の有無を知りたい。**→トールセーバー**
●外出先から留守番電話の用件を聞いたり、留守セット／留守解除したい。**→外からのリモコン操作**
●用件が録音されたら、外出先へ転送してほしい。**→用件転送**

■ご自宅で必要な設定

1 **リモコン操作用の暗証番号を登録**（☞74ページ　親機の設定項目30）

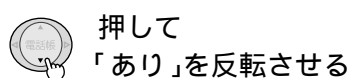
2 外出前に 留守 押して、**留守セットする**

呼出回数で用件の有無がわかる（トールセーバー）

外出前に「トールセーバー」の設定が必要です

① 押す

② 押して「あり」を反転させる

③ 押す

●途中でやめるときは ストップボタン 押す。

呼出音約2回で応答し、
外からのリモコン操作で
用件を聞く（☞右ページ）

呼出音約6回で応答するので…
4回目の呼出音で電話を切ると、通話料金がかかりません

お知らせ

●トールセーバーが正しく動作しないとき
- 留守セットしていない。
- ナンバー・ディスプレイの呼出先選択を「親機」「子機1」または「FAX」で選んでいる。
- ナンバー・ディスプレイの、おやすみモードをセットしている。

●呼出回数を設定していても、設定した呼出回数は無視されます。

リモコン操作

外からのリモコン操作をするとき

1 外から電話をかける

2 音声メッセージが聞こえているうちに
プッシュホン信号「ピッポッパッ」で
［#］押す

3 リモコン暗証番号を押し、
［#］押す

●暗証番号は3回間違えると電話が切れる。

4 リモコンコードを入れる

●用件を再生するとき………［2］［#］押す。
（再生を終わるとき［#］押す。）
●前の用件を再生するとき…［1］押す。
●次の用件を再生するとき…［3］押す。
●用件を消去するとき………［6］［#］押す。
●留守セットするとき………［＊］［#］押す。
●留守解除するとき…………［0］［#］押す。

5 電話を切る

お願い

●ボタンを押す間隔は10秒以内にしてください。
電話が切れたり、リモコン操作できなくなります。
●**「留守セット」ができないとき**
⇨親機のメモリーがいっぱいなので、「用件を消去する」ことをおすすめします。
（☞55ページ）
●外出するときに留守セットし忘れても、リモコン操作ができるように、親機の設定項目33「外からの留守セット」を“あり”にすることをおすすめします。
（☞75ページ）
●「外からの留守セット」が“あり”のとき電話をかけると…

呼出音が約15回鳴る → 「ただいま留守にしております。後ほどおかけ直しください」
●リモコン操作をするときは、音声の途中で［#］を押します。

■子機からもリモコン操作ができます

①子機を上げ［外線］押す **（ランプ消灯）**

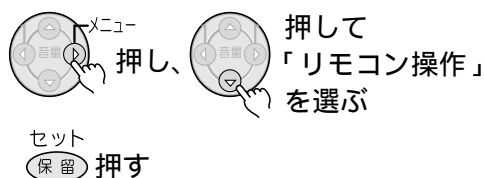
②

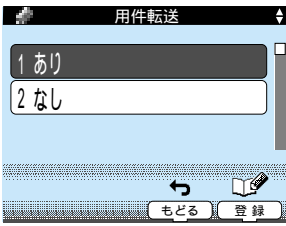
押し、

押して「リモコン操作」を選ぶ

③［セット 保留］押す

④リモコンコードを入れる →

⑤子機を戻す または［クリアー 内線］押す

リモコンコード

●用件を再生するとき…………［2］押す。
（再生を終わるとき［#］押す。）
●前の用件を再生するとき……［1］押す。
●次の用件を再生するとき……［3］押す。
●遅聞き（ゆっくり）再生をするとき………………………［7］押す。
●早聞き（早く）再生をするとき………………………［9］押す。
●再生中の用件を消去するとき…［8］［8］押す。
●伝言メモを録音するとき……［5］押す。
（録音を終わるとき［#］押す。）
●留守セットするとき…………［＊］押す。
●留守解除するとき……………［0］押す。

お知らせ

●**「伝言メモの録音」や「留守セット」ができないとき**
⇨親機のメモリーがいっぱいなので、消去してください。（☞49、55ページ）

外出先から留守中の用件を聞く　用件転送

録音された用件を外出先へ転送する（用件転送）

■用件転送の設定

転送先は2ヵ所まで登録できるので、1つがつながらなくてももう1つへお知らせします。

押す

押して
「あり」を反転させる

③

押す

④ 1つ目の転送先の
電話番号を入れ →

押す

（最大36ケタ、必ず登録してください）

⑤ 2つ目の転送先の
電話番号を入れ →

押す
（最大36ケタ）

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。

お知らせ

●電話番号には、数字・ポーズ（再ダイヤル／ポーズ）・スペース（モニター）・トーン（＊）を登録できます。
●用件転送の解除は ⇨ 手順2で「なし」を選ぶ。
●転送先を1ヵ所にするには
　⇨ 手順5で、電話番号を入れずに、登録する。
●転送先の変更は ⇨ 手順1からやり直す。
●転送先を削除したいとき
　⇨ 1つ目の転送先は削除できません。（変更は可能）
　⇨ 2つ目の転送先は、音量／クリアーボタンを押して、数字を全て消してください。

■転送先での用件の聞きかた

① 転送先に電話がかかってきたら…
受話器を上げる
（用件転送です。）

② プッシュホン信号「ピッポッパッ」で
＃ 押す
（暗証番号を入れてください。）

③ **リモコン暗証番号を押し、**
＃ 押す
（用件○件あります。）

⇨ 録音した用件が再生される。

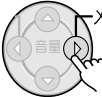
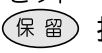
●**暗証番号を間違えると**
⇨ 3回間違えると、電話は切れます。
●**転送先がポケットベルのときは**
⇨ お近くの電話（「ピッポッパッ」が出る）から、リモコン操作で再生する。（☞ 69ページ）

お知らせ

●転送先が「ピッポッパッ」の出ない電話機の場合も、お近くの電話（「ピッポッパッ」が出る）から、リモコン操作で再生してください。（☞69ページ）
●**転送先が話し中のときは**
⇨転送先1、2それぞれへ2回までダイヤルします。
転送先1へダイヤル
↓ 話し中なら
転送先2へダイヤル ← **約90秒後に**
↓ 話し中なら
転送先1へダイヤル ← **次のゼロ分（今が14:27なら15:00）に**
↓ 話し中なら
転送先2へダイヤル ← **約90秒後に**

転送先がNTT DoCoMoのクイックキャスト（ディスプレイ・ポケットベル）**のときは**

電話番号を入れるところで
①ポケットベルの電話番号を入れる
②（ダイヤル回線の場合 ＊ 押す。）
③再ダイヤル/ポーズボタンを2回程度押す。
④表示データを入れる。→ ⑤終了データ ＃ ＃ 押す。

●再ダイヤル／ポーズボタンを2回程押すのは、ディスプレイ・ポケットベル局が表示データを受け取るのに必要な時間を、調節するためです。（2回で約7秒）
●他社のポケットベルの場合、お買い求め先にお問い合わせください。

伝言メモなどを録音する/ポーリング受信

伝言メモを録音する

■親機で…

1

9 8 押す

2 受話器を上げ、
「ピー」を聞いてから
伝言を話す
（最大18分）
●終わったら、受話器を戻す。

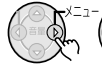
■子機で…

1 子機を上げ 外線 押す **（ランプ消灯）**

2

押す

着信 メモリー
リモコン 操作 く
Eメール 操作

3 セット 保留 押し → 5 押す

4 「ピッ、お話ください、ピー」の後
伝言を話す → #
●子機を充電台に戻す または 内線／クリアーボタンを押す。

通話の内容を録音する

■親機で…

通話中に

押す（最大18分）

●終わるときストップボタンを押す。

■子機で…

通話中に

セット 保留 5 押す（最大18分）

●終わるとき、内線／クリアーボタンを押す。

お知らせ

●伝言メモ／通話録音は1件分の用件として数えます。
●メモリーに受信した原稿があるときは、録音時間が短くなります。
●録音できないとき ⇨ 子機でスピーカーホン通話をしているときは、通話録音できません。
⇨ メモリーがいっぱいなので、消去してください。（☞ 49、55ページ）
●再生のしかたは ⇨（親機） 聞き直しボタンを押す。
⇨（子機） 子機からリモコン操作をして聞く。（☞ 69ページ）
●伝言メモの録音中にメモリーがいっぱいになると
⇨（親機）「受話器を置いてください」が表示される。
⇨（子機）「ピー、リモコンコードを入れてください、ピー」が聞こえる。
●通話録音中にメモリーがいっぱいになると
⇨（親機）「録音終了」が表示される。
⇨（子機）「ピー」が聞こえる。

娯楽情報などを取り出したい（ポーリング受信）

通信料金は受信側の負担になります。各種情報の詳細は、情報提供元にお問い合わせください。

1

8 0 押す

2 情報提供元の
電話番号を入れる
（最大24ケタ）

電話番号
0467123456

3

押す

お知らせ

●途中でやめるとき ⇨ ストップボタンを押す。
●宛先はダイヤルボタン（0～9、再ダイヤル／ポーズボタン、#）、電話帳で選べます。
●次のようなときはポーリング受信できません。
⇨相手にポーリング送信機能がないとき。
⇨相手がポーリング用のパスワードをセットしているとき。

使いかた

便利な使いかた

通話中にかかってきた別の電話と話す（キャッチホン）

●キャッチホンサービスは、
NTTとの利用契約が必要です。

通話中に「プップッ」が
聞こえると、別の電話が
かかっている。（キャッチホン）

別の電話にでるとき

キャッチ
押す

●1人目を保留し、
2人目と通話できる。

1人目に戻すには、再度

キャッチ
押す

●子機も同様に使える。

かけた最新の電話番号を使う（再ダイヤルメモリー）

かけた電話番号を最新の5件まで（親機・子機それぞれ）記憶します。

■親機で…

再ダイヤル/ポーズ　押す → 押して**相手を選び**

再ダイヤル
松下太郎　0467123456
鈴木博　0466123456
電話帳登録　削除　全削除

選んだ相手が反転表示

●**電話をかける** → 受話器を**上げる**

●**電話帳に登録する** → 電話帳登録　押す（☞34ページ）

●**消す** → 削除　押す（全部消すときは　全削除　押す）

■子機で…

子機を上げ

外線　ポーズ/再ダイヤル　押す（ランプ消灯） → 押して**相手を選び**

●**電話をかける** → 外線　押す

●**電話帳に登録する** → セット/保留　**2回**押す（☞36ページ）

●**表示の宛先を消す** → セット/保留 → 押して**「削除」を選び** → セット/保留　押す

●**子機で宛先を全て消す**

子機を上げ

外線　メニュー　押す（ランプ消灯） → 押して**「再ダイヤル　クリア」を選び** → セット/保留　**2回**押す

音声で送信・コピーの操作案内をする

押す

操作方法を音声でお知らせします。ファクス送信をする場合はダイヤル1、ハンドスキャナーでコピーする場合はダイヤル2、を押してください。その他の機能を使用する場合は取扱説明書に従って操作してください。

●ファクスを送る場合

1　押す

これからファクスの送信方法をお知らせします。原稿台を開けて、送る面をウラ向きにして原稿をセットしてください。

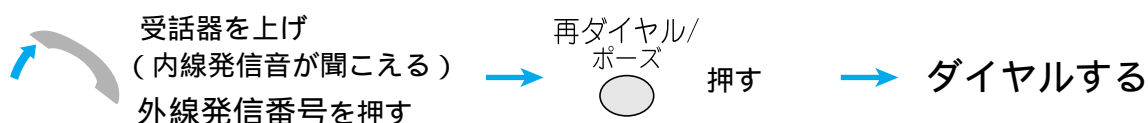
●ハンドスキャナーでコピーする場合

2　押す

これからハンドコピーの方法をお知らせします。ハンドスキャナーを本体から取り外してください。

構内交換機につないで外線に電話をかける

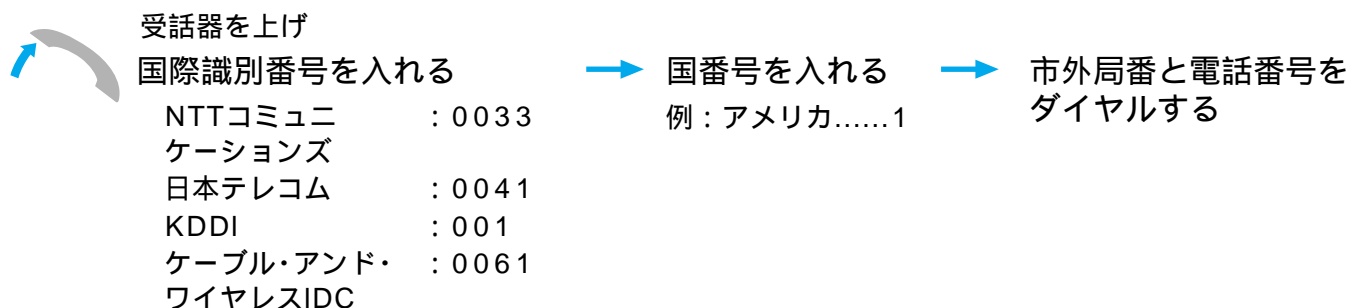
受話器を上げ
（内線発信音が聞こえる）
外線発信番号を押す →

押す → **ダイヤルする**

●電話帳に登録するときは ⇨ 外線発信番号のあとに、再ダイヤル／ポーズボタンを押し、電話番号を入れてください。

海外の相手へ電話をかける

受話器を上げ
国際識別番号を入れる
●NTTコミュニケーションズ　：0033
●日本テレコム　：0041
●KDDI　：001
●ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC　：0061

→ **国番号を入れる**
例：アメリカ……1

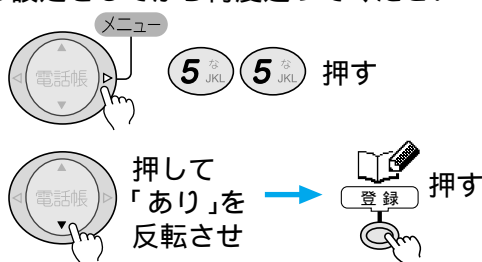
→ **市外局番と電話番号をダイヤルする**

■海外へファクスがうまく送れないとき

次の設定をしてから再度送ってください

①

押す

②

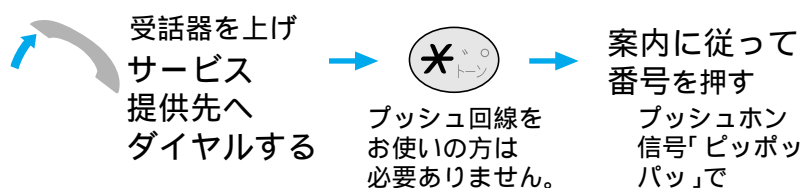
押して「あり」を反転させ →
押す

お知らせ

●電話がかかりにくいときは
⇨国際識別番号のあとに
再ダイヤル／ポーズボタンを押す。

銀行の残高照会などプッシュホンサービスを利用する

受話器を上げ
サービス提供先へダイヤルする →

●プッシュ回線をお使いの方は必要ありません。

→ **案内に従って番号**を押す
●プッシュホン信号「ピッポッパッ」で

お知らせ

●サービスに関するお問い合わせは
⇨各サービス提供先へ。
●子機も同様に使えます。

原稿をセットする
送り先のファクシミリの電話番号をダイヤルした後、スタートボタンを押してください。
→ **宛先をダイヤルし**
押す
ファクスを送信します。

ハンドスキャナーをはずす
ハンドスキャナーのスタート/ストップボタンを押して原稿を読み取ってください。読みとりが終わりましたらもう一度スタート/ストップボタンを押して、本体にハンドスキャナーを戻してください。
→ **原稿を読み取り親機に戻す**
ハンドスキャナーに読取データがあります。コピーを取る場合は印刷ボタンを押してください。
→
押す

使いかた

使いかたに合わせて 親機の登録・設定を変える

●お買い上げ時は、□枠の値に設定されています。

こんなことをしたい	番号を選ぶ	設定値を選ぶ	参照ページ
ディスプレイの日時をセット	1 0	――――	28
あなたの名前（発信元）と電話番号（ID番号）を登録	1 1	――――	30
在宅受信のときの受信方法を設定	1 3	[手動受信]、ファクス／電話 ファクス専用	50
ボタンを押したときの音量を調節（パネルタッチ音）	1 4	なし、[小]、大	―
ディスプレイ表示の濃さを調節（LCDコントラスト）	1 5	1～[9]～16	―
呼出音の種類を選ぶ（通常呼出音）	1 6	[パターン1]、2～7 メロディー1～5　自作メロディ1、2	26
ディスプレイ表示の明るさを調節（バックライト調節）	1 7	[明るい]、暗い、OFF	―
子機から電話をかけられないようにする（子機発信規制）　※1	1 8	あり：かけられない [なし]：かけられる	―
ディスプレイの絵柄を選ぶ（待機画面選択）	1 9	[時計]、ワンちゃん、地球、 ユーザー登録	29
ナンバー・ディスプレイを使う　※2	2 0	あり：使う [なし]：使わない	電話サービス編16
コミスタ機能を使う　※3	2 5	――――	電話サービス編4
Lモードの設定をする　※4	2 6	――――	電話サービス編24
Fネットからの信号（1300Hz）が来たら自動的に受信（Fネット信号検出）	2 7	する：受信する [しない]：受信しない	94
電話回線と電源を入れるだけで自動的に電話回線の種類を設定（回線自動選択）	2 8	[する]：自動的に設定 しない：回線種別スイッチで選択	17
お使いになっている電話回線に合わせて回線の接続先を選ぶ（回線接続先）	2 9	[公衆回線]、構内回線，TA	17
リモコン暗証番号を登録	3 0	ダイヤルボタンで 4ケタの暗証番号を入れる	―
用件転送をする	3 1	あり：使う [なし]：使わない	70
用件の録音時間を変える	3 2	[30]、60、90、180秒	―

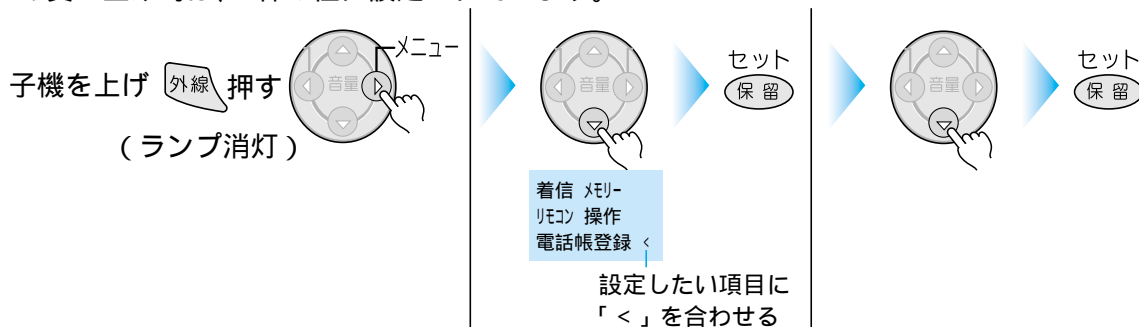
※1：UF-L1WCLをお使いの場合、設定値を選びスタート／セットボタンを押したあと、続けて子機2の設定をしてください。
※2：ナンバー・ディスプレイをご利用の方の設定です。
※3：コミスタ機能をご利用の方の設定です。
※4：Lモードをお使いの方の設定です。

●お買い上げ時は、□枠の値に設定されています。

こんなことをしたい	番号を選ぶ	設定値を選ぶ	参照ページ
「外からの留守セット」をする	3 3	あり：使う [なし]：使わない	53
受信する前に鳴る 呼出音の回数を変更	3 4	留守呼出回数：0 ～[5]～ 9回 ファクス／電話・ファクス専用呼出回数 ：[0]～ 9回	51
「トールセーバー」をする	3 5	あり：使う [なし]：使わない	68
留守セットするだけで、再生済みの 用件を消したい（留守セットで用件消去）	3 6	する ：消す [しない]：消さない	55
用件録音中、相手の声を聞く （留守番モニター）	3 7	[あり]：聞きたい なし：聞きたくない	55
用件録音中に無音が続いても、 ファクスに切り替えたくない （無音検出）	3 9	[あり]：切り替えたい なし：切り替えたくない	–
ファクス／電話にセットしている ときの、再呼出回数を変える （ファクス/電話再呼出回数）	4 1	3 、6 、[9]、12回	51
ファクス／電話にセットしている ときの音声「ただいま…」を出ない ようにする（ファクス/電話音声応答）	4 2	[あり] ：音声を出す なし ：音声を出さない	–
いろいろな操作を声でガイドする （音声案内）	5 0	[あり] ：ガイドする ファクス ：ファクスの送受信 のときガイドする なし ：ガイドしない	–
よく送信する原稿に合わせて 画質を選ぶ（送信画質初期値）	5 1	[文字（ふつう）]、文字（小さい） 文字（細密）、写真	42
よくコピーする原稿に合わせて 画質を選ぶ（コピー画質初期値）	5 2	[文字（小さい）]、文字（細密） 写真	56
よくコピーする原稿に合わせて 濃度を選ぶ（読取記録濃度）	5 3	[ふつう]、濃く、薄く	–
相手が自動送信のファクスなら、 電話に出るだけで自動的に受信 （親切受信）	5 4	[あり]：受信する なし：受信しない	46
海外へ通信したいとき通信エラー などでうまく送れないとき設定 （海外通信）	5 5	あり：うまく送りたい [なし]：そのまま	73
縦方向だけ95％縮小して、記録紙 1枚でプリント（エコノミー受信）	5 7	[あり]：縮小したい なし：原寸のまま	47
長い原稿をコピーしたとき、記録紙 2枚に分けてプリント（分割コピー）	5 8	あり：2枚に分ける [なし]：2枚目はプリントしない	–

使いかたに合わせて

子機の登録・設定を変える

●お買い上げ時は、□枠の値に設定されています。

こんなことをしたい	項目を選ぶ	設定値を選ぶ	参照ページ
着信メモリーを使って電話する	着信メモリー	――――	電話サービス編19
リモコン操作をする	リモコン操作	――――	69
電話番号を電話帳に登録	電話帳登録	――――	36
自分専用の子機に名前を付ける	子機の名前	――――	77
呼出音の種類を選ぶ	通常呼出音	メロディ1、[2] パターン1～9	27
着信鳴り分けを使う（※）	着信鳴分け	――――	―
子機を充電台から上げるだけで、電話をかけられる	クイック発信	[する]：すぐに電話をかける しない：外線ボタンを押してから電話をかける	―
着信メモリーの内容を消去	着信メモリークリア	――――	―
再ダイヤルの内容を消去	再ダ゛イヤルクリア	――――	72
メロディー1、2に取り込んだメロディーを消して、お買い上げ時のメロディーに戻したい	メロデ゛ィークリア	[メロディー1]：メロディー1を消す メロディー2：メロディー2を消す	―
通話料金の表示（※※）	料金表示	[する]：表示する しない：表示しない	―
ナンバー・ディスプレイを使っていても、子機を充電台から上げるだけですぐに電話をつなぐようにする（※）	NDクイック応答	[する]：すぐに電話を受ける しない：名前を確認してから外線ボタンを押して受ける	―
ボタンを押したときの音を消す	タッチ音	[あり]：音を出す なし：音を消す	―
ディスプレイ表示の濃さを調節	LCDコントラスト	1～[6]～10	―

（※）ナンバー・ディスプレイをご利用の方の設定です。
（※※）コミスタをご利用の方の設定です。

自分専用の子機に名前を付ける

子機を上げ 押す（ランプ消灯）

押す

着信 メモリー ＜
リモコン 操作
電話帳登録

押して
「子機の名前」
を選ぶ

リモコン 操作
電話帳登録
子機の名前 ＜

名前を入れる
（カタカナ・英数字：最大10文字）
●文字の入れかたは
（☞36ページ）

子機の名前
マツシタタロウ▮

お知らせ

●途中でやめるとき ⇨ キャッチボタンを押す。

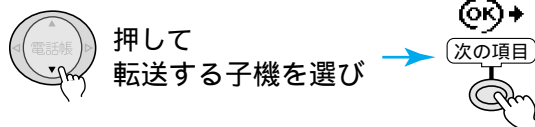
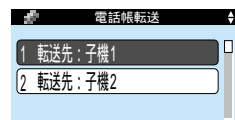
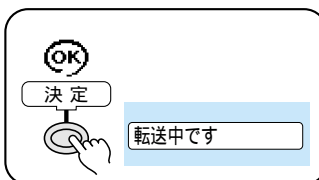
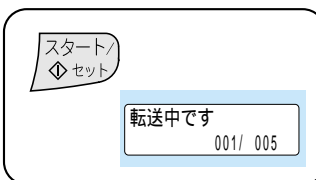
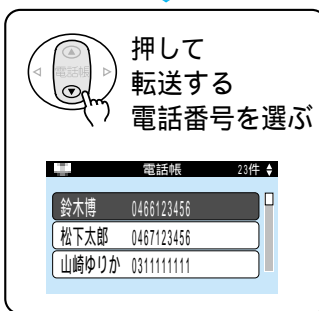
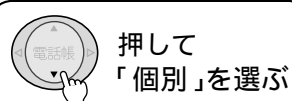
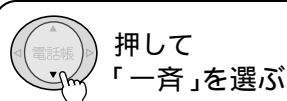
親機の電話帳を子機に転送する

子機の電話帳で宛先名を漢字やひらがなにしたいときは、親機に登録した電話帳の内容を、子機に転送してください。

押して
転送する子機を選び →
●すべて転送するとき

押して
「一斉」を選ぶ

●選んで転送するとき

押して
「個別」を選ぶ

お知らせ

●途中でやめるとき ⇨ ストップボタンを押す。
●子機に登録されている電話番号は親機に転送できません。
●転送中はナンバー・ディスプレイが正しく動作しません。
●子機の電話帳に空きがなくなると、親機の電話帳から転送できません。

リストのプリント

いろいろな登録内容をプリントする

押す

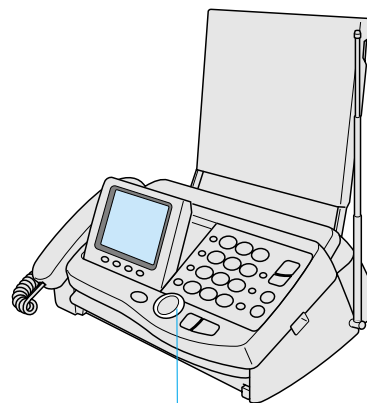
リストを選ぶ

●着信メモリーの内容をプリントするなら（着信メモリーリスト）

●ナンバー・ディスプレイの設定やブラックリストの内容をプリントするなら（ND[ナンバー・ディスプレイ]設定リスト）

●電話帳に登録した内容をプリントするなら（電話帳リスト）

●親機の設定内容をプリントするなら（システム登録リスト）

●ファクスの送・受信の状況を確認するなら（通信管理レポート）

プリント開始

●途中でやめるときは

⇨ストップボタンを押す。

着信メモリーリスト

' 01年 3月 1日 (木) 15:30

着信ﾒﾓﾘｰﾘｽﾄ

番号	新規	ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ情報	相手局名	着信日時
(01)		111111		3月 1日 14:10
(02)				3月 1日 14:10
			鈴木博	3月 1日 14:09

ナンバー・ディスプレイ設定リスト

' 01年 3月 1日 (木) 15:30

ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ設定ﾘｽﾄ

20	ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	**あり** ／ なし
	非通知拒否	する ／ **しない**
21	ﾌﾞﾗｯｸﾘｽﾄ登録	0311111111

電話帳リスト

' 01年 3月 1日 (木) 15:30 P. 1

電話帳ﾘｽﾄ

宛先名	電話番号 / アドレス	呼出先	鳴り分け
鈴木博	0466 123456	すべて	通常呼出音
松下次郎	092 1111111	ﾌｧｸｽ	通常呼出音
		親機	ﾒﾛﾃﾞｨｰ1

システム登録リスト

' 01年 3月 1日 (木) 15:30

ｼｽﾃﾑ登録ﾘｽﾄ

10	時計設定	' 01年 3月 1日 (木) 15:30
11	あなたの名前	松下太郎 ﾏﾂｼﾀﾀﾛｳ
		／ ﾌｧｸｽ専用

通信管理レポート

' 01年 3月 1日 (木) 15:30

通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ

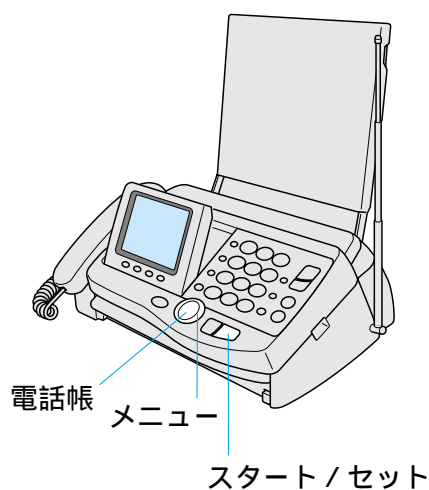
番号	日時	ﾍﾟｰｼﾞ	通信時間	送/受	相手局名	結果	(ｺｰﾄﾞ)
01	2月28日 10:40	01	00分53秒	送信	マツシタジロウ	OK	
02	3月 1日 10:40	02	00分30秒	受信	スズキヒロシ	OK	
03						OK	
						OK	

定型フォームをプリントする

1 押す

2 押して
プリントするフォームを選び →

3 **プリント開始**

●**途中でやめるときは** ⇨ ストップボタンを押す。

ファクス送信フォーム

発信元：
電話番号：
FAXメッセージ
宛先：
日付：

海外通販カタログ請求フォーム

REQUEST FOR CATALOG
Date/日付
Name/氏名
Address/住所
TEL
TEL

海外通販問い合わせフォーム

REMINDER
Date/日付
Name/氏名
Address/住所
TEL
FAX

カレンダーフォーム

2001年　3月　MARCH

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

時間割フォーム

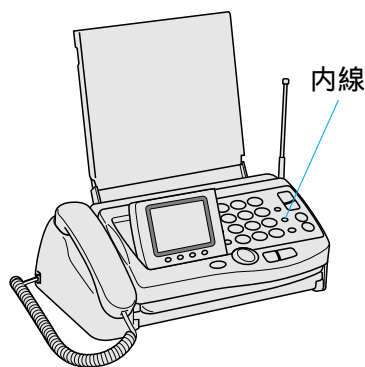
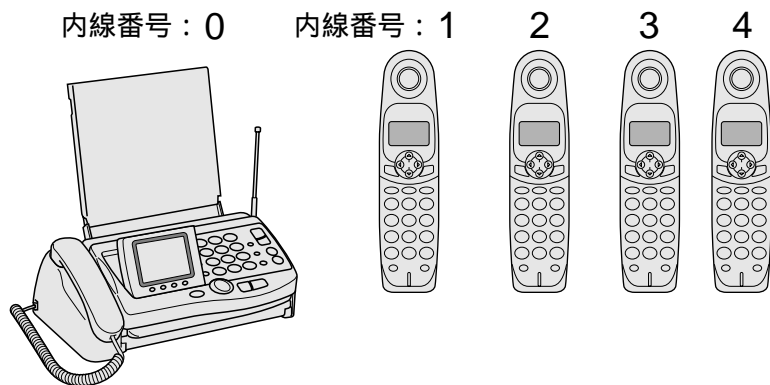
じかんわり

	月	火	水	木	金	土
1						

子機を増設するとき

●**増設できる子機は、**
⇨ **UF-L1WCLなら2台**
⇨ **UF-L2CLなら3台まで**
品番：UF-NA600（付属の子機と同じ性能・機能）、UF-NA500、UF-NA150（詳しい操作方法は、添付の取扱説明書を参照）
●**必要な手続きは、**
IDコードの登録・設定（有料）です。
（親機も登録が必要ですので、持参し、販売店にご依頼を）
●UF-L1WCLなら、増設した子機とも、子機間通話ができます。

■親機から呼び出す

1 **受話器を上げ** 内線 **押す**

2 呼び出す子機の内線番号

1 〜 4 **押し、話をする**

■子機から呼び出す

1 **子機を上げ** クリアー 内線 **押す**

2 **UF-L2CLなら**
⇨ 0 **押して親機を呼び話をする**

UF-L1WCLなら
⇨ 0 〜 4 **押して話をする**

●UF-L1WCLなら、増設した子機とも話ができます。（子機間通話）

■親機からすべての子機を一斉に呼び出すには ⇨ 内線 → ＊ 押す

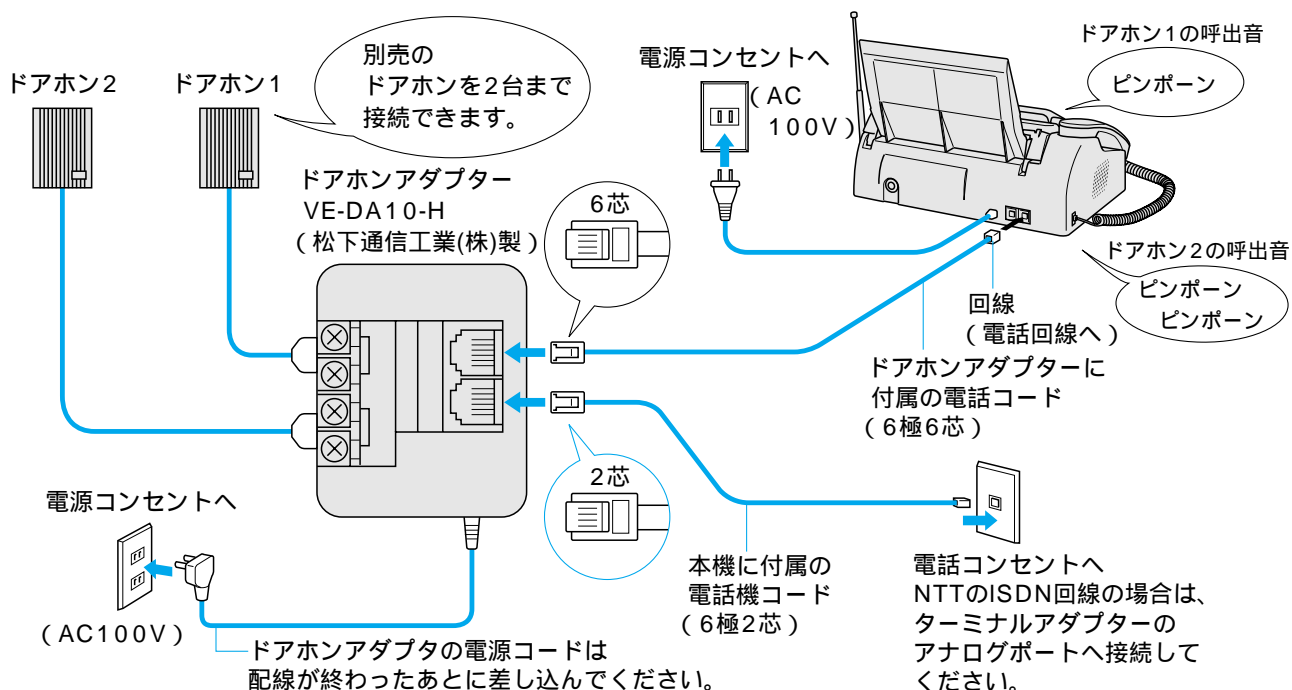
■かかってきた電話を親機から、子機へまわすには

⇨ 通話中に 保留 おやすみ → 内線 → 1 〜 4 押す

■かかってきた電話を子機から、他の電話へまわすには

⇨ 通話中に

クリアー 内線 → 0 〜 4 押す

ドアホンを接続するとき

●**接続できるドアホンは**（☞ 裏表紙「別売品」の無極性ドアホンの欄）
●**ドアホン接続後は、必ず、親機や子機が呼び出せることを確認してください。**
（この確認をしないと、親機や子機からドアホンを呼び出せなくなります。）

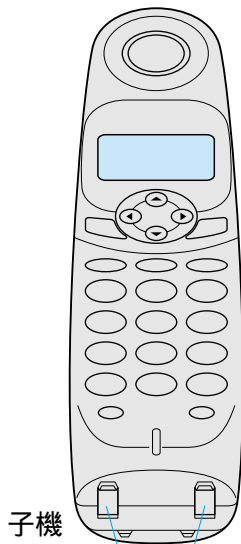
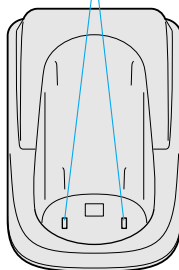
■通話中にドアホンから呼び出されたとき

お手入れのしかた

**柔らかい布に
薄めた台所用洗剤（中性）
を含ませ、よく絞ってから
ふき取ってください。
その後、乾いた布でふいて
ください。**

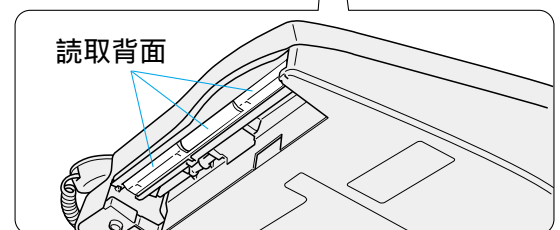
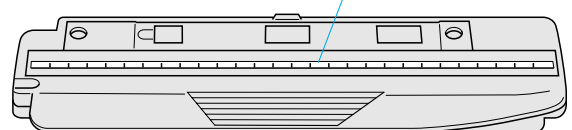
お知らせ

●化学ぞうきんは、その注意書きに従ってください。
●みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使わないでください。（変色、変形のおそれ）
●お手入れの前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

子機の充電端子

●月に1度、乾いた布で清掃してください。
（汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できなくなる。）

読取部

相手の受信記録や親機でコピーした原稿が汚れるときは、読取部の清掃をしてください。

**ハンドスキャナーを取り外し
読取背面**（白色部）**とガラス面をふく**

2 ハンドスキャナーをセットする

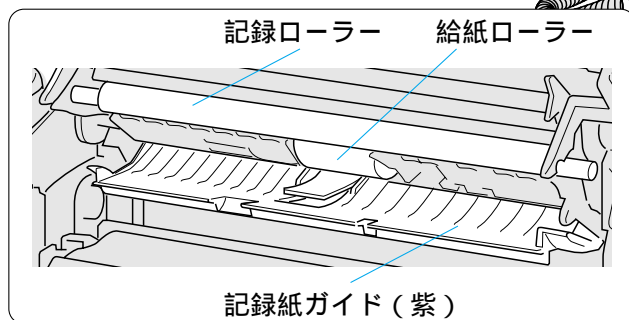
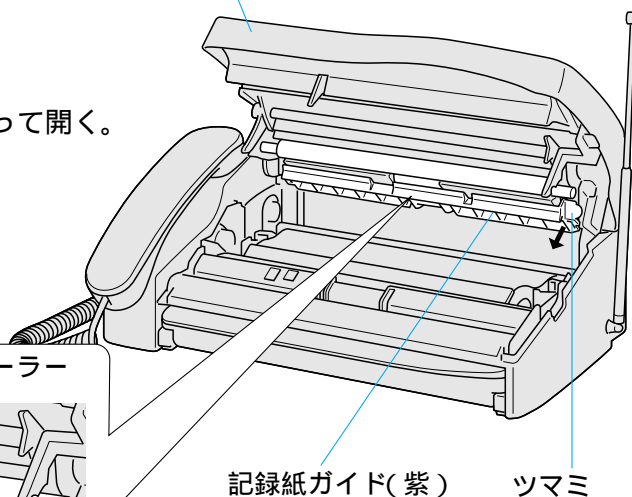
記録部

コピーなどで記録紙がうまく繰り込まないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、
給紙ローラーと記録ローラーの清掃をしてください。

1 **記録紙トレイを取り外し**

2 オープンレバーを押し上げ
操作パネルを開ける

3 操作パネル部に手を添え、
紫色の記録紙ガイドを開く
●記録紙ガイドの右側にあるツマミを持って開く。

4 **給紙ローラーと**
記録ローラーをふく
●柔らかい布に水を含ませ、
　よく絞ってからふく。

操作パネル部
記録紙ガイドを開けるときに閉まらない
ように、手を添えてください。

5 **記録紙ガイドを閉じる**
●両手で左右を押す。

6 **インクフィルムのたるみを取り除き、操作パネルを閉じる**
●インクフィルムの左側にある青色ノブを手前に回して、たるみを取り除く。

7 **電源プラグを電源コンセントに差し込む**

8

押し、記録紙トレイを取り付けてから、記録紙をセットする

必要なとき

故障かな！？ 親機

症状		原因→対応	参照ページ
電話が…	かけられない	●回線コードは、正しく接続されていますか？	16
		●電源プラグは、正しく電源コンセントに差し込まれていますか？	16
		●回線の種類は、正しく設定されていますか？ →電源プラグを入れ直すか、手動で回線の種類を設定してください。	17
		●親機や他の子機が使用中ではありませんか？ →親機や他の子機の使用が終わってから、電話をかけてください。	ー
	停電中に受けられない	●ナンバー・ディスプレイの契約をしていませんか？ →停電時には次のような操作が必要です。 通常より短い呼出音が鳴る → 通常の呼出音が鳴る → 受話器を上げて話をする	93
呼出音が…	鳴らない	●回線コードは、正しく接続されていますか？	16
		●呼出音量が「切」になっていませんか？	25
		●電源プラグは、正しく電源コンセントに差し込まれていますか？	16
通話中に…	相手や自分の声が響いたように聞こえる	●構内交換機やINS64のターミナルアダプターにつないでいませんか？ →親機の設定項目29「回線接続先」を"構内回線、TA"にセットする。	74
警告音が…	ファクスの電源を抜くと約10秒おきに「ピッ」が聞こえる	●ハンドスキャナーの電池がなくなりかけています →電源を接続し、電池を充電してください。	16
見える ランプが…	押しても、点灯・消灯が切り替わらない	●見えるを「ポン」と押していませんか? →1秒以上（「ピッ」と聞こえるまで）押し続けてください。	47
	点滅が消えない	●メモリーに新規のファクスがあります →新規のファクスをすべて内容表示またはプリントしてください。	48
ドアホンが…	呼出音が鳴らない	●本機に付属の電話機コード（2芯）とドアホンアダプターに付属の電話機コード（6芯）を逆に接続していませんか？ →正しく接続してください。	81

症　状		原　因 → 対　応	参照ページ
留守番電話のとき…	用件を録音できない 留守セットできない	●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →用件を消去する。 →受信した原稿をプリントする。	55 48
	用件録音中に受信に切り替わってしまう	●用件の録音中に約6秒の無音がありませんでしたか？ →「無音検出」の設定を「なし」にする。 ●相手の声が小さすぎませんでしたか？ →声が小さすぎると、無音と判断される場合があります。	75 ―
	トールセーバーが正しく働かない	●呼出先選択で「すべて」以外を指定していませんか？ →この場合、トールセーバーは働かなくなります。	電話サービス編 21
	何も録音されていないのに用件が増えている	●相手が何も話さないで電話を切っている。 ●応答メッセージのあとに手動でファクスを送っている。	― ―
自作メロディーが…	作曲シートに書き込んでも登録できない	●登録シートが汚れていませんか？ →新しいシートをプリントしてから、書き込んでください。 ●ペン先の太いマジックなどで書き込んでいませんか？ →文字が太すぎると、記載内容を認識できないことがあります。黒のボールペンか鉛筆（HB）を使って書き直してください。 ●文字が小さすぎたり、枠にかかっていませんか？ →枠にかからない程度の大きさで書き直してください。 ●ファクスの読取部が汚れていませんか？読取部を清掃してください。	62 63 63 82
ナンバー・ディスプレイをお使いのとき 呼出音が…	鳴らない	●ブラックリストに登録した相手からかかってきていませんか？ ●「非通知拒否」をセットしているとき、非通知の相手からかかってきていませんか？ →「非通知拒否」の設定を「しない」にする ●着信鳴り分け設定で、「無鳴動」にセットした相手からかかってきていませんか？	電話サービス編 20 電話サービス編 17 電話サービス編 22

故障かな！？ 子機

症状		原因→対応	参照ページ
ディスプレイに…	「充電中」を表示しない	●充電台に、正しく置かれていますか？ ●充電台の電源プラグは、正しく電源コンセントに差し込まれていますか？	18 18
	「電池切れ」が表示される	●電池が、切れかけていませんか？ ●電池パックは、正しくセットされていますか？	19 18
	連続10時間以上充電しても「電池切れ」を表示する	●電池パックの寿命です。交換してください。 ●充電端子が汚れていませんか？	19 82
	「電池確認」を表示する	●電池パックは、正しくセットされていますか？	18
アラーム音の…	「ピピピピピピピピ」が聞こえる	●親機を使用していませんか？ ●親機側で「子機発信規制」の設定を“ あり ”にしていませんか？ →親機の設定項目18「子機発信規制」を“ なし ”にする。	— 74
	「ピーピーピー」が聞こえる	●親機の電源プラグは、正しく電源コンセントに差し込まれていますか？ ●増設子機をお使いの場合などに、別の子機が使用していませんか？	16 —
	通話中に「ピピッ」が聞こえる	●親機から、離れすぎていませんか？	9
	通話中に「ピッ」が聞こえ「電池切れ」を表示する	●電池が、なくなりかけていませんか？	19
子機や充電台が…	温かい	●異常ではありませんが、非常に熱いときは電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご相談ください。	—

症状		原因→対応	参照ページ
外線 ランプが…	押しても点灯しない（かけられない）	●電池が、切れていませんか？	19
	充電台から上げても、点灯しない	●子機の設定項目「クイック発信」を“ しない ”に設定していませんか？ ●電池が切れていませんか？	76 19
電話が…	外線 を押さないと出られない	●ナンバー・ディスプレイを使用していませんか？ →相手を確認してから、押してください。 →子機の設定項目「NDクイック応答機能」を“ する ”にしてください。	― 76
	かけられない	●親機で回線の種類を、正しくセットしていますか？ ●親機側で「子機発信規制」の設定をしていませんか？ →親機の設定項目18「子機発信規制」を“ なし ”にする。	16 74
呼出音が…	鳴らない	●電池が、切れていませんか？ ●呼出音量が「切」になっていませんか？ ●親機から、離れすぎていませんか？	― 25 9
	親機より、少し遅れて聞こえる	●少し遅れますが、異常ではありません。	―
通話中に…	相手の声が途切れたり、雑音が入る	●親機から、離れすぎていませんか？ ●親機と子機の間に、コンクリートの壁などの障害物がありませんか？	9 9
	無線機などの音が混信する	●異常ではありません。場所を変えて通話してください。	9
	相手や自分の声が響いたように聞こえる	●構内交換機やISN64のターミナルアダプターにつないでいませんか？ →親機の設定項目29「回線接続先」を"構内回線、 TA ”にする	74

故障かな！？ ファクス

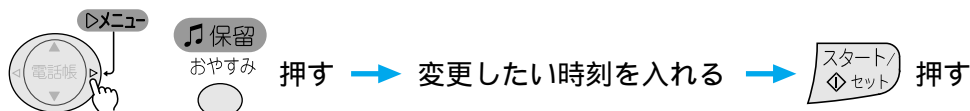
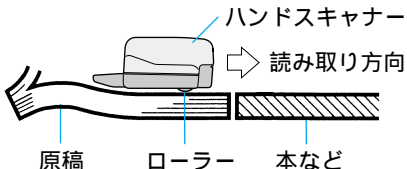
症　状		原　因 → 対　応	参照ページ
送信が…	**できない**	●回線コードが外れていませんか？	16
	海外へ送信できない	●回線の状況によります。 →ポーズを入れて送信してみる。 →「海外通信機能」を「あり」にして送信する。	 73 73
	送信したとき相手に何も**プリントされない**	●送る面を表に向けて、送信していませんか？	42
	送信したとき相手の記録が**一部間延びする**	●ハンドスキャナーは確実にセットされていますか？ →確実にセットしてください。	–
	送信したあと、アラーム音が鳴る	●相手ファクスの記録紙がなくなっていませんか？ →ストップボタンを押す。	–
受信が…	**呼出音が鳴りっぱなしで、受信が始まらない**	●受信方法が「手動受信」になっていませんか？ ●記録紙がなくなり、メモリーもいっぱいになっていませんか？ →記録紙をセットする。 →用件を消去する。 →受信した原稿をプリントする。	44 24 55 48
	受信できない	●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →用件を消去する。 →受信した原稿をプリントする。	 55 48
	ポーリング受信できない	●相手先は、正しく原稿をセットしていますか？ ●サービス提供元が、サービスを中止していませんか？ ●ポーリングパスワードが必要な相手を、ポーリング受信の宛先にしていませんか？	–
インクフィルムが…	**充分残っていたのに（◉や◉を表示）、数枚プリントしただけでインクフィルムが無くなった**	●操作パネル部を開閉したあとや、電源を入れ直したあとなどに、◉（はい）を選んでいませんか？ →インクフィルムを交換するときは◉（はい）、それ以外は⊗（いいえ）を押してください。	21
	交換したのに残量表示が ◉ にならない	●お買い上げ後すぐに別売品のインクフィルムをセットしていませんか？ →インクフィルムを一度も使用していないため、残量を正確に検知できなくなります。	21
記録紙が…	**繰り込まれない**	●給紙ローラーが汚れていませんか？ （通常は、必ず防塵カバーを取り付けて使用してください。）	83

症　状		原　因 → 対　応	参照ページ
受信・コピーした **プリントが…**	**うすい**	●当社推奨の記録紙を、使用していますか？ ●当社指定のインクフィルムを、使用していますか？ ●原稿が、うすい色の鉛筆などで書かれていませんか？ →相手に確認する。 →原稿の文字を濃くする。 →親機の設定項目53「読取記録濃度」を調整する。	裏表紙 裏表紙 － － 75
	一部間延びする	●ファクスの故障、または電話回線の不良です。 ●ハンドスキャナーは確実にセットされていますか？ →確実にセットしてください。	－ －
	原稿にない線が入る	●受信中にキャッチホンサービスの信号が入りませんでしたか？ ●ファクスの故障、または電話回線の不良です。 ●親機の読取背面や、ハンドスキャナーのガラス面が汚れていませんか？ ●電話機を並列に接続していませんか？ →ファクスの通信中には、電話機を使わないでください。	－ － 82
	プリントされない	●記録紙がなくなっていませんか？ ●インクフィルムがなくなっていませんか？	24 21
	受信した原稿を全部プリントできない	●受信原稿をディスプレイで表示しているときに、プリントしていませんか？ →ディスプレイ表示中は、表示しているページしかプリントできません。	49

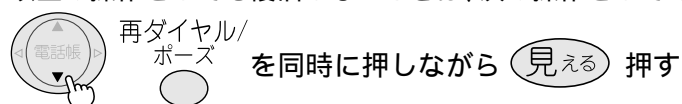
■毎日、決まった時間になるとファクスから「グー」が聞こえる

⇨ 故障ではありません。
（保守・保全のため毎日お昼の12時に、読取ローラーを回転している音「グー」が聞こえる）

●**回転時刻を変えたいときは**（分は設定できません）

押す → 変更したい時刻を入れる →
押す

●このほかに異常な動作が発生したときは、電源プラグを外して、再度差し込んでみてください。動作が正常に戻る場合があります。
以上の操作をしても復旧しないときは、次の操作をしてください。（装置がリセットされます。）

再ダイヤル/ポーズ **を同時に押しながら**
押す

必要なとき

故障かな！？ ハンドスキャナー

症状		原因→対応	参照ページ
原稿が…	読み取り終わりの部分が、読み取られていない	●厚みのある原稿を、読み取っていませんか？ →読み終わりのところに、原稿と同じ高さの本などを敷き、段差をなくして、ローラーが読み終わりの部分まで回るようにする。 （図：ハンドスキャナー／読み取り方向／原稿／ローラー／本など）	－
	スタート／ストップボタンを押したのに、読み取られていない	●スタート／ストップを押してから原稿を読みましたか？ ●原稿が短すぎませんか？	58 60
送信・コピーが…	読み取った原稿が、すべて送信・コピーできない	●読み取った原稿の長さが、364mmを超えていませんか？ ●親機の設定項目58「分割コピー」を“なし”にしているとき、A4以上の原稿を読み取っていませんか？	60 75
	原稿を読み取ったのに、送信・コピーできない	●ハンドスキャナーが、親機から外れていませんか？	－
送信・コピーしたプリントが…	黒い線や汚れが出る	●ハンドスキャナーの、ガラス面が汚れていませんか？	82
	ぼやけたり、黒くなる	●読み取るとき、ハンドスキャナーのガラス面を原稿に密着させていましたか？	58
	上下や左右が反対になる	●ハンドスキャナーを動かす方向を、逆にしていませんでしたか？	60
ランプが…	原稿を読んでいるのにメモリーランプが点灯しない	●ハンドスキャナーを動かす速度が、速すぎませんか？ ●読み取りを終わるとき、スタート/ストップボタンを押しましたか？	60 58
	メモリーランプが点滅する	●メモリーがいっぱいになっていませんか？	61
	1ページ分読み取った後、読取中ランプが点滅する	●異常ではありません。読取中ランプ消灯後、読み取りを再開してください。	58
アラーム音が…	読取ボタンを押しても、「ピッ」が聞こえない	●一度、電池パックのコネクターを抜き差したあと、すぐにハンドスキャナーを使いませんでしたか？ →一度親機に取り付けてからお使いください。	－
	原稿読取中に「ピー」が聞こえる	●ハンドスキャナーを動かす速度が速すぎる。 →動かす速度を緩める。	60
（表示）が…	ハンドキャナーをセットしても交互に点滅する	●親機やハンドキャナーのコネクターが汚れていませんか？ →ハンドスキャナーを数回抜き差しする。	－

主なエラーコード

エラー表示	原因→対応	参照ページ
ｶﾊﾞｰ確認 U10	●操作パネル部が開いていませんか？ →「カチッ」と音がするまで確実に閉める。	－
記録紙詰まり U12	●記録紙は、正しく繰り込まれていますか？ →記録紙の先端の折れ曲がりなどを、のばしてからセットし直す。 ●記録紙は、正しくセットされていますか？	－ 24
原稿詰まり U13	●原稿がつまっていませんか？ ●原稿が長すぎではありませんか？ →364mm以下にする。	92 43
原稿確認 U14	●原稿が短すぎではありませんか？ →105mm以下の場合は、ハンドスキャナーで読み取る。 →50mm以下の場合は、複写機でコピーしてからセットし直す。 ●原稿は、正しく繰り込まれていますか？ →原稿の先端の折れ曲がりなどを、のばしてからセットし直す。	43 43 －
ｽｷｬﾅｰ確認 U15	●送信・コピー中にハンドスキャナーが、親機から外れませんでしたか？	－
記録紙確認 U16	●給紙ローラーが汚れていませんか？（通常は、必ず防塵カバーを取り付けて使用してください。） ●記録紙は、正しく繰り込まれていますか？ →記録紙の先端の折れ曲がりなどをのばしてから、セットし直す。	83 －
ｲﾝｸﾌｨﾙﾑ確認 U23	●インクフィルムがなくなっていませんか？ ●インクフィルムがたるんでいませんか？ →インクフィルムを交換する。	20
記録ﾍｯﾄﾞ 過熱 U31	●記録ヘッドが過熱していませんか？ →冷えるまで待つ。（最大10分）	－
再送信 U40	●通信異常です。相手先に確認してください。	－
宛先確認 U42	●相手にポーリング送信機能がありますか？	－
相手機無応答 U50	●相手が電話に出ません。相手先に確認してください。	－
回線ﾁｪｯｸｴﾗｰ U61	●本機を構内交換機に接続していませんか？ →構内交換機に接続した場合は、回線の自動選択ができないことがあります。	17
ﾒﾓﾘｰﾌﾙ U80	●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →用件を消去する。 →受信した原稿をプリントする。	55 49
ハンドスキャナーをセットしてください	●ハンドスキャナーが、親機から外れていませんか？ ●親機やハンドスキャナーのコネクターが、汚れていませんか？ →ハンドスキャナーを数回抜き差しする。	－ －

●エラー表示を消すには

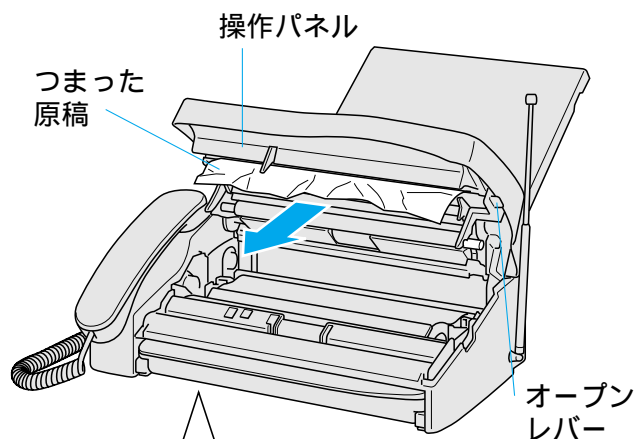
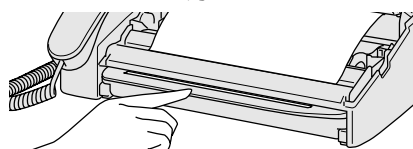
⇨ エラーの原因を取り除く→それでも表示が消えないときは、ストップボタンを押す。

紙づまりのとき

原稿がつまったとき

操作パネル
つまった原稿
オープンレバー

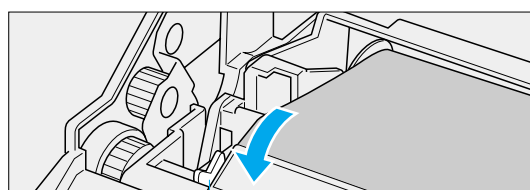
ハンドスキャナーの方でつまっているときは

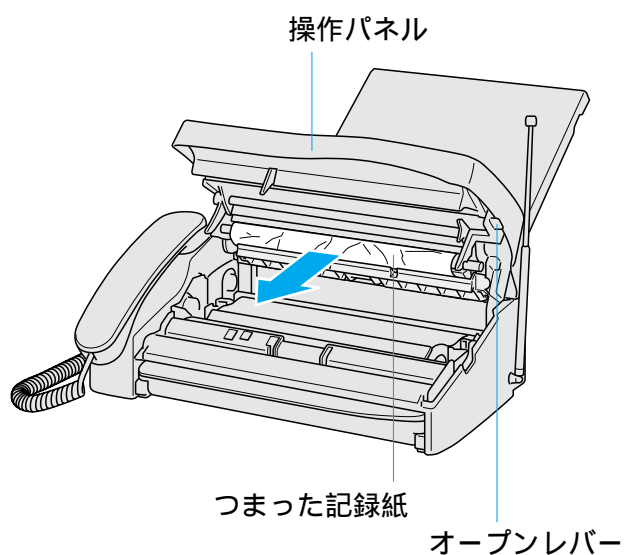
ハンドスキャナーの取っ手を下に下げながら、つまった原稿を引き抜く

1 オープンレバーを押し上げ
操作パネルを開ける

2 つまった原稿を
矢印の方向に引き抜く

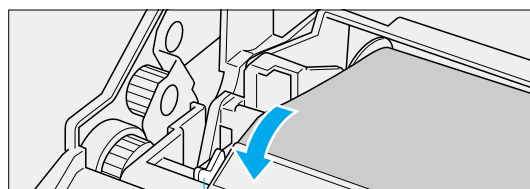
3 青色ノブを手前に回して
インクフィルムのたるみを取る

青色ノブ

4 **操作パネルを閉め** いいえ **押す**

記録紙がつまったとき

操作パネル
つまった記録紙
オープンレバー

1 オープンレバーを押し上げ
操作パネルを開ける

2 つまった記録紙を
矢印の方向に引き抜く

3 青色ノブを手前に回して
インクフィルムのたるみを取る

青色ノブ

4 **操作パネルを閉め** いいえ **押す**

停電のとき／感熱記録紙を使う

停電のとき

■使用中に停電になると…

親機で通話中	そのまま話ができます。	ハンドスキャナーで原稿読取中	そのまま原稿読取ができます。
子機で通話中	電話が切れます。	用件録音中	用件の録音が止まります。
送信中	通信は切れ、原稿は途中で止まります。停電が復旧したら、再度送信してください。	外からのリモコン操作中	電話が切れ、リモコン操作ができなくなります。
受信中	受信した原稿をプリント中の場合は、途中までプリントされます。メモリーに保存されている場合は停電が復旧後、プリントをしてください。	子機からのリモコン操作中	リモコン操作ができなくなります。

■停電中は…

親機で電話をかける	ダイヤルボタンでダイヤルして電話をかけられます。	ハンドスキャナーで原稿を読み取る	電池パックが電池切れになるまでは、原稿の読取ができます。（プリントはできません）
子機で電話をかける	電話できません。	用件録音	用件録音できません。
ファクスの送信	送信できません。	その他、登録操作リモコン操作	各種登録・設定およびリモコン操作できません。
ファクスの受信	受信できません。		

■停電中に電話がかかってくると…

●**親機では** ⇨ 呼出音が鳴ります。受話器を上げてお話ください。

●**子機では** ⇨ 電話を受けられません。

●**ナンバー・ディスプレイご利用時に電話がかかってくると**
通常より短い呼出音が鳴る → 通常の呼出音が鳴る → 受話器を上げて話をする

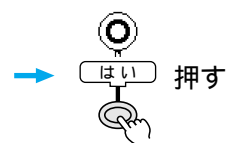
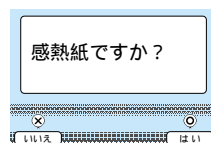
●停電が続いても親機や子機の設定内容や、着信メモリーに自動登録された電話番号や用件、伝言は消えません。
●Lモードで保存しているメールや画像などは消えません。
●約6時間以上停電が続くと、時刻が消え時計表示が点滅します。28ページの操作をしてセットし直してください。

A4版　感熱記録紙を使う

インクフィルムや普通紙が無いときでも、感熱記録紙（市販のA4版感熱カット紙）をセットしてプリントできます。

感熱記録の設定にする

インクフィルムホルダーを取り外す → 印刷面を下にして感熱記録紙を**1枚ずつセットする**

→ 押す

見える が点灯しているとき受信したファクスをプリント

⇨ 見える「ポン」と1回押し → 押して選び → (印刷) 押す

●**2枚以上受信しているとき**

見える 1秒以上押し続け、ランプを消灯させる（プリント開始） → 2枚目からは新しい感熱記録紙を1枚ずつセットし → (はい) 押す

コピーしたいとき ⇨ 原稿をセットし → コピー 押す（2枚目からも感熱記録紙を1枚ずつセットして、スタート／セットボタンを押す）

ハンドスキャナーの内容をプリントしたいとき ⇨ ハンドスキャナーで読み取り → (印刷) 押す（2枚目からも感熱記録紙を1枚ずつセットして、スタート／セットボタンを押す）

●見える が消灯しているときは、手順1をするだけで自動的に受信・プリントできます。
●使用する感熱紙によって、画質が劣ることや記録時に異音が発生することがあります。

必要なとき

ホームテレホンをお使いになるとき

■**お使いになるまえに**

電話工事が必要です(資格が必要)。販売店にご相談ください。

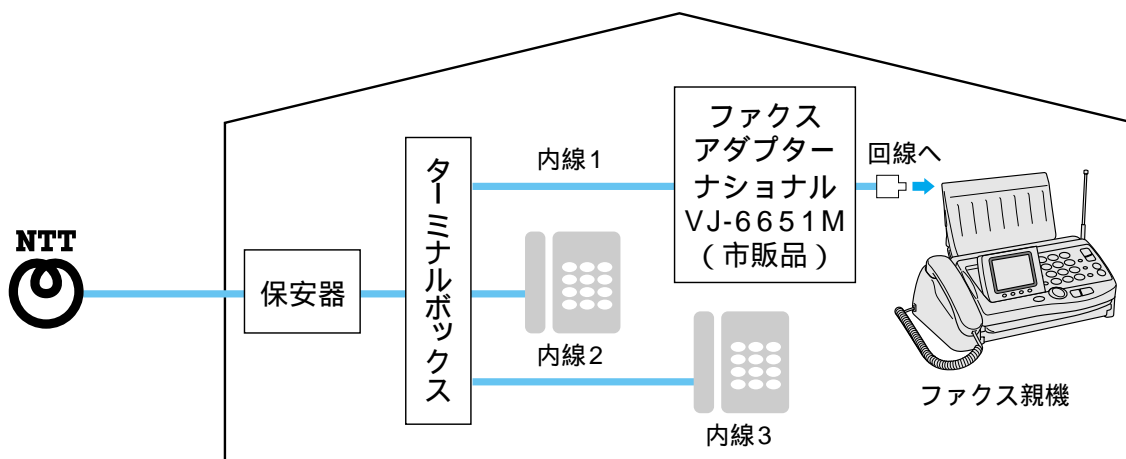
■**接続できるホームテレホンは**

パナソニックホームテレホンシステム108、208とシステムホームテレホン(松下通信工業製)です。
コードレスタイプやその他のホームテレホンには接続できません。

接続には、市販品のファクスアダプター(ナショナルVJ-6651M)が必要です。

●接続するときは、「ターミナルボックス」「ファクスアダプター」の取扱説明書をよくお読みの上、接続してください。

●親機の設定項目27「Fネット信号検出」を“ する ”にセットしてください。(☞ 74ページ)

NTT
保安器
ターミナルボックス
内線1
内線2
内線3
ファクス
アダプター
ナショナル
VJ-6651M
(市販品)
回線へ
ファクス親機

お知らせ

●**ファクスや子機を使用中は、ホームテレホンは使えません。**

●**ホームテレホンの呼出音が鳴らないとき**

⇨ファクスを留守セットしています。呼出音を鳴らしたいときは、留守セットしないでください。

●**ホームテレホンで電話を受けたとき「ポー…ポー…」が聞こえたら**

⇨相手がファクスを送っています。ホームテレホンからは受信操作はできないので、ファクスへ電話を転送して受信してください。

●**次の機能は使えません。**

⇨コミスタ機能/ナンバー・ディスプレイ機能/ホームテレホンとの内線通話やドアホンとの通話。

長期間使用しないとき/Fネットを利用する

長期間使用しないとき

■**長期間使用しないとき**

親　機	●電源プラグを抜く ●ハンドスキャナーの電池パックを抜く(電池パックの性能保持)
子　機	●電源プラグを抜く ●電池パックを抜く(電池パックの性能保持)

Fネットを利用する

■**NTTのFネットを利用する**

●NTTと加入契約(G3サービス1300Hz)をしてください。

●親機の設定項目27「Fネット信号検出」を"する" にセットしてください。(☞ 74ページ)

利用できるサービスの例	
くらしの情報	・全国自治宝くじ当選番号 ・週間お天気情報　・タウンガイド
娯楽の情報	・全国高速道路サービスMAP ・中央競馬オッズ情報・旅行情報
ビジネスの情報	・注目株情報・セミナー研修案内 ・ビジネス案内

主な仕様

ファクシミリ本体

項目	仕様
品番	UF-L1WCL　UF-L2CL
適用回線	加入電話線、ファクシミリ通信網（第2種）
直流抵抗値	283Ω
通信可能機種	G3（国際規格）
電送時間	約15秒※（独自モード）
帯域圧縮方式	独自、MH
通信速度	9600／7200／4800／2400bps
走査線密度	主走査：8dot/mm 副走査：15.4line/mm(細密)　7.7line/mm(小さい)　3.85line/mm(ふつう)
走査方式	読　取：密着型イメージセンサーによる固体電子走査 記　録：熱転写ヘッドによる平面走査
原稿サイズ	原稿台使用時　：257×364mm(最大)　148×105mm(最小) ハンドスキャナー使用時：250mm(最大読取幅) ：364mm(最大読取長さ)　50mm(最小読取長さ)
有効読取幅	205mm(A4)　250mm(B4)
記録方式	熱転写記録方式
記録紙サイズ	210×297mm(A4)
有効記録幅	205mm

※A4サイズ700字程度の原稿を、独自モード・標準的画質(8×3.85line/mm)・高速モード(9600bps)で送ったときの速さです。これは画情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容・相手機種・回線状況により異なります。

内蔵留守番電話

項目	仕様
応答メッセージ	30秒まで録音可能（固定メッセージあり）
用件録音時間	最大　約18分

共通部

項目	親機	ハンドスキャナー	子機	充電台
外形寸法	約334mm（W） 約236mm（D） 約135mm（H） (突起部を除く)	約272mm（W） 約　76mm（D） 約　32mm（H）	約46　mm（W） 約40　mm（D） 約181 mm（H）	約70　mm（W） 約92.5 mm（D） 約88.5 mm（H）
質量	約4Kg	約330g(電池を含む)	約160g(電池を含む)	約250g
電源	AC100V (50/60Hz)	専用ニッケルカドミウム蓄電池 DC3.6V 600mAh (松下電送システム製)	専用ニッケル水素蓄電池 DC3.6V 600mAh (松下電送システム製)	AC100V (50/60Hz)
消費電力	待機時 UF-L1WCL：約2.2W UF-L2CL　：約2.1W 最大動作時：約100W コピー時：　約14W 送信時：　約10W 受信時：　約10W	―――	―――	待機時 子機が充電台にある：約0.5W 子機が充電台にない：約0.33W 充電時　：約1.25W
使用環境	温度：5～35℃　湿度：45～85%			

お知らせ ●認定番号は、商品の背面に記載しております。

必要なとき

漢字変換表

このようにして使ってください

変換したい漢字が出てこない → 漢字変換表で変換したい漢字を探す → 変換したい漢字に対応する「読みがな」でもう一度漢字変換する → 変換したい漢字が出てくるまで かん➡漢 漢字変換 押す

- 同じ「読みがな」の漢字が複数個ある場合、変換表の順番で漢字が出現するとは限りません。
- この表では、JIS第一水準、第二水準の配列順で漢字を表示しています。読みがなの「あいうえお」順に漢字が並んでいるわけではありません。

第1水準

漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな
亜	あ	維	い	瓜	うり	於	に	箇	こ	崖	がけ	鰹	かつお	翰	かん	徽	き	窮	きゅう	凝	ぎょう
唖	あ	緯	い	閏	うるう	汚	お	花	か	慨	がい	叶	きょう	肝	きも	規	き	笈	おい	尭	ぎょう
娃	あ	胃	い	噂	うわさ	甥	おい	苛	か	概	かい	椛	もみじ	艦	かん	記	き	級	きゅう	暁	あかつき
阿	あく	萎	い	云	うん	凹	おう	茄	なす	涯	がい	樺	かば	莞	い	貴	き	糾	きゅう	業	ぎょう
哀	あい	衣	い	運	うん	央	おう	荷	に	碍	がい	鞄	かばん	観	かん	起	き	給	きゅう	局	きょく
愛	あい	謂	い	雲	くも	奥	おう	華	か	蓋	がい	株	かぶ	諌	かん	軌	き	旧	きゅう	曲	きょく
挨	あい	違	い	荏	え	往	おう	菓	か	街	がい	兜	かぶと	貫	かん	輝	かがやき	牛	うし	極	きょく
姶	おう	遺	い	餌	えさ	応	おう	蝦	か	該	がい	竃	かまど	還	かん	飢	き	去	きょ	玉	ぎょく
逢	ほう	医	い	叡	えい	押	おし	課	か	鎧	がい	蒲	がま	鑑	かん	騎	き	居	きょ	桐	きり
葵	あおい	井	い	営	えい	旺	おう	嘩	か	骸	がい	釜	かま	間	あいだ	鬼	おに	巨	きょ	僅	きん
茜	あかね	亥	い	嬰	えい	横	おう	貨	か	浬	かいり	鎌	かま	閑	かん	亀	かめ	拒	きょ	勤	きん
穐	あき	域	いき	影	えい	欧	おう	迦	か	馨	かおる	噛	ごう	関	かん	偽	か	拠	きょ	均	いん
悪	あく	育	いく	映	えい	殴	おう	過	か	蛙	かえる	鴨	かも	陥	かん	儀	ぎ	挙	きょ	巾	きん
握	あく	郁	いく	曳	えい	王	おう	霞	かすみ	垣	かき	栢	かしわ	韓	かん	妓	ぎ	渠	きょ	錦	にしき
渥	あく	磯	いそ	栄	えい	翁	おう	蚊	か	柿	かき	茅	かや	館	やかた	宜	ぎ	虚	きょ	斤	おの
旭	あさひ	一	いち	永	えい	襖	おう	俄	が	蛎	かき	萱	かや	舘	かん	戯	ぎ	許	きょ	欣	こん
葦	あし	壱	いち	泳	えい	鴬	うぐいす	峨	が	鈎	かぎ	粥	かゆ	丸	まる	技	わざ	距	きょ	欽	こん
芦	あし	溢	いつ	洩	えい	鴎	かもめ	我	が	劃	かく	刈	がい	含	がん	擬	ぎ	鋸	きょ	琴	こと
鯵	あじ	逸	いつ	瑛	えい	黄	き	牙	きば	嚇	かく	苅	がい	岸	きし	欺	ぎ	漁	ぎょ	禁	きん
梓	あずさ	稲	いね	盈	えい	岡	おか	画	え	各	かく	瓦	かわら	巌	いわお	犠	いけにえ	禦	ぎょ	禽	きん
圧	あつ	茨	いばら	穎	えい	沖	おき	臥	が	廓	かく	乾	いぬい	玩	がん	疑	ぎ	魚	うお	筋	きん
斡	あつ	芋	いも	頴	えい	荻	おぎ	芽	が	拡	かく	侃	かん	癌	がん	祇	ぎ	亨	とおる	緊	きん
扱	あつかい	鰯	いわし	英	えい	億	おく	蛾	が	撹	かく	冠	かん	眼	がん	義	ぎ	享	とおる	芹	せり
宛	あて	允	いん	衛	えい	屋	おく	賀	が	格	かく	寒	かん	岩	いわ	蟻	あり	京	きょう	菌	きん
姐	あね	印	いん	詠	えい	憶	おく	雅	が	核	かく	刊	かん	翫	がん	誼	よしみ	供	きょう	衿	えり
虻	あぶ	咽	いん	鋭	えい	臆	く	餓	が	殻	かく	勘	かん	贋	にせ	議	ぎ	侠	きゃん	襟	えり
飴	あめ	員	いん	液	えき	桶	おけ	駕	が	獲	かく	勧	かん	雁	かり	掬	きく	僑	きょう	謹	きん
絢	けん	因	いん	疫	えき	牡	おす	介	かい	確	かく	巻	かん	頑	がん	菊	きく	兇	きょう	近	きん
綾	あや	姻	いん	益	えき	乙	おつ	会	え	穫	かく	喚	かん	顔	かお	鞠	きく	競	きょう	金	かね
鮎	あゆ	引	いん	駅	えき	俺	おれ	解	かい	覚	かく	堪	かん	願	がん	吉	きち	共	きょう	吟	ぎん
或	ある	飲	いん	悦	えつ	卸	おろし	回	かい	角	かく	姦	かん	企	き	吃	きつ	凶	きょう	銀	ぎん
粟	あわ	淫	いん	謁	えつ	恩	おん	塊	かたまり	赫	かく	完	かん	伎	わざ	喫	きつ	協	きょう	九	きゅう
袷	あわせ	胤	いん	越	えつ	温	おん	壊	かい	較	かく	官	かん	危	き	桔	きつ	匡	おう	倶	く
安	あん	蔭	いん	閲	えつ	穏	おん	廻	かい	郭	かく	寛	かん	喜	き	橘	たちばな	卿	きょう	句	く
庵	あん	院	いん	榎	えのき	音	おと	快	かい	閣	かく	干	かん	器	うつわ	詰	きつ	叫	きょう	区	く
按	あん	陰	いん	厭	いや	下	か	怪	かい	隔	かく	幹	みき	基	もと	砧	きぬた	喬	ぎょう	狗	いぬ
暗	あん	隠	いん	円	えん	化	か	悔	かい	革	かわ	患	かん	奇	き	杵	きね	境	きょう	玖	く
案	あん	韻	いん	園	えん	仮	か	恢	かい	学	がく	感	かん	嬉	き	黍	きび	峡	きょう	矩	かねざし
闇	あん	吋	いんち	堰	えん	何	か	懐	かい	岳	がく	慣	かん	寄	き	却	きゃく	強	きょう	苦	く
鞍	くら	右	みぎ	奄	えん	伽	とぎ	戒	かい	楽	がく	憾	かん	岐	き	客	きゃく	彊	きょう	躯	く
杏	あん	宇	う	宴	えん	価	か	拐	かい	額	がく	換	かん	希	き	脚	あし	怯	きょう	駆	く
以	い	烏	う	延	えん	佳	か	改	かい	顎	あご	敢	かん	幾	いく	虐	ぎゃく	恐	きょう	駈	く
伊	い	羽	う	怨	えん	加	か	魁	かしら	掛	か	柑	かん	忌	き	逆	ぎゃく	恭	きょう	駒	こま
位	い	迂	う	掩	えん	可	か	晦	みそか	笠	かさ	桓	かん	揮	き	丘	おか	挟	きょう	具	ぐ
依	い	雨	あめ	援	えん	嘉	か	械	かい	樫	かし	棺	ひつぎ	机	つくえ	久	きゅう	教	おしえ	愚	ぐ
偉	い	卯	う	沿	えん	夏	か	海	うみ	橿	かし	款	かん	旗	はた	仇	あだ	橋	きょう	虞	ぐ
囲	い	鵜	う	演	えん	嫁	か	灰	はい	梶	かじ	歓	かん	既	き	休	きゅう	況	きょう	喰	くう
夷	えびす	窺	き	炎	えん	家	いえ	界	かい	鰍	かじか	汗	あせ	期	き	及	きゅう	狂	きょう	空	あな
委	い	丑	うし	焔	ほのお	寡	か	皆	みな	潟	かた	漢	かん	棋	き	吸	きゅう	狭	きょう	偶	ぐう
威	い	碓	うす	煙	けむり	科	か	絵	え	割	かつ	澗	かん	棄	き	宮	きゅう	矯	きょう	寓	ぎょ
尉	い	臼	うす	燕	つばめ	暇	か	芥	あくた	喝	かつ	潅	かん	機	おり	弓	ゆみ	胸	むな	遇	ぐ
惟	い	渦	うず	猿	さる	果	か	蟹	かに	恰	こう	環	かん	帰	き	急	きゅう	脅	きょう	隅	ぐ
意	い	嘘	うそ	縁	えん	架	か	開	かい	括	かつ	甘	かん	毅	たけし	救	きゅう	興	こう	串	くし
慰	い	唄	ばい	艶	えん	歌	うた	階	かい	活	かつ	監	かん	気	き	朽	きゅう	蕎	きょう	櫛	くし
易	えき	欝	うつ	苑	えん	河	か	貝	かい	渇	かつ	看	かん	汽	き	求	きゅう	郷	きょう	釧	くしろ
椅	いす	蔚	い	薗	えん	火	か	凱	かちどき	滑	かつ	竿	さお	畿	き	汲	きゅう	鏡	かがみ	屑	くず
為	ため	鰻	うなぎ	遠	えん	珂	か	劾	がい	葛	かずら	管	くだ	祈	き	泣	なき	響	ひびき	屈	くつ
畏	い	姥	うば	鉛	なまり	禍	か	外	がい	褐	かつ	簡	かん	季	き	灸	きゅう	饗	きょう	掘	くつ
異	い	厩	うまや	鴛	えん	禾	いね	咳	せき	轄	かつ	緩	かん	稀	まれ	球	きゅう	驚	きょう	窟	くつ
移	い	浦	うら	塩	しお	稼	か	害	がい	且	かつ	缶	かん	紀	き	究	きゅう	仰	ぎょう	沓	くつ

漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな
靴	くつ	倦	けん	伍	ご	肱	ひじ	詐	さ	鮫	さめ	字	あざ	守	しゅ	舜	しゅん	焦	しょう	振	しん
轡	くつわ	健	けん	午	ご	腔	こう	鎖	くさり	皿	さら	寺	じ	手	しゅ	駿	しゅん	照	てらす	新	あらた
窪	くぼ	兼	けん	呉	ご	膏	こう	裟	さ	晒	さらし	慈	じ	朱	あけ	准	じゅん	症	しょう	晋	すすむ
熊	くま	券	けん	吾	われ	航	こう	坐	ざ	三	さん	持	じ	殊	しゅ	循	じゅん	省	しょう	森	もり
隈	くま	剣	つるぎ	娯	ご	荒	あら	座	ざ	傘	かさ	時	じ	狩	かり	旬	しゅん	硝	しょう	榛	はしばみ
粂	くめ	喧	けん	後	あと	行	ぎょう	挫	ざ	参	さん	次	じ	珠	たま	楯	たて	礁	しょう	浸	しん
栗	くり	圏	けん	御	お	衡	こう	債	さい	山	さん	滋	じ	種	しゅ	殉	じゅん	祥	しょう	深	しん
繰	そう	堅	けん	悟	さとる	講	こう	催	さい	惨	ざん	治	おさむ	腫	しゅ	淳	あつし	称	しょう	申	さる
桑	くわ	嫌	いや	梧	あおぎり	貢	く	再	さい	撒	さん	爾	なんじ	趣	しゅ	準	じゅん	章	しょう	疹	しん
鍬	くわ	建	けん	檎	ご	購	こう	最	さい	散	さん	璽	じ	酒	さけ	潤	じゅん	笑	しょう	真	しん
勲	いさお	憲	けん	瑚	こ	郊	こう	哉	さい	桟	さん	痔	じ	首	くび	盾	たて	粧	しょう	神	かみ
君	きみ	懸	けん	碁	ご	酵	こう	塞	さい	燦	さん	磁	じ	儒	じゅ	純	しゅん	紹	しょう	秦	しん
薫	かおり	拳	けん	語	ご	鉱	こう	妻	さい	珊	さん	示	ぎ	受	うけ	巡	じゅん	肖	しょう	紳	しん
訓	くん	捲	けん	誤	ご	砿	こう	宰	さい	産	うむ	而	じ	呪	じゅ	遵	じゅん	菖	しょうぶ	臣	しん
群	ぐん	検	けん	護	ご	鋼	こう	彩	さい	算	さん	耳	じ	寿	ことぶき	醇	じゅん	蒋	しょう	芯	しん
軍	ぐん	権	おもり	醐	ご	閤	こう	才	さい	纂	さん	自	じ	授	じゅ	順	しゅん	蕉	しょう	薪	たきぎ
郡	ぐん	牽	けん	乞	きつ	降	こう	採	さい	蚕	かいこ	蒔	じ	樹	じゅ	処	しょ	衝	しょう	親	おや
卦	か	犬	いぬ	鯉	こい	項	こう	栽	さい	讃	さん	辞	し	綬	じゅ	初	うい	裳	しょう	診	しん
袈	け	献	けん	交	こう	香	かおり	歳	さい	賛	さん	汐	うしお	需	じゅ	所	しょ	訟	しょう	身	しん
祁	ぎ	研	けん	佼	こう	高	たかい	済	さい	酸	さん	鹿	しか	囚	しゅう	暑	しょ	証	しょう	辛	しん
係	かかり	硯	けん	侯	こう	鴻	おおとり	災	さい	餐	さん	式	しき	収	おさむ	曙	あけぼの	詔	しょう	進	すすむ
傾	けい	絹	きぬ	候	こう	剛	ごう	采	さい	斬	ざん	識	しき	周	しゅ	渚	なぎさ	詳	しょう	針	はり
刑	けい	県	けん	倖	さいわい	劫	こう	犀	さい	暫	ざん	鴫	しぎ	宗	しゅう	庶	しょ	象	ぞう	震	しん
兄	あに	肩	かた	光	ひかり	号	ごう	砕	さい	残	ざん	竺	じく	就	しゅう	緒	いとぐち	賞	しょう	人	にん
啓	けい	見	けん	公	おおやけ	合	あう	砦	とりで	仕	し	軸	じく	州	しゅう	署	しょ	醤	しょう	仁	じん
圭	けい	謙	けん	功	いさお	壕	ごう	祭	まつり	仔	し	宍	じく	修	おさむ	書	しょ	鉦	しょう	刃	じん
珪	けい	賢	けん	効	こう	拷	ごう	斎	さい	伺	し	雫	しずく	愁	しゅう	薯	じょ	鍾	しょう	塵	ちり
型	かた	軒	けん	勾	こう	濠	ごう	細	さい	使	つかい	七	しち	拾	きょう	藷	じょ	鐘	かね	壬	じん
契	けい	遣	けん	厚	あつし	豪	ごう	菜	さい	刺	し	叱	しち	洲	す	諸	しょ	障	しょう	尋	ひろ
形	かたち	鍵	かぎ	口	くち	轟	ごう	裁	さい	司	し	執	しつ	秀	しゅう	助	じょ	鞘	さや	甚	じん
径	けい	険	けん	向	こう	麹	こうじ	載	さい	史	し	失	しつ	秋	あき	叙	じょ	上	うえ	尽	じん
恵	え	顕	けん	后	ご	克	かつ	際	あい	嗣	し	嫉	しつ	終	しゅう	女	おんな	丈	たけ	腎	じん
慶	けい	験	けん	喉	こう	刻	こく	剤	ざい	四	し	室	しつ	繍	しゅう	序	じょ	丞	じょう	訊	しゅん
慧	けい	鹸	かん	坑	こう	告	こう	在	ざい	士	し	悉	しつ	習	しゅう	徐	じょ	乗	じょう	迅	しゅん
憩	けい	元	げん	垢	あか	国	くに	材	ざい	始	し	湿	しつ	臭	きゅう	恕	ゆるす	冗	じょう	陣	じん
掲	けい	原	はら	好	こう	穀	こく	罪	ざい	姉	あね	漆	うるし	舟	しゅ	鋤	くわ	剰	じょう	靭	じん
携	けい	厳	ごん	孔	こう	酷	こく	財	ざい	姿	すがた	疾	しつ	蒐	かり	除	じょ	城	じょう	笥	し
敬	けい	幻	げん	孝	こう	鵠	こう	冴	ご	子	こ	質	しち	衆	しゅう	傷	きず	場	じょう	諏	しゅ
景	けい	弦	げん	宏	ひろし	黒	くろ	坂	さか	屍	し	実	しつ	襲	しゅう	償	しょう	壌	じょう	須	ひげ
桂	かつら	減	げん	工	こう	獄	ごく	阪	さか	市	いち	蔀	しとみ	讐	しゅう	勝	かち	嬢	じょう	酢	す
渓	けい	源	みなもと	巧	こう	漉	ろく	堺	さかい	師	おさ	篠	しの	蹴	しゅう	匠	しょう	常	じょう	図	ず
畦	あぜ	玄	げん	巷	ちまた	腰	こし	榊	さかき	志	こころざし	偲	しのぶ	輯	しゅう	升	しょう	情	じょう	厨	くりや
稽	けい	現	うつつ	幸	さいわい	甑	こしき	肴	さかな	思	おもい	柴	し	週	しゅう	召	しょう	擾	じょう	逗	ず
系	けい	絃	げん	広	ひろし	忽	こつ	咲	しょう	指	ゆび	芝	しば	酋	しゅう	哨	しょう	条	じょう	吹	すい
経	けい	舷	げん	庚	かのえ	惚	こつ	崎	さき	支	し	屡	しばしば	酬	しゅう	商	しょう	杖	つえ	垂	すい
継	けい	言	げん	康	こう	骨	ほね	埼	さき	孜	し	蕊	しべ	集	しゅう	唱	しょう	浄	じょう	帥	すい
繋	けい	諺	ことわざ	弘	ひろし	狛	こま	碕	き	斯	これ	縞	しま	醜	しゅう	嘗	しょう	状	じょう	推	すい
罫	けい	限	げん	恒	こう	込	こむ	鷺	さぎ	施	し	舎	しゃ	什	しゅう	奨	しょう	畳	たたみ	水	みず
茎	くき	乎	ああ	慌	こう	此	ここ	作	さく	旨	むね	写	しゃ	住	じゅう	妾	めかけ	穣	ゆたか	炊	すい
荊	いばら	個	こ	抗	こう	頃	きょう	削	さく	枝	えだ	射	しゃ	充	じゅう	娼	しょう	蒸	しょう	睡	すい
蛍	ほたる	古	こ	拘	く	今	いま	咋	さく	止	し	捨	しゃ	十	じゅう	宵	よい	譲	じょう	粋	いき
計	けい	呼	よぶ	控	ひかえ	困	こん	搾	さく	死	し	赦	しゃ	従	じゅう	将	しょう	醸	じょう	翠	かわせみ
詣	けい	固	こ	攻	こう	坤	こん	昨	きのう	氏	うじ	斜	しゃ	戎	えびす	小	こ	錠	じょう	衰	さい
警	いましめ	姑	おば	昂	ごう	墾	こん	朔	ついたち	獅	しし	煮	しゃ	柔	じゅう	少	しょう	嘱	しょく	遂	すい
軽	きん	孤	こ	晃	あきら	婚	こん	柵	さく	祉	し	社	しゃ	汁	じゅう	尚	しょう	埴	しょく	酔	すい
頚	くび	己	おのれ	更	こう	恨	こん	窄	さく	私	わたくし	紗	うすぎぬ	渋	しぶ	庄	しょう	飾	しょく	錐	すい
鶏	にわとり	庫	こ	杭	くい	懇	こん	策	かきつけ	糸	いと	者	もの	獣	けもの	床	しょう	拭	しょく	錘	すい
芸	げい	弧	こ	校	あぜ	昏	こん	索	さく	紙	かみ	謝	しゃ	縦	じゅう	廠	しょう	植	しょく	随	ずい
迎	げい	戸	と	梗	きょう	昆	こん	錯	さく	紫	むらさき	車	くるま	重	じゅう	彰	あきら	殖	しょく	瑞	しるし
鯨	くじら	故	こ	構	こう	根	こん	桜	さくら	肢	し	遮	しゃ	銃	じゅう	承	しょう	燭	しょく	髄	ずい
劇	けき	枯	こ	江	え	梱	こん	鮭	けい	脂	あぶら	蛇	じゃ	叔	おじ	抄	しょう	織	おり	崇	しゅう
戟	げき	湖	こ	洪	こう	混	こん	笹	ささ	至	いたる	邪	じゃ	夙	しゅく	招	しょう	職	しょく	嵩	かさ
撃	げき	狐	きつね	浩	ひろし	痕	あと	匙	さじ	視	し	借	しゃく	宿	しゅく	掌	しょう	色	いろ	数	かず
激	げき	糊	こ	港	みなと	紺	こん	冊	さつ	詞	し	勺	しゃく	淑	しゅく	捷	そう	触	しょく	枢	しゅ
隙	けき	袴	はかま	溝	こう	艮	こん	刷	さつ	詩	し	尺	しゃく	祝	いわい	昇	のぼる	食	し	趨	すう
桁	けた	股	また	甲	かぶと	魂	こん	察	さつ	試	し	杓	しゃく	縮	しゅく	昌	さかん	蝕	しょく	雛	ひな
傑	けつ	胡	えびす	皇	おう	些	さ	拶	さつ	誌	し	灼	しゃく	粛	しゅく	昭	しょう	辱	じょく	据	きょ
欠	けつ	菰	こ	硬	こう	佐	さ	撮	さつ	諮	し	爵	しゃく	塾	じゅく	晶	しょう	尻	しり	杉	すぎ
決	けつ	虎	とら	稿	こう	叉	さ	擦	さつ	資	し	酌	しゃく	熟	じゅく	松	まつ	伸	しん	椙	すぎ
潔	けつ	誇	こ	糠	こう	唆	さ	札	さつ	賜	たまう	釈	しゃく	出	しゅつ	梢	こずえ	信	しん	菅	かん
穴	あな	跨	こ	紅	く	嵯	さ	殺	さつ	雌	し	錫	じゃく	術	じゅつ	樟	くす	侵	しん	頗	は
結	けい	鈷	こ	紘	おおづな	左	さ	薩	さつ	飼	し	若	じゃく	述	じゅつ	樵	しょう	唇	くちびる	雀	しゃく
血	けつ	雇	こ	絞	こう	差	さ	雑	ざつ	歯	し	寂	じゃく	俊	しゅん	沼	ぬま	娠	しん	裾	すそ
訣	けつ	顧	こ	綱	こう	査	さ	皐	こう	事	こと	弱	じゃく	峻	しゅん	消	しょう	寝	しん	澄	すむ
月	げつ	鼓	つづみ	耕	こう	沙	さ	鯖	さば	似	じ	惹	じゃ	春	はる	渉	しょう	審	しん	摺	しょう
件	くだり	五	ご	考	こう	瑳	さ	捌	はつ	侍	さむらい	主	おも	瞬	しゅん	湘	しょう	心	こころ	寸	すん
倹	けん	互	ご	肯	こう	砂	さ	錆	さび	児	こ	取	とる	竣	しゅん	焼	やき	慎	しん	世	せ

漢字変換表

漢字	読みがな
瀬	せ
畝	うね
是	ぜ
凄	せい
制	せい
勢	せい
姓	しょう
征	せい
性	さが
成	せい
政	せい
整	せい
星	せい
晴	はれ
棲	せい
栖	せい
正	しょう
清	きよし
牲	いけにえ
生	いける
盛	さかり
精	しょう
聖	しょう
声	こえ
製	せい
西	さい
誠	せい
誓	せい
請	しん
逝	せい
醒	せい
青	あお
静	しずか
斉	さい
税	せい
脆	ぜい
隻	せき
席	せき
惜	しゃく
戚	せき
斥	せき
昔	しゃく
析	せき
石	いし
積	しゃく
籍	じゃく
績	せき
脊	せ
責	さい
赤	あか
跡	あと
蹟	あと
碩	せき
切	せつ
拙	せつ
接	せつ
摂	じょう
折	おり
設	せつ
窃	せつ
節	せつ
説	えつ
雪	せつ
絶	せつ
舌	した
蝉	せみ
仙	せん
先	さき
千	せん
占	うらない
宣	せん
専	せん
尖	せん
川	かわ
戦	いくさ
扇	おうぎ
撰	せん

漢字	読みがな
栓	せん
栴	せん
泉	いずみ
浅	せん
洗	せん
染	せん
潜	せん
煎	せん
煽	せん
旋	せん
穿	せん
箭	せん
線	せん
繊	せん
羨	せん
腺	せん
舛	せん
船	ふね
薦	こも
詮	せん
賎	せん
践	せん
選	せん
遷	せん
銭	ぜに
銑	せん
閃	せん
鮮	せん
前	せん
善	ぜん
漸	ざん
然	ぜん
全	ぜん
禅	せん
繕	ぜん
膳	せん
噌	そう
塑	そ
岨	しょ
措	さく
曾	ぞ
曽	ぞ
楚	いばら
狙	そ
疏	そ
疎	そ
礎	いしずえ
祖	そ
租	そ
粗	そ
素	きじ
組	くみ
蘇	そ
訴	そ
阻	そ
遡	そ
鼠	そ
僧	そう
創	そう
双	そう
叢	そう
倉	くら
喪	そう
壮	そう
奏	そう
爽	そう
宋	そう
層	そう
匝	そう
惣	そう
想	そう
捜	そう
掃	そう
挿	そう
掻	そう
操	そう
早	さ

漢字	読みがな
曹	そう
巣	す
槍	そう
槽	おけ
漕	そう
燥	そう
争	そう
痩	そう
相	あい
窓	まど
糟	かす
総	そう
綜	そう
聡	さとし
草	くさ
荘	しょう
葬	そう
蒼	あお
藻	も
装	そう
走	そう
送	そう
遭	そう
鎗	そう
霜	しも
騒	そう
像	かたち
増	ぞう
憎	ぞう
臓	ぞう
蔵	くら
贈	ぞう
造	そう
促	そく
側	かわ
則	そく
即	そく
息	いき
捉	そく
束	たば
測	そく
足	あし
速	そく
俗	ぞく
属	ぞく
賊	ぞく
族	ぞく
続	ぞく
卒	そつ
袖	そで
其	き
揃	せん
存	そん
孫	まご
尊	そん
損	そん
村	むら
遜	そん
他	ほか
多	た
太	たい
汰	た
詑	た
唾	だ
堕	だ
妥	だ
惰	だ
打	だ
柁	かじ
舵	かじ
楕	だ
陀	だ
駄	だ
騨	だ
体	からだ
堆	たい
対	たい

漢字	読みがな
耐	たい
岱	たい
帯	おび
待	たい
怠	たい
態	たい
戴	たい
替	たい
泰	たい
滞	たい
胎	たい
腿	もも
苔	こけ
袋	たい
貸	たい
退	たい
逮	たい
隊	たい
黛	まゆずみ
鯛	たい
代	たい
台	だい
大	おお
第	だい
醍	だい
題	だい
鷹	たか
滝	たき
瀧	たき
卓	たく
啄	たく
宅	たく
托	たく
択	たく
拓	たく
沢	さわ
濯	たく
琢	みがく
託	たく
鐸	たく
濁	たく
諾	だく
茸	きのこ
凧	たこ
蛸	たこ
只	ただ
叩	こう
但	たん
達	たち
辰	たつ
奪	だつ
脱	たい
巽	たつみ
竪	じゅ
辿	てん
棚	たな
谷	たに
狸	たぬき
鱈	たら
樽	たる
誰	だれ
丹	たん
単	たん
嘆	たん
坦	たん
担	たん
探	たん
旦	あした
歎	たん
淡	たん
湛	たん
炭	すみ
短	たん
端	たん
箪	たん
綻	たん
耽	たん

漢字	読みがな
胆	きも
蛋	たん
誕	たん
鍛	たん
団	だん
壇	だん
弾	たま
断	だん
暖	だん
檀	だん
段	だん
男	おとこ
談	だん
値	あたい
知	ち
地	ち
弛	ち
恥	はじ
智	さとし
池	いけ
痴	ち
稚	ち
置	ち
致	ち
蜘	ち
遅	ち
馳	じ
築	ちく
畜	きく
竹	たけ
筑	ちく
蓄	ちく
逐	ちく
秩	ちつ
窒	ちつ
茶	さ
嫡	ちゃく
着	ちゃく
中	うち
仲	なか
宙	ちゅう
忠	ちゅう
抽	ちゅう
昼	ひる
柱	ちゅ
注	ちゅ
虫	ちゅう
衷	ちゅう
註	ちゅう
酎	ちゅう
鋳	しゅ
駐	ちゅう
樗	ちょ
瀦	ちょ
猪	いのしし
苧	お
著	ちゃく
貯	ちょ
丁	ちょう
兆	じょう
凋	ちょう
喋	ちょう
寵	ちょう
帖	じょう
帳	ちょう
庁	ちょう
弔	ちょう
張	はり
彫	ちょう
徴	しるし
懲	ちょう
挑	ちょう
暢	ちょう
朝	あさ
潮	しお
牒	ちょう
町	ちょう

漢字	読みがな
眺	ちょう
聴	ちょう
脹	ちょう
腸	ちょう
蝶	ちょう
調	しらべ
諜	ちょう
超	こえる
跳	ちょう
銚	ちょう
長	おさ
頂	ちょう
鳥	とり
勅	ちょく
捗	ちょく
直	じき
朕	じん
沈	しん
珍	ちん
賃	ちん
鎮	ちん
陳	ちん
津	つ
墜	つい
椎	しい
槌	つい
追	つい
鎚	つい
痛	つう
通	つう
塚	つか
栂	とが
掴	かく
槻	き
佃	つくだ
漬	づけ
柘	しゃ
辻	つじ
蔦	つた
綴	てい
鍔	つば
椿	つばき
潰	え
坪	つぼ
壷	つぼ
嬬	つま
紬	つむぎ
爪	つめ
吊	ちょう
釣	つり
鶴	つる
亭	ちょう
低	てい
停	ちょう
偵	てい
剃	てい
貞	てい
呈	てい
堤	つつみ
定	さだめ
帝	てい
底	そこ
庭	にわ
廷	にわ
弟	おとうと
悌	てい
抵	てい
挺	てい
提	し
梯	てい
汀	てい
碇	いかり
禎	さいわい
程	ほど
締	てい
艇	ふね
訂	ただす

漢字	読みがな
諦	たい
蹄	ひづめ
逓	てい
邸	てい
鄭	じょう
釘	くぎ
鼎	かなえ
泥	でい
摘	ちゃく
擢	たく
敵	かたき
滴	しずく
的	まと
笛	てき
適	かなう
鏑	かぶらや
溺	じょう
哲	てつ
徹	とうる
撤	てつ
轍	わだち
迭	てつ
鉄	てつ
典	てん
填	てん
天	あま
展	てん
店	てん
添	てん
纏	てん
甜	てん
貼	ちょう
転	てん
顛	てん
点	てん
伝	つたえ
殿	てん
澱	おり
田	た
電	いなずま
兎	うさぎ
吐	と
堵	と
塗	と
妬	と
屠	と
徒	と
斗	と
杜	もり
渡	わたり
登	とう
菟	と
賭	かけ
途	と
都	と
鍍	と
砥	てい
砺	あらと
努	つとむ
度	たび
土	つち
奴	ど
怒	ど
倒	とう
党	とう
冬	ふゆ
凍	とう
刀	かたな
唐	とう
塔	とう
塘	とう
套	とう
宕	とう
島	しま
嶋	しま
悼	とう
投	とう

漢字	読みがな
搭	とう
東	あずま
桃	もも
梼	とう
棟	とう
盗	とう
淘	とう
湯	とう
涛	とう
灯	ちょう
燈	とう
当	とう
痘	とう
祷	とう
等	など
答	こたえ
筒	つつ
糖	さとう
統	とう
到	とう
董	とう
蕩	とう
藤	ふじ
討	とう
謄	とう
豆	ず
踏	とう
逃	とう
透	とう
鐙	あぶみ
陶	とう
頭	あたま
騰	とう
闘	とう
働	どう
動	どう
同	どう
堂	どう
導	どう
憧	しょう
撞	とう
洞	とう
瞳	ひとみ
童	どう
胴	どう
萄	どう
道	どう
銅	あか
峠	とうげ
鴇	とき
匿	とく
得	とく
徳	とく
涜	とく
特	とく
督	とく
禿	とく
篤	あつし
毒	どく
独	どく
読	とう
栃	とち
橡	くぬぎ
凸	とつ
突	とつ
椴	だん
届	とどけ
鳶	とび
苫	とま
寅	とら
酉	とり
瀞	じょう
噸	とん
屯	とん
惇	じゅん
敦	あつし
沌	とん

漢字	読みがな
豚	ぶた
遁	とん
頓	とん
呑	とん
曇	くもり
鈍	どん
奈	からなし
那	なに
内	うち
乍	さく
凪	なぎ
薙	ち
謎	なぞ
灘	せ
捺	だつ
鍋	なべ
楢	なら
馴	くん
縄	なわ
畷	なわて
南	な
楠	くすのき
軟	なん
難	だん
汝	なんじ
二	に
尼	あま
弐	に
迩	に
匂	におい
賑	しん
肉	じく
虹	にじ
廿	にじゅう
日	か
乳	ち
入	いり
如	じょ
尿	にょう
韮	く
任	にん
妊	にん
忍	しのぶ
認	にん
濡	じゅ
禰	でい
祢	でい
寧	ねい
葱	ねぎ
猫	ねこ
熱	ねち
年	とし
念	ねん
捻	ねん
撚	ねん
燃	ねん
粘	ねん
乃	なんじ
廼	ない
之	これ
埜	の
嚢	のう
悩	のう
濃	のう
納	とう
能	だい
脳	のう
膿	うみ
農	のう
覗	し
蚤	のみ
巴	ともえ
把	は
播	ばん
覇	は
杷	は
波	なみ

漢字	読みがな
派	は
琶	は
破	は
婆	ばば
罵	ば
芭	ば
馬	うま
俳	はい
廃	はい
拝	はい
排	はい
敗	はい
杯	さかずき
盃	さかずき
牌	はい
背	うしろ
肺	はい
輩	はい
配	はい
倍	ばい
培	ばい
媒	ばい
梅	うめ
楳	ばい
煤	すす
狽	ばい
買	ばい
売	ばい
賠	ばい
陪	ばい
這	げん
蝿	はえ
秤	はかり
矧	しん
萩	はぎ
伯	はく
剥	はく
博	はく
拍	はく
柏	かしわ
泊	とまり
白	しろ
箔	はく
粕	かす
舶	はく
薄	うす
迫	はく
曝	ばく
漠	ばく
爆	ばく
縛	ばく
莫	ばく
駁	ばく
麦	むぎ
函	はこ
箱	そう
硲	はざま
箸	ちゃく
肇	はじめ
筈	はず
櫨	ろ
幡	はん
肌	はだ
畑	はたけ
畠	はたけ
八	はち
鉢	はち
溌	はつ
発	はつ
醗	はつ
髪	かみ
伐	ばつ
罰	ばち
抜	はつ
筏	いかだ
閥	はつ
鳩	はと

漢字	読みがな
噺	はなし
塙	こう
蛤	はまぐり
隼	はやぶさ
伴	とも
判	ばん
半	はん
反	はん
叛	はん
帆	ほ
搬	はん
斑	ぶち
板	いた
氾	はん
汎	はん
版	はん
犯	はん
班	はん
畔	はん
繁	しげる
般	はん
藩	はん
販	はん
範	はん
釆	はん
煩	ぼん
頒	ふん
飯	はん
挽	ばん
晩	ばん
番	ば
盤	たらい
磐	はん
蕃	ばん
蛮	ばん
匪	ひ
卑	ひ
否	いな
妃	きさき
庇	ひさし
彼	かれ
悲	ひ
扉	とびら
批	ひ
披	ひ
斐	ひ
比	ひ
泌	ひ
疲	ひ
皮	かわ
碑	いしぶみ
秘	ひ
緋	あか
罷	はい
肥	こえ
被	ひ
誹	ひ
費	ひ
避	ひ
非	ひ
飛	ひ
樋	とう
簸	は
備	そなわる
尾	お
微	び
枇	び
毘	び
琵	び
眉	まゆ
美	び
鼻	はな
柊	ひいらぎ
稗	ひえ
匹	ひき
疋	あし
髭	ひげ

漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな
彦	ひこ	部	くみ	甫	はじめ	牧	ぼく	迷	めい	猶	なお	璃	り	零	れい						
膝	ひざ	封	ふ	補	ほ	睦	むつみ	銘	みょう	猷	ゆう	痢	り	霊	りょう						
菱	ひし	楓	かえで	輔	たすけ	穆	ぼく	鳴	なる	由	ゆ	裏	うら	麗	れい						
肘	ひじ	風	かぜ	穂	ほ	釦	く	姪	おい	祐	ゆう	裡	うら	齢	れい						
弼	ひつ	葺	しゅう	募	つのる	勃	ぼつ	牝	めす	裕	ひろし	里	さと	暦	こよみ						
必	ひつ	蕗	ふき	墓	はか	没	ぼつ	滅	めつ	誘	ゆう	離	り	歴	れき						
畢	ひつ	伏	ふく	慕	ぼ	殆	たい	免	べん	遊	ゆう	陸	りく	列	れい						
筆	ふで	副	ふく	戊	ぼ	堀	あな	棉	わた	邑	おう	律	りつ	劣	れつ						
逼	ひつ	復	ふく	暮	くれ	幌	ほろ	綿	めん	郵	ゆう	率	しゅつ	烈	れつ						
桧	ひのき	幅	はば	母	はは	奔	ほん	緬	めん	雄	おす	立	たつ	裂	れつ						
姫	き	服	ふく	簿	はく	本	ほん	面	おもて	融	ゆう	葎	りつ	廉	れん						
媛	えん	福	さいわい	菩	はい	翻	ほん	麺	むぎこ	夕	ゆう	掠	りょう	恋	こい						
紐	ちゅう	腹	はら	倣	ほう	凡	ぼん	摸	ばく	予	よ	略	ほぼ	憐	れん						
百	ひゃく	複	ふく	俸	ほう	盆	ほん	模	も	余	よ	劉	りゅう	漣	らん						
謬	びゅう	覆	ふ	包	つつみ	摩	ま	茂	しげる	与	か	流	りゅう	煉	れん						
俵	たわら	淵	ふち	呆	がい	磨	ま	妄	みだり	誉	ほまれ	溜	りゅう	簾	すだれ						
彪	ひょう	弗	どる	報	ほう	魔	ま	孟	かしら	輿	こし	琉	りゅう	練	れん						
標	しるし	払	ひつ	奉	ぶ	麻	あさ	毛	け	預	よ	留	りゅう	聯	れん						
氷	こおり	沸	ふつ	宝	たから	埋	まい	猛	たけし	傭	あたい	硫	りゅう	蓮	はす						
漂	ひょう	仏	ふつ	峰	みね	妹	いもうと	盲	めくら	幼	よう	粒	つぶ	連	れん						
瓢	ひさご	物	ぶつ	峯	みね	昧	まい	網	あみ	妖	よう	隆	たかし	錬	れん						
票	ひょう	鮒	ふ	崩	ほう	枚	まい	耗	こう	容	ゆう	竜	たつ	呂	せぼね						
表	おもて	分	ふん	庖	ほう	毎	ごと	蒙	もう	庸	よう	龍	たつ	魯	ろ						
評	ひょう	吻	ふん	抱	ほう	哩	まいる	儲	ちょ	揚	よう	侶	りょ	櫓	やぐら						
豹	ひょう	噴	ふん	捧	ほう	槙	てん	木	き	揺	よう	慮	りょ	炉	いろり						
廟	びょう	墳	ふん	放	ほう	幕	まく	黙	もく	擁	よう	旅	たび	賂	ろ						
描	びょう	憤	ふん	方	かた	膜	ばく	目	ぼく	曜	よう	虜	とりこ	路	みち						
病	びょう	扮	はん	朋	ほう	枕	ちん	杢	もく	楊	やなぎ	了	りょう	露	あらわ						
秒	びょう	焚	ふん	法	のり	鮪	しび	勿	ぶつ	様	さま	亮	りょう	労	ろう						
苗	なえ	奮	ふん	泡	あわ	柾	まさき	餅	へい	洋	なだ	僚	りょう	婁	る						
錨	いかり	粉	こな	烹	ほう	鱒	そん	尤	とが	溶	よう	両	りょう	廊	ろう						
鋲	びょう	糞	くそ	砲	つつ	桝	ます	戻	れい	熔	よう	凌	しのぐ	弄	ろう						
蒜	さん	紛	ふん	縫	ほう	亦	やく	籾	もみ	用	よう	寮	りょう	朗	あきら						
蛭	しつ	雰	ふん	胞	ひょう	俣	また	貰	しゃ	窯	かま	料	りょう	楼	ろう						
鰭	ひれ	文	ふみ	芳	ほう	又	また	問	とい	羊	ひつじ	梁	はし	榔	ろう						
品	しな	聞	ぶん	萌	ほう	抹	まつ	悶	もん	耀	よう	涼	りょう	浪	ろう						
彬	ひん	丙	ひのえ	蓬	ほう	末	すえ	紋	もん	葉	は	猟	りょう	漏	ろう						
斌	ひん	併	へい	蜂	はち	沫	あわ	門	かど	蓉	よう	療	りょう	牢	ろう						
浜	はま	兵	いくさ	褒	ほう	迄	まで	匁	もんめ	要	かなめ	瞭	りょう	狼	おおかみ						
瀕	ひん	塀	へい	訪	ほう	侭	じん	也	え	謡	うたい	稜	ろう	篭	かご						
貧	ひん	幣	ごへい	豊	ふ	繭	まゆ	冶	や	踊	おどり	糧	かて	老	おい						
賓	ひん	平	たいら	邦	ほう	麿	まろ	夜	よ	遥	よう	良	りょう	聾	ろう						
頻	ひん	弊	へつ	鋒	ほこ	万	まん	爺	じじ	陽	よう	諒	りょう	蝋	ろう						
敏	とし	柄	がら	飽	ほう	慢	まん	耶	か	養	よう	遼	はるか	郎	ろう						
瓶	かめ	並	なみ	鳳	おおとり	満	まん	野	の	慾	よく	量	かさ	六	む						
不	ふ	蔽	へい	鵬	おおとり	漫	まん	弥	わたる	抑	よく	陵	みささぎ	麓	ふもと						
付	つき	閉	へい	乏	ぼう	蔓	つる	矢	し	欲	よく	領	えり	禄	ふち						
埠	つか	陛	へい	亡	ぼう	味	あじ	厄	あく	沃	よく	力	ちから	肋	あばら						
夫	おっと	米	こめ	傍	ほう	未	ひつじ	役	えき	浴	よく	緑	みどり	録	りょく						
婦	ふ	頁	かしら	剖	ほう	魅	み	約	やく	翌	よく	倫	りん	論	ろん						
富	とみ	僻	へい	坊	てら	巳	み	薬	くすり	翼	つばさ	厘	てん	倭	わ						
冨	とみ	壁	かべ	妨	ぼう	箕	み	訳	やく	淀	てん	林	はやし	和	か						
布	ぬの	癖	くせ	帽	ぼう	岬	みさき	躍	やく	羅	あみ	淋	りん	話	はなし						
府	ふ	碧	ひゃ	忘	ぼう	密	ひそか	靖	やすし	螺	ら	燐	りん	歪	いびつ						
怖	ふ	別	べつ	忙	ぼう	蜜	みつ	柳	やなぎ	裸	はだか	琳	りん	賄	まかない						
扶	ふ	瞥	べつ	房	ふさ	湊	みなと	薮	やぶ	来	き	臨	りん	脇	わき						
敷	しき	蔑	べつ	暴	ばく	蓑	さい	鑓	やり	莱	らい	輪	わ	惑	わく						
斧	おの	箆	へい	望	のぞみ	稔	みのる	愉	ゆ	頼	らい	隣	となり	枠	わく						
普	ふ	偏	へん	某	それがし	脈	すじ	愈	ゆ	雷	かみなり	鱗	うろこ	鷲	しゅう						
浮	ふ	変	へん	棒	ぼう	妙	たえ	油	あぶら	洛	らく	麟	りん	亙	こう						
父	ちち	片	かた	冒	ぼう	民	たみ	癒	ゆ	絡	らく	瑠	りゅう	亘	がん						
符	ふ	篇	へん	紡	ぼう	眠	みん	諭	さとす	落	おち	塁	るい	鰐	わに						
腐	ふ	編	とじいと	肪	ほう	務	つとむ	輸	ゆ	酪	らく	涙	なみだ	詫	わび						
膚	ふ	辺	へん	膨	ぼう	夢	む	唯	ただ	乱	らん	累	るい	藁	わら						
芙	ふ	返	はん	謀	はかる	無	む	佑	ゆう	卵	たまご	類	たぐい	蕨	わらび						
譜	ふ	遍	へん	貌	かたち	牟	む	優	まさる	嵐	あらし	令	りょう	椀	わん						
負	ふ	便	びん	貿	ぼう	矛	ほこ	勇	ゆう	欄	らん	伶	りょう	湾	わん						
賦	ふ	勉	つとむ	鉾	ほこ	霧	きり	友	とも	濫	らん	例	たぐい	碗	わん						
赴	ふ	娩	べん	防	ほう	鵡	む	宥	ゆう	藍	あい	冷	りょう	腕	うで						
阜	ふ	弁	はなびら	吠	ばい	椋	むく	幽	ゆう	蘭	らん	励	れい								
附	ふ	鞭	べん	頬	ほお	婿	むこ	悠	ゆう	覧	らん	嶺	みね								
侮	ぶ	保	たもつ	北	きた	娘	じょう	憂	ゆう	利	り	怜	りょう								
撫	ぶ	舗	ほ	僕	ぼく	冥	みょう	揖	ゆう	吏	り	玲	れい								
武	たけし	鋪	ほ	卜	うらない	名	な	有	う	履	り	礼	れい								
舞	まい	圃	ほ	墨	すみ	命	いのち	柚	じく	李	すもも	苓	りょう								
葡	ぶ	捕	ほ	撲	ほく	明	あかり	湧	わく	梨	なし	鈴	すず								
蕪	かぶ	歩	あゆみ	朴	ほう	盟	めい	涌	ゆう	理	ことわり	隷	しもべ								

漢字変換表

第２水準

漢字	読みがな
弌	いち
丐	かい
丕	ひ
个	か
丱	かん
丶	ちゅ
丼	どんぶり
丿	へつ
乂	がい
乖	かい
乘	しょう
亂	らん
亅	けつ
豫	しゃ
亊	し
舒	しょ
弍	じ
于	う
亞	あつ
亟	きょく
亠	とう
亢	こう
亰	きょう
亳	はく
亶	せん
从	じゅう
仍	じょう
仄	しょく
仆	ほく
仂	りょく
仗	じょう
仞	じん
仭	じん
仟	せん
价	かい
伉	こう
佚	いつ
估	こ
佛	ひつ
佝	こう
佗	い
佇	ちょ
佶	きつ
侈	い
侏	しゅ
侘	た
佻	じょう
佩	はい
佰	びゃく
侑	ゆう
佯	よう
來	らい
侖	りん
儘	まま
俔	けん
俟	し
俎	まないた
俘	ふ
俛	べん
俑	とう
俚	り
俐	り
俤	おもかげ
俥	くるま
倚	い
倨	きょ
倔	くつ
倪	がい
倥	こう
倅	せがれ
伜	さい
俶	しゅく
倡	しょう
倩	せい
倬	たく

漢字	読みがな
俾	へい
俯	ふ
們	もん
倆	りょう
偃	えん
假	きゃく
會	かい
偕	かい
偐	がん
偈	げ
做	さく
偖	しゃ
偬	そう
偸	ちゅう
傀	かい
傚	こう
傅	ふ
傴	う
傲	ごう
僉	せん
僊	せん
傳	てん
僂	ろう
僖	き
僞	か
僥	きょう
僭	しん
僣	しん
僮	とう
價	か
僵	きょう
儉	けん
儁	しゅん
儂	どう
儖	らん
儕	さい
儔	ちゅう
儚	ぼう
儡	らい
儺	だ
儷	れい
儼	げん
儻	とう
儿	じん
兀	こつ
兒	げい
兌	えい
兔	と
兢	きょう
競	きょう
兩	りょう
兪	ゆ
兮	けい
冀	き
冂	きょう
囘	かい
册	さく
冉	ぜん
冏	きょう
冑	かぶと
冓	こう
冕	べん
冖	べき
冤	えん
冦	こう
冢	ちょう
冩	しゃ
冪	べき
冫	ひょう
决	けち
冱	こ
冲	ちゅう
冰	ひょう
况	きょう
冽	れい

漢字	読みがな
凅	こ
凉	りょう
凛	りん
几	き
處	しょ
凩	こがらし
凭	ひょう
凰	おう
凵	かん
凾	かん
刄	じん
刋	かん
刔	けつ
刎	ふん
刧	きょう
刪	さん
刮	かつ
刳	こ
刹	さつ
剏	しょう
剄	けい
剋	こく
剌	らつ
剞	き
剔	てい
剪	せん
剴	かい
剩	じょう
剳	とう
剿	しょう
剽	ひょう
劍	けん
劔	けん
劒	けん
剱	けん
劈	ひゃく
劑	ざい
辨	へん
辧	へん
劬	く
劭	しょう
劼	かつ
劵	けん
勁	けい
勍	けい
勗	きょく
勞	ろう
勣	しゃく
勦	しょう
飭	ちょく
勠	りく
勳	くん
勵	れい
勸	かん
勹	ほう
匆	そう
匈	きょう
甸	てん
匍	ほ
匐	ふく
匏	ほう
匕	ひ
匚	ほう
匣	こう
匯	かい
匱	き
匳	れん
匸	けい
區	おう
卆	しゅつ
卅	そう
丗	せい
卉	き
卍	まんじ
準	じゅん

漢字	読みがな
卞	はん
卩	せつ
卮	し
夘	ぼう
卻	きゃく
卷	かん
厂	かん
厖	ぼう
厠	かわや
厦	か
厥	くつ
厮	し
厰	しょう
厶	ぼう
參	さん
簒	さん
雙	そう
叟	しゅう
曼	ばん
燮	しょう
叮	てい
叨	とう
叭	はつ
叺	かます
吁	きょ
吽	いん
呀	か
听	ぽんど
吭	こう
吼	こう
吮	しゅん
吶	とつ
吩	ふん
吝	りん
呎	ふぃーと
咏	えい
呵	か
咎	とが
呟	げん
呱	こ
呷	こう
呰	さ
咒	しゅう
呻	しん
咀	しょ
呶	どう
咄	とつ
咐	ふ
咆	ほう
哇	あい
咢	がく
咸	かん
咥	てつ
咬	こう
哄	こう
哈	ごう
咨	し
咫	し
哂	しん
咤	た
咾	ろう
咼	かい
哘	さそう
哥	か
哦	が
唏	き
唔	ご
哽	こう
哮	こう
哭	こく
哺	ほ
哢	ろう
唹	お
啀	がい
啣	かん

漢字	読みがな
啌	こう
售	しゅう
啜	せつ
啅	たく
啖	たん
啗	たん
唸	てん
唳	れい
啝	か
喙	かい
喀	かく
咯	かく
喊	かん
喟	かい
啻	し
啾	しゅう
喘	せん
喞	しょく
單	ぜん
啼	てい
喃	なん
喩	ゆ
喇	らつ
喨	りょう
嗚	う
嗅	きゅう
嗟	しゃ
嗄	さ
嗜	し
嗤	し
嗔	しん
嘔	おう
嗷	ごう
嘖	さく
嗾	そう
嗽	うがい
嘛	ば
嗹	れん
噎	いつ
噐	き
營	えい
嘴	くちばし
嘶	せい
嘲	ちょう
嘸	ぶ
噫	あい
噤	きん
嘯	しょう
噬	ぜい
噪	そう
嚆	こう
嚀	ねい
嚊	ひ
嚠	りゅう
嚔	てい
嚏	てい
嚥	えん
嚮	きょう
嚶	おう
嚴	げん
囂	きょう
嚼	しゃく
囁	しょう
囃	そう
囀	てん
囈	げい
囎	そ
囑	しょく
囓	けつ
囗	こく
囮	おとり
囹	れい
圀	こく
囿	ゆう
圄	ぎょ

漢字	読みがな
圉	ぎょ
圈	けん
國	こく
圍	い
圓	えん
團	だん
圖	ず
嗇	しょく
圜	えん
圦	いり
圷	あくつ
圸	まま
坎	かん
圻	ぎん
址	し
坏	はい
坩	かん
埀	すい
垈	ぬた
坡	は
坿	ふ
垉	ほう
垓	かい
垠	ぎん
垳	がけ
垤	てつ
垪	は
垰	たお
埃	ほこり
埆	かく
埔	ほ
埒	らち
埓	らち
堊	あく
埖	ごみ
埣	さい
堋	ほう
堙	いん
堝	か
塲	じょう
堡	ほう
塢	う
塋	えい
塰	あま
毀	き
塒	し
堽	こう
塹	ざん
墅	しょ
墹	まま
墟	きょ
墫	そん
墺	いく
壞	かい
墻	しょう
墸	ちょ
墮	だ
壅	よう
壓	あつ
壑	かく
壗	まま
壙	こう
壘	るい
壥	てん
壜	たん
壤	じょう
壟	りょう
壯	そう
壺	つぼ
壹	いち
壻	せい
壼	こん
壽	しゅう
夂	ち
夊	すい

漢字	読みがな
夐	けい
夛	た
梦	ぼう
夥	か
夬	かい
夭	おう
夲	とう
夸	か
夾	きょう
竒	き
奕	えき
奐	かん
奎	けい
奚	けい
奘	じょう
奢	しゃ
奠	てい
奧	いく
奬	しょう
奩	れん
奸	かん
妁	しゃく
妝	しょう
佞	でい
侫	でい
妣	ひ
妲	だつ
姆	ぼ
姨	い
姜	きょう
妍	けん
姙	じん
姚	ちょう
娥	が
娟	えん
娑	しゃ
娜	だ
娉	へい
娚	どう
婀	あ
婬	いん
婉	えん
娵	しゅ
娶	しゅ
婢	ひ
婪	らん
媚	こび
媼	おう
媾	こう
嫋	じゃく
嫂	そう
媽	ぼ
嫣	えん
嫗	おう
嫦	こう
嫩	ぜん
嫖	ひょう
嫺	かん
嫻	かん
嬌	きょう
嬋	せん
嬖	へい
嬲	じょう
嫐	じょう
嬪	ひん
嬶	かか
嬾	らん
孃	じょう
孅	せん
孀	そう
孑	けつ
孕	よう
孚	ふ
孛	はい
孥	ど

漢字	読みがな
孩	かい
孰	じゅく
孳	し
孵	ふ
學	がく
斈	がく
孺	じゅ
宀	べん
它	た
宦	かん
宸	しん
寃	えん
寇	こう
寉	かく
寔	しょく
寐	び
寤	ご
實	しつ
寢	しん
寞	ばく
寥	りょう
寫	しゃ
寰	かん
寶	ほう
寳	ほう
尅	こく
將	しょう
專	せん
對	たい
尓	じ
尠	せん
尢	おう
尨	ぼう
尸	し
尹	いん
屁	へ
屆	かい
屎	き
屓	き
屐	けき
屏	びょう
孱	さん
屬	しょく
屮	そう
乢	あつ
屶	なた
屹	きつ
岌	きゅう
岑	ぎん
岔	さ
妛	し
岫	しゅう
岻	じ
岶	ひゃく
岼	ゆり
岷	びん
峅	くら
岾	やま
峇	こう
峙	じ
峩	が
峽	きょう
峺	こう
峭	しょう
嶌	とう
峪	よく
崋	か
崕	がい
崗	こう
嵜	き
崟	ぎん
崛	くつ
崑	こん
崔	さい
崢	そう

漢字	読みがな
崚	りょう
崙	ろん
崘	ろん
嵌	かん
嵒	がん
嵎	ぐう
嵋	び
嵬	かい
嵳	さ
嵶	たわ
嶇	く
嶄	さん
嶂	しょう
嶢	ぎょう
嶝	とう
嶬	ぎ
嶮	けん
嶽	がく
嶐	りゅう
嶷	ぎょく
嶼	しょ
巉	さん
巍	ぎ
巓	てん
巒	らん
巖	がん
巛	せん
巫	ふ
已	い
巵	し
帋	し
帚	しゅう
帙	ちつ
帑	とう
帛	はく
帶	たい
帷	い
幄	あく
幃	い
幀	ちょう
幎	べき
幗	かく
幔	ばん
幟	のぼり
幢	とう
幤	へい
幇	ほう
幵	けん
并	ひょう
幺	よう
麼	ば
广	げん
庠	しょう
廁	しょく
廂	しょう
廈	か
廐	きゅう
廏	きゅう
廖	りょう
廣	こう
廝	し
廚	ちゅう
廛	てん
廢	はい
廡	ぶ
廨	かい
廩	りん
廬	りょ
廱	よう
廳	ちょう
廰	ちょう
廴	いん
廸	てき
廾	きょう
弃	き

漢字	読みがな
弉	じょう
彝	い
彜	い
弋	よく
弑	しい
弖	て
弩	ど
弭	び
弸	ほう
彁	か
彈	たん
彌	び
彎	わん
弯	わん
彑	けい
彖	たん
彗	けい
彙	い
彡	さん
彭	ほう
彳	てき
彷	ほう
徃	おう
徂	そ
彿	ふち
徊	かい
很	こん
徑	けい
徇	しゅん
從	じゅう
徙	し
徘	はい
徠	らい
徨	こう
徭	よう
徼	きょう
忖	そん
忻	きん
忤	ご
忸	じゅう
忱	しん
忝	てん
悳	とく
忿	ふん
怡	い
恠	かい
怙	こ
怐	こう
怩	じ
怎	しん
怱	そう
怛	たつ
怕	はく
怫	はい
怦	ひょう
怏	おう
怺	こらえる
恚	い
恁	いん
恪	かく
恷	きゅう
恟	きょう
恊	きょう
恆	こう
恍	こう
恣	ほしいまま
恃	し
恤	しゅつ
恂	しゅん
恬	てん
恫	とう
恙	よう
悁	えん
悍	かん
惧	く

漢字	読みがな
悃	こん
悚	しょう
悄	しょう
悛	しゅん
悖	はい
悗	ばん
悒	ゆう
悧	り
悋	りん
惡	あく
悸	き
惠	けい
惓	けん
悴	せがれ
忰	すい
悽	せい
惆	ちゅう
悵	ちょう
惘	ぼう
慍	うん
愕	がく
愆	けん
惶	こう
惷	しゅん
愀	しゅう
惴	すい
惺	せい
愃	けん
愡	そう
惻	しょく
惱	のう
愍	びん
愎	ひょく
慇	いん
愾	がい
愨	かく
愧	き
慊	きょう
愿	げん
愼	しん
愬	さく
愴	そう
愽	はく
慂	よう
慄	りつ
慳	かん
慷	こう
慘	さん
慙	ざん
慚	ざん
慫	しょう
慴	しゅう
慯	しょう
慥	そう
慱	たん
慟	とう
慝	とく
慓	ひょう
慵	しょう
憙	き
憖	きん
憇	けい
憬	けい
憔	しょう
憚	だつ
憊	はい
憑	ひょう
憫	びん
憮	こ
懌	えき
懊	おう
應	おう
懷	かい
懈	かい
懃	きん

漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな
懆	そう	捶	すい	敞	しょう	朷	とう	椄	しょう	橢	だ	氓	ぼう	渮	か	濱	ひん	牆	しょう	瓔	えい
憺	たん	掣	せい	敝	へい	杆	かん	棗	なつめ	橙	だいだい	气	き	渙	かん	濮	ほく	牋	せん	瑛	えい
懋	ぼう	掏	とう	敲	こう	杞	き	棣	たい	橦	しょう	氛	ふん	湲	えん	濛	もう	牘	とく	瓠	ひさご
罹	ら	掉	ちょう	數	さく	杠	こう	椥	なぎ	橈	じょう	氤	いん	湟	こう	瀉	しゃ	牴	てい	瓣	べん
懍	らん	掟	おきて	斂	れん	杙	よく	棹	たく	樸	はく	氣	き	渾	こん	瀋	しん	牾	ご	瓧	でかぐらむ
懦	じゅ	掵	はば	斃	へい	杣	そま	棠	とう	樢	ちょう	汞	こう	渣	さ	濺	せん	犂	からすき	瓩	きろぐらむ
懣	まん	捫	もん	變	へん	杤	とち	棯	じん	檐	えん	汕	さん	湫	しゅう	瀑	はく	犁	りゅう	瓮	おう
懶	らい	捩	れい	斛	こく	枉	おう	椨	たぶ	檍	おく	汢	ど	渫	ちょう	瀁	よう	犇	ほん	瓲	とん
懺	さん	掾	えん	斟	しん	杰	けつ	椪	くぬぎ	檠	けい	汪	おう	湶	せん	瀏	りゅう	犒	こう	瓰	でしぐらむ
懴	さん	揩	かい	斫	しゃく	枩	しょう	椚	くぬぎ	檄	げき	沂	ぎん	湍	たん	濾	りょ	犖	らく	瓱	みりぐらむ
懿	い	揀	かん	斷	だん	杼	しょ	椣	しで	檢	けん	沍	ご	渟	てい	瀛	えい	犢	とく	瓸	へくとぐらむ
懽	かん	揆	き	旃	せん	杪	しょう	椡	くぬぎ	檣	しょう	沚	し	湃	はい	瀚	かん	犧	き	瓷	し
懼	く	揣	すい	旆	はい	枌	ふん	棆	りん	檗	びゃく	沁	しん	渺	びょう	潴	ちょ	犹	ゆう	甄	けん
懾	しょう	揉	じゅう	旁	かたがた	枋	へい	楹	えい	蘗	びゃく	沛	はい	湎	べん	瀝	れき	犲	さい	甃	しゅう
戀	れん	插	そう	旄	ぼう	枦	ろ	楷	かい	檻	おり	汾	ふん	渤	ほつ	瀘	ろ	狃	じゅう	甅	せんちぐらむ
戈	か	揶	や	旌	しょう	枡	ます	楜	こ	櫃	き	汨	こつ	滿	ばん	瀟	しょう	狆	ちゅう	甌	おう
戉	えつ	揄	ゆう	旒	りゅう	枅	けい	楸	しゅう	櫂	たく	汳	へん	渝	ゆ	瀰	び	狄	てき	甎	せん
戍	しゅ	搖	よう	旛	はん	枷	か	楫	しゅう	檸	どう	沒	ぼつ	游	りゅう	瀾	らん	狎	こう	甍	いらか
戌	いぬ	搴	けん	旙	はん	柯	か	楔	くさび	檳	ひん	沐	ぼく	溂	らつ	瀲	れん	狒	ひ	甕	おう
戔	さん	搆	こう	无	ぶ	枴	かい	楾	はんぞう	檬	ぼう	泄	えい	溪	けい	灑	さい	狢	かく	甓	へき
戛	かつ	搓	さい	旡	き	柬	かん	楮	ちょ	櫞	えん	泱	えい	溘	こう	灣	わん	狠	がん	甞	しょう
戞	かつ	搦	じゃく	旱	かん	枳	き	椹	じん	櫑	らい	泓	おう	滉	こう	炙	しゃ	狡	きょう	甦	そ
戡	かん	搶	しょう	杲	こう	柩	ひつぎ	楴	てい	櫟	やく	沽	こ	溷	こん	炒	しょう	狹	きょう	甬	よう
截	せつ	攝	しょう	昊	こう	枸	こう	椽	てん	檪	やく	泗	し	滓	さい	炯	きょう	狷	けん	甼	ちょう
戮	りゅう	搗	とう	昃	しょく	柤	しゃ	楙	ぼう	櫚	りょ	泅	しゅう	溽	じょく	烱	きょう	倏	しゅく	畄	りゅう
戰	せん	搨	とう	旻	びん	柞	さく	椰	や	櫪	れき	泝	そ	溯	そ	炬	きょ	猗	あ	畍	かい
戲	き	搏	はく	杳	よう	柝	たく	楡	にれ	櫻	おう	沮	しょ	滄	そう	炸	さく	猊	げい	畊	きょう
戳	たく	摧	さい	昵	しょく	柢	てい	楞	りょう	欅	けやき	沱	た	溲	しゅう	炳	へい	猜	さい	畉	ふ
扁	はん	摯	し	昶	ちょう	柮	とち	楝	れん	蘖	げつ	沾	ちょう	滔	とう	炮	ほう	猖	しょう	畛	しん
扎	あつ	摶	せん	昴	すばる	枹	ほう	榁	むろ	櫺	りょう	沺	てん	滕	とう	烟	えん	猝	そつ	畆	ぼう
扞	かん	摎	きゅう	昜	よう	柎	ふ	楪	ちょう	欒	らん	泛	はん	溏	とう	烋	きゅう	猴	こう	畚	ほん
扣	こう	攪	かく	晏	あん	柆	らつ	榲	おつ	欖	らん	泯	びん	溥	はく	烝	しょう	猯	たん	畩	けさ
扛	こう	撕	せい	晄	こう	柧	こ	榮	えい	鬱	うつ	泙	ほう	滂	ほう	烙	かく	猥	わい	畤	し
扠	さ	撓	きょう	晉	しん	檜	ひ	槐	かい	欟	つき	泪	るい	溟	めい	焉	えん	猾	かつ	畧	りゃく
扨	さて	撥	ばち	晁	ちょう	栞	しおり	榿	き	欸	あい	洟	てい	潁	えい	烽	ほう	獎	しょう	畫	かい
扼	あく	撩	りょう	晞	き	框	きょう	槁	こう	欷	き	衍	えん	潅	かい	焜	こん	獏	みゃく	畭	しゃ
抂	きょう	撈	りょう	晝	ちゅう	栩	く	槓	こう	盜	とう	洶	きょう	灌	かん	焙	はい	默	ぼく	畸	き
抉	けつ	撼	かん	晤	ご	桀	けつ	榾	こつ	欹	い	洫	きょく	滬	こ	煥	かん	獗	けつ	當	とう
找	そう	據	きょ	晧	こう	桍	く	槎	さ	飮	いん	洽	こう	滸	こ	熙	き	獪	かい	疆	きょう
抒	しょ	擒	きん	晨	しん	栲	こう	寨	さい	歇	かい	洸	こう	滾	こん	熈	き	獨	とく	疇	ちゅう
抓	そう	擅	せん	晟	じょう	桎	しつ	槊	さく	歃	しょう	洙	しゅ	漿	しょう	煦	く	獰	どう	畴	ちゅう
抖	とう	擇	たく	晢	せい	梳	そ	槝	かし	歉	かん	洵	しゅん	滲	しん	煢	けい	獸	じゅう	疊	じょう
拔	はい	撻	たつ	晰	しゃく	栫	せん	榻	とう	歐	おう	洳	じょ	漱	しゅう	煌	こう	獵	りょう	疉	じょう
抃	べん	擘	びゃく	暃	ひ	桙	ぼう	槃	はん	歙	きゅう	洒	さい	滯	たい	煖	かん	獻	けん	疂	じょう
抔	はい	擂	らい	暈	かさ	档	とう	榧	ひ	歔	きょ	洌	れつ	漲	ちょう	煬	よう	獺	かわうそ	疔	ちょう
拗	いく	擱	かく	暎	えい	桷	かく	樮	ほくそ	歛	かん	浣	かん	滌	じょう	熏	くん	珈	か	疚	きゅう
拑	かん	擧	きょ	暉	き	桿	かん	榑	ふ	歟	よ	涓	けん	漾	よう	燻	くん	玳	たい	疝	さん
抻	しん	舉	きょ	暄	けん	梟	ふくろう	榠	めい	歡	かん	浤	こう	漓	り	熄	そく	珎	ちん	疥	はたけ
拏	だ	擠	さい	暘	よう	梏	かく	榜	ほう	歸	き	浚	しゅん	滷	せき	熕	こう	玻	は	疣	いぼ
拿	だ	擡	たい	暝	みょう	梭	さ	榕	よう	歹	がつ	浹	しょう	澆	ぎょう	熨	うつ	珀	はく	痂	かさぶた
拆	せき	抬	たい	曁	き	梔	し	榴	りゅう	歿	ぼつ	浙	せつ	潺	さん	熬	ごう	珥	じ	疳	かん
擔	たん	擣	とう	暹	せん	條	じょう	槞	ろう	殀	よう	涎	よだれ	潸	さん	燗	かん	珮	はい	痃	けん
拈	せん	擯	ひん	曉	きょう	梛	だ	槨	かく	殄	てん	涕	てい	澁	しゅう	熹	き	珞	らく	疵	し
拜	はい	攬	らん	暾	とん	梃	ちょう	樂	がく	殃	おう	濤	とう	澀	しゅう	熾	おき	璢	りゅう	疽	しょ
拌	はん	擶	せん	暼	へつ	檮	とう	樛	きゅう	殍	ひょう	涅	でつ	潯	じん	燒	しょう	琅	ろう	疸	たん
拊	ふ	擴	かく	曄	よう	梹	ひん	槿	きん	殘	さん	淹	えん	潛	せん	燉	とん	瑯	ろう	疼	とう
拂	ひつ	擲	じゃく	暸	りょう	桴	ふ	權	けん	殕	ふう	渕	えん	濳	せん	燔	はん	琥	こ	疱	ほう
拇	ぼう	擺	はい	曖	あい	梵	ふう	槹	こう	殞	いん	渊	えん	潭	じん	燎	りょう	珸	ご	痍	い
拋	ほう	攀	はん	曚	ぼう	梠	りょ	槲	こく	殤	しょう	涵	かん	澂	ちょう	燠	いく	琲	はい	痊	せん
拉	らつ	擽	りゃく	曠	こう	梺	ふもと	槧	さん	殪	えい	淇	き	潼	とう	燬	き	琺	ほう	痒	よう
挌	かく	攘	じょう	昿	こう	椏	あ	樅	もみ	殫	たん	淦	かん	潘	はん	燧	すい	瑕	か	痙	けい
拮	かつ	攜	けい	曦	き	梍	そう	榱	すい	殯	ひん	涸	かく	澎	ほう	燵	たつ	琿	ぐん	痣	あざ
拱	きょう	攅	さん	曩	どう	桾	くん	樞	しゅ	殲	せん	淆	こう	澑	りゅう	燼	じん	瑟	しつ	痞	ひ
挧	ば	攤	たん	曰	えつ	椁	かく	槭	しゅく	殱	せん	淬	さい	濂	でん	燹	せん	瑙	のう	痾	あ
挂	かい	攣	れん	曳	えい	棊	き	樔	そう	殳	しゅ	淞	しょう	潦	ろう	燿	よう	瑁	ばい	痿	い
挈	けい	攫	かく	曷	かつ	椈	きく	槫	せん	殷	あん	淌	しょう	澳	いく	爍	しゃく	瑜	ゆ	痼	こ
拯	しょう	攴	ほく	朏	はい	棘	きょく	樊	はん	殼	かく	淨	じょう	澣	かん	爐	ろ	瑩	えい	瘁	すい
拵	そん	攵	ほく	朖	ろう	椢	かい	樒	みつ	毆	おう	淒	さい	澡	そう	爛	らん	瑰	かい	痰	たん
捐	えん	攷	こう	朞	き	椦	けん	櫁	みつ	毋	ぶ	淅	せき	澤	たく	爨	さん	瑣	さ	痺	ひ
挾	きょう	收	しゅう	朦	ぼう	棡	こう	樣	しょう	毓	いく	淺	せん	澹	せん	爭	そう	瑪	ば	痲	ば
捍	かん	攸	ゆう	朧	おぼろ	椌	こう	樓	ろう	毟	むしる	淙	そう	濆	ふん	爬	は	瑤	よう	痳	りん
搜	しゅう	畋	てん	霸	はく	棍	こん	橄	かん	毬	いが	淤	お	澪	れい	爰	えん	瑾	きん	瘋	ふう
捏	でつ	效	こう	朮	しゅつ	棔	こん	樌	かん	毫	こう	淕	りく	濟	さい	爲	い	璋	しょう	瘍	よう
掖	えき	敖	ごう	朿	し	棧	さん	橲	ずさ	毳	せい	淪	りん	濕	しゅう	爻	こう	璞	はく	瘉	ゆ
掎	き	敕	ちょく	朶	た	棕	しゅ	樶	さい	毯	たん	淮	かい	濬	しゅん	爼	しょ	璧	へき	瘟	おん
掀	きん	敍	じょ	杁	いり	椶	しゅ	橸	しょう	麾	き	渭	い	濔	でい	爿	しょう	瓊	けい	瘧	ぎゃく
掫	しゅ	敘	じょ	朸	りょく	椒	しょう	橇	きょう	氈	せん	湮	いん	濘	ねい	牀	しょう	瓏	ろう	瘠	せき

必要なとき

漢字変換表

漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな
瘡	かさ	瞼	まぶた	稱	しょう	箙	ふく	紲	せつ	纏	てん	聹	ねい	舐	し	菎	こん	蕷	よ	蝙	へん
瘢	はん	瞽	こ	稻	とう	篋	きょう	紿	たい	纐	こう	聽	ちょう	舖	ふ	菽	しゅく	蕾	つぼみ	蝓	ゆ
瘤	こぶ	瞻	せん	稾	こう	篁	こう	紵	ちょ	纓	えい	聿	いち	舩	せん	萃	さい	薐	れん	蝣	ゆう
瘴	しょう	矇	ぼう	稷	しょく	篌	こう	絆	きずな	纔	さい	肄	い	舫	ほう	菘	しゅう	藉	じゃく	蝪	とう
瘰	らい	矍	かく	穃	よう	篏	かん	絳	こう	纖	せん	肆	し	舸	か	萋	さい	薺	ざい	蠅	はえ
瘻	ろう	矗	しゅく	穗	すい	箴	しん	絖	こう	纎	せん	肅	しゅく	舳	ちゅう	菁	しょう	藏	そう	螢	けい
癇	かん	矚	しょく	穉	ち	篆	てん	絎	こう	纛	とう	肛	こう	艀	はしけ	菷	しゅう	薹	たい	螟	みょう
癈	はい	矜	きょう	穡	しょく	篝	こう	絲	し	纜	ともづな	肓	こう	艙	そう	萇	ちょう	藐	びょう	螂	ろう
癆	ろう	矣	い	穢	あい	篩	さい	絨	じゅう	缸	こう	肚	と	艘	そう	菠	は	藕	ぐう	螯	ごう
癜	てん	矮	あい	穩	おん	簑	さい	絮	しょ	缺	けつ	肭	とつ	艝	そり	菲	ひ	藝	げい	蟋	しつ
癘	らい	矼	こう	穐	しゅう	簔	さい	絏	せつ	罅	か	冐	ぼう	艚	そう	萍	びょう	藥	やく	螽	しゅう
癡	ち	砌	みぎり	穰	じょう	篦	へい	絣	かすり	罌	えい	肬	ゆう	艟	しょう	萢	やち	藜	れい	蟀	しゅつ
癢	よう	砒	へい	穹	きゅう	篥	りき	經	きょう	罍	らい	胛	こう	艤	ぎ	萠	ほう	藹	あい	蟐	じょう
癨	かく	礦	こう	穽	せい	籠	かご	綉	しゅう	罎	たん	胥	しょ	艢	しょう	莽	ぼう	蘊	うん	雖	すい
癩	らい	砠	しょ	窈	よう	簀	さく	條	じょう	罐	かま	胙	さく	艨	ぼう	萸	ゆ	蘓	す	螫	かく
癪	しゃく	礪	れい	窗	そう	簇	そう	綏	すい	网	ぼう	胝	ち	艪	ろ	蔆	りょう	蘋	ひん	蟄	ちゅう
癧	れき	硅	きゃく	窕	ちょう	簓	ささら	絽	りょ	罕	かん	胄	ちゅう	艫	ろ	菻	りん	藾	らい	螳	とう
癬	せん	碎	さい	窘	きん	篳	ひち	綛	かせ	罔	ぼう	胚	はい	舮	ろ	葭	か	藺	りん	蟇	ば
癰	よう	硴	かき	窖	こう	篷	ほう	綺	き	罘	ふ	胖	はん	艱	かん	萪	か	蘆	ろ	蟆	ば
癲	てん	碆	は	窩	か	簗	やな	綮	けい	罟	こ	脉	みゃく	艷	えん	萼	がく	蘢	ろう	螻	ろう
癶	はつ	硼	ほう	竈	かまど	簍	ろう	綣	かん	罠	わな	胯	か	艸	そう	蕚	がく	蘚	せん	蟯	ぎょう
癸	き	碚	はい	窰	よう	篶	えん	綵	さい	罨	あん	胱	こう	艾	もぐさ	蒄	かん	蘰	かつら	蟲	ちゅう
發	はつ	碌	ろく	窶	ろう	簣	き	緇	し	罩	とう	脛	はぎ	芍	しゃく	葷	くん	蘿	ら	蟠	はん
皀	そう	碣	けつ	竅	きょう	簧	こう	綽	しゃく	罧	しん	脩	しゅう	芒	こう	葫	こ	虍	こ	蠏	かい
皃	ばく	碵	てい	竄	さん	簪	かんざし	綫	せん	罸	ばち	脣	しん	芫	がん	蒭	しゅう	乕	こ	蠍	さそり
皈	き	碪	ちん	窿	りゅう	簟	てん	總	そう	羂	けん	脯	ふ	芟	さん	葮	たん	虔	けん	蟾	せん
皐	こう	碯	どう	邃	すい	簷	えん	綢	ちゅう	羆	ひ	腋	えき	芻	しゅう	蒂	たい	號	こう	蟶	てい
皎	きょう	磑	がい	竇	とう	簫	しょう	綯	とう	羃	べき	隋	すい	芬	ふん	葩	は	虧	き	蟷	とう
皖	かん	磆	かつ	竊	せつ	簽	せん	緜	べん	羈	き	腆	てん	苡	い	葆	ほう	虱	しらみ	蠎	ぼう
皓	こう	磋	さ	竍	でかりっとる	籌	ちゅう	綸	かん	羇	き	脾	ひ	苣	きょ	萬	ばん	蚓	いん	蟒	ぼう
皙	せき	磔	はりつけ	竏	きろりっとる	籃	らん	綟	れい	羌	きょう	腓	ひ	苟	こう	葯	やく	蚣	こう	蠑	えい
皚	がい	碾	てん	竕	でしりっとる	籔	しゅ	綰	わん	羔	こう	腑	ふ	苒	ぜん	葹	し	蚩	し	蠖	かく
皰	ほう	碼	ば	竓	みりりっとる	籏	き	緘	かん	羞	しゅう	胼	へん	苴	しゃ	萵	わ	蚪	とう	蠕	じゅ
皴	しゅん	磅	ぽんど	站	たん	籀	ちゅう	緝	しゅう	羝	てい	腱	けん	苳	とう	蓊	おう	蚋	ぶよ	蠢	しゅん
皸	きん	磊	らい	竚	ちょ	籐	とう	緤	せつ	羚	りょう	腮	さい	苺	いちご	葢	かい	蚌	ほう	蠡	らい
皹	ひび	磬	けい	竝	へい	籘	とう	緞	たん	羣	くん	腥	しょう	莓	ばい	蒹	けん	蚶	かん	蠱	こ
皺	しわ	磧	せき	竡	へくとりっとる	籟	らい	緻	ち	羯	かつ	腦	どう	范	はん	蒿	こう	蚯	きゅう	蠶	さん
盂	う	磚	せん	竢	し	籤	くじ	緲	びょう	羲	き	腴	ゆ	苻	ふ	蒟	こん	蛄	こ	蠹	と
盍	こう	磽	きょう	竦	しょう	籖	せん	緡	こん	羮	かん	膃	おつ	苹	ひょう	蓙	ざ	蛆	うじ	蠧	と
盖	かい	磴	とう	竭	けつ	籥	やく	縅	おどし	羹	かん	膈	かく	苞	ひょう	蓍	し	蚰	ゆう	蠻	ばん
盒	こう	礇	いく	竰	せんちりっとる	籬	り	縊	えい	羶	せん	膊	はく	茆	りゅう	蒻	じゃく	蛉	れい	衄	じく
盞	さん	礒	ぎ	笂	うつぼ	籵	でかめーとる	縣	けん	羸	るい	膀	ほう	苜	ぼく	蓚	しゅう	蠣	れい	衂	じく
盡	じん	礑	とう	笏	こつ	粃	ひ	縡	さい	譱	ぜん	膂	りょ	茉	ばつ	蓐	じょく	蚫	ほう	衒	けん
盥	たらい	礙	がい	笊	ざる	粐	すくも	縒	し	翅	し	膠	にかわ	苙	きゅう	蓁	しん	蛔	かい	衙	ぎょ
盧	ろ	礬	はん	笆	は	粤	えつ	縱	じゅう	翆	すい	膕	かく	茵	いん	蓆	せき	蛞	かつ	衞	えい
盪	とう	礫	つぶて	笳	か	粭	すくも	縟	じょく	翊	よく	膤	たら	茴	うい	蓖	へい	蛩	きょう	衢	く
蘯	とう	祀	し	笘	ちょう	粢	せい	縉	しん	翕	きゅう	膣	ちつ	茖	きゃく	蒡	ほう	蛬	きょう	衫	さん
盻	けい	祠	ほこら	笙	しょう	粫	じ	縋	つい	翔	しょう	腟	ちつ	茲	し	蔡	さい	蛟	きょう	袁	えん
眈	たん	祗	し	笞	ち	粡	とう	縢	とう	翡	ひ	膓	ちょう	茱	しゅ	蓿	しゅく	蛛	しゅ	衾	ふすま
眇	びょう	祟	すい	笵	はん	粨	へくとめーとる	繆	きゅう	翦	せん	膩	じ	荀	しゅん	蓴	しゅん	蛯	えび	袞	こん
眄	べん	祚	そ	笨	ほん	粳	うるち	繦	きょう	翩	へん	膰	はん	茹	じょ	蔗	しゃ	蜒	えん	衵	じつ
眩	かん	祕	ひ	笶	し	粲	さん	縻	び	翳	えい	膵	すい	荐	せん	蔘	さん	蜆	しじみ	衽	じん
眤	だい	祓	はい	筐	きょう	粱	りょう	縵	ばん	翹	ぎょう	膾	かい	荅	とう	蔬	しょ	蜈	ご	袵	じん
眞	しん	祺	き	筺	きょう	粮	りょう	縹	ひょう	飜	はん	膸	すい	茯	ふく	蔟	そう	蜀	しょく	衲	どう
眥	さい	祿	ろく	笄	けい	粹	さい	繃	ひょう	耆	き	膽	たん	茫	ぼう	蔕	たい	蜃	しん	袂	たもと
眦	さい	禊	けい	筍	たけのこ	粽	ちまき	縷	ろう	耄	ぼう	臀	でん	茗	みょう	蔔	ふく	蛻	せい	袗	しん
眛	ばい	禝	しょく	笋	しゅん	糀	こうじ	縲	るい	耋	てつ	臂	ひ	荔	れい	蓼	りょう	蜑	たん	袒	たん
眷	けん	禧	き	筌	せん	糅	じゅう	縺	れん	耒	らい	膺	おう	莅	れい	蕀	きょく	蜉	ふ	袮	しょう
眸	ぼう	齋	さい	筅	せん	糂	さん	繧	うん	耘	うん	臉	けん	莚	えん	蕣	しゅん	蜍	しょ	袙	ばつ
睇	だい	禪	せん	筵	むしろ	糘	すくも	繝	かん	耙	は	臍	へそ	莪	が	蕘	じょう	蛹	さなぎ	袢	はん
睚	がい	禮	らい	筥	きょ	糒	ひ	繖	さん	耜	し	臑	すね	莟	かん	蕈	きん	蜊	り	袍	ほう
睨	げい	禳	じょう	筴	きょう	糜	び	繞	じょう	耡	じょ	臙	えん	莢	さや	蕁	じん	蜴	えき	袤	ぼう
睫	まつげ	禹	う	筧	けん	糢	ぼ	繙	はん	耨	じょく	臘	ろう	莖	けい	蘂	ずい	蜿	えん	袰	ほろ
睛	しょう	禺	ぐう	筰	さく	鬻	しゅく	繚	りょう	耿	けい	臈	ろう	茣	ご	蕋	ずい	蜷	けん	袿	けい
睥	へい	秉	へい	筱	しょう	糯	だ	繹	えき	耻	ち	臚	りょ	莎	しゃ	蕕	ゆう	蜻	せい	袱	ふく
睿	えい	秕	ひ	筬	じょう	糲	らい	繪	かい	聊	りょう	臟	そう	莇	じょ	薀	うん	蜥	せき	裃	かみしも
睾	こう	秧	おう	筮	せい	糴	てき	繩	じょう	聆	りょう	臠	れん	莊	しょう	薤	かい	蜩	ちょう	裄	ゆき
睹	と	秬	きょ	箝	かん	糶	ちょう	繼	けい	聒	かつ	臧	そう	荼	た	薈	かい	蜚	ひ	裔	えい
瞎	かつ	秡	はつ	箘	きん	糺	きゅう	繻	しゅ	聘	へい	臺	たい	莵	つ	薑	きょう	蝠	ふく	裘	きゅう
瞋	しん	秣	まぐさ	箟	きん	紆	う	纃	かすり	聚	しゅう	臻	しん	荳	とう	薊	あざみ	蝟	い	裙	くん
瞑	みょう	稈	かん	箍	こ	紂	ちゅう	緕	かすり	聟	せい	臾	よう	荵	じん	薨	こう	蝸	か	裝	しょう
瞠	とう	稍	しょう	箜	こう	紜	うん	繽	ひん	聢	しかと	舁	よ	莠	ゆう	蕭	しょう	蝌	か	裹	か
瞞	ばん	稘	き	箚	さつ	紕	ひ	辮	へん	聨	れん	舂	しょう	莉	らい	薔	しょう	蝎	かつ	褂	かい
瞰	かん	稙	ちょく	箋	せん	紊	びん	繿	らん	聳	しょう	舅	しゅうと	莨	ろう	薛	せつ	蝴	こ	裼	せき
瞶	き	稠	ちゅう	箒	ほうき	絅	けい	纈	けち	聲	しょう	與	よ	菴	あん	藪	やぶ	蝗	いなご	裴	はい
瞹	あい	稟	ひん	箏	しょう	絋	こう	纉	さん	聰	そう	舊	きゅう	萓	ぎ	薇	び	蝨	しつ	裨	ひ
瞿	く	禀	ひん	筝	しょう	紮	さつ	續	しょく	聶	しょう	舍	しゃ	菫	すみれ	薜	へい	蝮	まむし	裲	りょう

漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな	漢字	読みがな
褄	つま	諚	じょう	賈	か	躡	じょう	銛	もり	閼	あつ	靦	てん	饌	さん	魃	はつ	鵈	ちょう	鼾	いびき
褌	ふんどし	諫	かん	賁	ふん	躬	きゅう	鉚	りゅう	閻	えん	靨	よう	饕	とう	魏	ぎ	鵝	が	齊	さい
褊	へん	諳	あん	賤	せん	躰	たい	鋏	はさみ	閹	えん	勒	ろく	馗	き	魍	ぼう	鵞	が	齒	し
褓	ほう	諧	かい	賣	ばい	軆	たい	銹	しゅう	閾	いき	靫	さい	馘	かく	魎	りょう	鵤	いかる	齔	しん
褒	ほう	諤	がく	賚	らい	躱	た	銷	しょう	闊	かつ	靱	うつぼ	馥	ひょく	魑	ち	鵑	けん	齣	しゅつ
褞	うん	諱	き	賽	さい	躾	しつけ	鋩	ぼう	濶	かつ	靹	とも	馭	ぎょ	魘	えん	鵐	ぶ	齟	しょ
褥	じょく	謔	きゃく	賺	たん	軅	やがて	錏	あ	闃	けき	鞅	おう	馮	ひょう	魴	ほう	鵙	もず	齠	ちょう
褪	たい	諠	けん	賻	ふ	軈	やがて	鋺	えん	闍	じゃ	靼	たつ	馼	ぶん	鮓	さ	鵲	しゃく	齡	れい
褫	ち	諢	こん	贄	し	軋	あつ	鍄	きょう	闌	らん	鞁	ひ	駟	し	鮃	ひょう	鶉	うずら	齦	ぎん
襁	きょう	諷	ふう	贅	ぜい	軛	あく	錮	こ	闕	けつ	靺	ばつ	駛	し	鮑	ほう	鶇	とう	齧	けつ
襄	しょう	諞	へん	贊	さん	軣	こう	錙	し	闔	こう	鞆	とも	駝	た	鮖	かじか	鶫	つぐみ	齬	ぎょ
褻	せつ	諛	ゆ	贇	いん	軼	いつ	錢	せん	闖	ちん	鞋	あい	駘	たい	鮗	このしろ	鵯	ひつ	齪	さく
褶	しゅう	謌	か	贏	えい	軻	か	錚	そう	關	かん	鞏	きょう	駑	ど	鮟	あん	鵺	や	齷	あく
褸	ろう	謇	けん	贍	せん	軫	しん	錣	てい	闡	せん	鞐	こはぜ	駭	かい	鮠	がい	鶚	がく	齲	う
襌	たん	謚	し	贐	しん	軾	しょく	錺	かざり	闥	たつ	鞜	とう	駮	はく	鮨	すし	鶤	こん	齶	がく
襌	たん	諡	し	齎	さい	輊	ち	錵	にえ	闢	びゃく	鞨	かつ	駱	らく	鮴	ごり	鶩	ぼく	龕	かん
襠	まち	謖	しゅく	贓	そう	輅	かく	錻	ぶ	阡	せん	鞦	しゅう	駲	しゅう	鯀	こん	鶲	おう	龜	きゅう
襞	ひだ	謐	ひつ	賍	そう	輕	きょう	鍜	か	阨	あい	鞣	じゅう	駻	かん	鯊	はぜ	鷄	けい	龠	やく
襦	じゅ	謗	ほう	贔	ひ	輒	ちょう	鍠	こう	阮	げん	鞳	とう	駸	しん	鮹	しょう	鷁	げき	堯	ぎょう
襤	らん	謠	よう	贖	しょく	輙	ちょう	鍼	しん	阯	し	鞴	ふく	騁	てい	鯆	ふ	鶻	かつ	槇	しん
襭	けつ	謳	おう	赧	たん	輓	ばん	鍮	ちゅう	陂	は	韃	たつ	騏	き	鯏	あさり	鶸	じゃく	遙	よう
襪	ばつ	鞫	きく	赭	しゃ	輜	し	鍖	ちん	陌	はく	韆	せん	騅	すい	鯑	かずのこ	鶺	せき	瑤	よう
襯	しん	謦	けい	赱	しゅ	輟	てつ	鎰	いつ	陏	ずい	韈	ばつ	駢	へん	鯒	こち	鷆	てん	凜	りん
襴	らん	謫	ちゃく	赳	きゅう	輛	りょう	鎬	こう	陋	ろう	韋	い	騙	へん	鯣	えき	鷏	てん	熈	き
襷	たすき	謾	ばん	趁	ちん	輌	りょう	鎭	ちん	陷	かん	韜	とう	騫	けん	鯢	げい	鷂	よう		
襾	あ	謨	ぼ	趙	ちょう	輦	れん	鎔	よう	陜	きょう	韭	きゅう	騷	そう	鯤	こん	鷙	ちつ		
覃	えん	譁	か	跂	き	輳	そう	鎹	かすがい	陞	しょう	齏	さい	驅	く	鯔	し	鷓	しゃ		
覈	かく	譌	か	趾	し	輻	ふく	鏖	おう	陝	せん	韲	さい	驂	さん	鯡	ひ	鷸	いつ		
覊	き	譏	き	趺	ふ	輹	ふく	鏗	こう	陟	ちょく	竟	きょう	驀	ばく	鰺	あじ	鷦	しょう		
覓	べき	譎	きつ	跏	か	轅	えん	鏨	さん	陦	とう	韶	しょう	驃	ひょう	鯲	どじょ	鷭	はん		
覘	てん	證	しょう	跚	さん	轂	こく	鏥	しゅう	陲	すい	韵	いん	騾	ら	鯱	しゃちほこ	鷯	りょう		
覡	けき	譖	しん	跖	せき	輾	てん	鏘	しょう	陬	しゅう	頏	こう	驕	きょう	鯰	なまず	鷽	あく		
覩	と	譛	しん	跌	てつ	轌	そり	鏃	やじり	隍	こう	頌	しょう	驍	きょう	鰕	か	鸚	いん		
覦	ゆ	譚	たん	跛	ちんば	轉	てん	鏝	こて	隘	あい	頸	けい	驛	えき	鰔	かん	鸛	かん		
覬	き	譫	せん	跋	はつ	轆	ろく	鏐	りゅう	隕	いん	頤	い	驗	けん	鰉	こう	鸞	らん		
覯	こう	譟	そう	跪	き	轎	きょう	鏈	れん	隗	かい	頡	かつ	驟	しゅう	鰓	さい	鹵	ろ		
覲	きん	譬	ひ	跫	きょう	轗	かん	鏤	ろう	險	けん	頷	かん	驢	りょ	鰌	しゅう	鹹	かん		
覺	かく	譯	えき	跟	こん	轜	じ	鐚	あ	隧	すい	頽	たい	驥	き	鰆	しゅん	鹽	えん		
覽	らん	譴	けん	跣	せん	轢	れき	鐔	しん	隱	いん	顆	か	驤	しょう	鰈	かれい	麁	そ		
覿	てき	譽	よ	跼	きょく	轣	れき	鐓	たい	隲	ちょく	顏	がん	驩	かん	鰒	ふく	麈	しゅ		
觀	かん	讀	とう	踈	しょ	轤	ろ	鐃	にょう	隰	しゅう	顋	さい	驫	ひゅう	鰊	にしん	麋	び		
觚	こ	讌	えん	踉	りょう	辜	こ	鐇	はん	隴	りょう	顫	せん	驪	れい	鰄	い	麌	ぐ		
觜	すい	讎	しゅう	跿	と	辟	へい	鐐	りょう	隶	たい	顯	けん	骭	かん	鰮	おん	麒	き		
觝	てい	讒	さん	踝	くるぶし	辣	らつ	鐶	かん	隸	れい	顰	ひん	骰	とう	鰛	おん	麕	きん		
觧	かい	讓	じょう	踞	きょ	辭	し	鐫	せん	隹	さい	顱	ろ	骼	かく	鰥	かん	麑	げい		
觴	しょう	讖	しん	踐	せん	辯	へん	鐵	てち	雎	しょ	顴	かん	髀	へい	鰤	ぶり	麝	しゃ		
觸	しょく	讙	かん	踟	ち	辷	すべる	鐡	てち	雋	しゅん	顳	しょう	髏	ろう	鰡	りゅう	麥	ばく		
訃	ふ	讚	さん	蹂	じゅう	迚	とて	鐺	そう	雉	きじ	颪	おろし	髑	とく	鰰	はたはた	麩	ふ		
訖	きつ	谺	か	踵	かかと	迥	ぎょう	鑁	ばん	雍	よう	颯	さつ	髓	すい	鱇	こう	麸	ふ		
訐	けつ	豁	かつ	踰	よう	迢	ちょう	鑒	かん	襍	ざつ	颱	たい	體	たい	鰲	ごう	麪	べん		
訌	こう	谿	かい	踴	よう	迪	てき	鑄	しゅう	雜	ざつ	颶	く	髞	そう	鱆	しょう	麭	ほう		
訛	なまり	豈	あに	蹊	けい	迯	とう	鑛	こう	霍	かく	飃	ひょう	髟	ひゅう	鰾	ひょう	靡	ひ		
訝	が	豌	えん	蹇	けん	邇	じ	鑠	しゃく	雕	ちょう	飄	ひょう	髢	てい	鱚	きす	黌	こう		
訥	とつ	豎	じゅ	蹉	さ	逈	かい	鑢	やすり	雹	はく	飆	ひょう	髣	ほう	鱠	かい	黎	れい		
訶	か	豐	ふう	蹌	しょう	逅	こう	鑞	ろう	霄	しょう	飩	とん	髦	ぼう	鱧	れい	黏	でん		
詁	こ	豕	し	蹐	せき	迹	しゃく	鑪	ろ	霆	てい	飫	お	髯	ぜん	鱶	しょう	黐	ち		
詛	しょ	豢	かん	蹈	とう	迺	だい	鈩	ろ	霈	はい	餃	きょう	髫	ちょう	鱸	ろ	黔	きん		
詒	たい	豬	ちょ	蹙	しゅく	逑	きゅう	鑰	やく	霓	げい	餉	しょう	髮	はつ	鳧	ふ	黜	ちゅつ		
詆	てい	豸	たい	蹤	しょう	逕	けい	鑵	かん	霎	しょう	餒	だい	髴	ふつ	鳬	ふ	點	てん		
詈	り	豺	さい	蹠	せき	逡	しゅん	鑷	じょう	霑	てん	餔	ふ	髱	ほう	鳰	にお	黝	ゆう		
詼	かい	貂	ちょう	踪	しょう	逍	しょう	鑽	さん	霏	ひ	餘	よ	髷	まげ	鴉	あ	黠	かつ		
詭	き	貉	かく	蹣	はん	逞	てい	鑚	さん	霖	りん	餡	あん	髻	きつ	鴈	がん	黥	けい		
詬	こう	貅	きゅう	蹕	ひつ	逖	てき	鑼	ら	霙	みぞれ	餝	しょく	鬆	しょう	鳫	がん	黨	とう		
詢	しゅん	貊	みゃく	蹶	けい	逋	ふ	鑾	らん	霤	りゅう	餞	はなむけ	鬘	かつら	鴃	けい	黯	あん		
誅	ちゅう	貍	り	蹲	しゅん	逧	さこ	钁	かく	霪	いん	餤	たん	鬚	しゅ	鴆	ちん	黴	かび		
誂	ちょう	貎	げい	蹼	ほく	逶	い	鑿	のみ	霰	あられ	餠	ひょう	鬟	かん	鴪	いく	黶	あん		
誄	るい	貔	ひ	躁	そう	逵	き	閂	かんぬき	霹	ひゃく	餬	こ	鬢	びん	鴦	おう	黷	とく		
誨	かい	豼	ひ	躇	ちゃく	逹	だち	閇	へい	霽	さい	餮	てつ	鬣	たてがみ	鶯	うぐいす	黹	ち		
誡	かい	貘	みゃく	躅	ちょく	迸	ひょう	閊	つかえる	霾	ばい	餽	き	鬥	とう	鴣	こ	黻	ふつ		
誑	きょう	戝	さい	躄	いざり	遏	あつ	閔	びん	靄	もや	餾	りゅう	鬧	う	鴟	し	黼	ふ		
誥	こう	貭	しち	躋	さい	遐	か	閖	ゆり	靆	たい	饂	うん	鬨	とき	鵄	し	黽	びん		
誦	しょう	貪	たん	躊	ちゅう	遑	こう	閘	おう	靈	りょう	饉	きん	鬩	けき	鴕	た	鼇	ごう		
誚	しょう	貽	い	躓	ち	遒	しゅう	閙	とう	靂	れき	饅	まん	鬪	とう	鴒	れい	鼈	へつ		
誣	ふ	貲	し	躑	てき	逎	しゅう	閠	ぎょく	靉	あい	饐	えつ	鬮	きゅう	鴞	こう	鼓	こ		
諄	しゅん	貳	じ	躔	てん	遉	てい	閨	けい	靜	じょう	饋	き	鬯	ちょう	鴿	こう	鼕	とう		
諍	しょう	貮	じ	躙	りん	逾	ゆ	閧	こう	靠	こう	饑	き	鬲	かく	鴾	ぼう	鼡	しょ		
諂	てん	貶	へん	躪	りん	遖	あっぱれ	閭	りょ	靤	ほう	饒	じょう	魄	たく	鵆	ちどり	鼬	いたち		

索引

あ

い

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理はサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルファクシミリの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

・84ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、 修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、 お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	パーソナルファクス
品　番	UF-L1WCL/UF-L2CL
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い
●商品の故障、誤動作または停電などの外部要因により、ファクス送・受信、Eメール送・受信、録音、通話及び料金管理などにおいて発生した損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機は日本国内用です。(日本国外での使用は法律違反となります。)国外での使用に対するサービスは致しかねます。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは　365日）
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

（よくお読みください）

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0101

別売品

増設子機	品番：UF-NA600-A,UF-NA600-G UF-NA600-H,UF-NA600-P UF-NA500-S,UF-NA500-W UF-NA150
ドアホンアダプター	品番：VE-DA10-H
無極性ドアホン 品番：VL-568KA-T/H,VL-568-U,VL-568K-T/H, VL-592,VL-593,VL-594A,VL568R-ST, VL-568-ST,VF-523U,VL-140TVAK （松下通信工業製） HA-S18-B,HA-S60B-T/K,HA-S70B-K, HA-S101B-T/K（松下寿電子工業製）	

消耗品

記録紙 （A4サイズカット紙）	品番：UG-0601A4
電池パック （子機用）	品番：UG-4405 ：HHR-TA3/1BA1 （松下電池工業製）
電池パック （ハンドスキャナー用）	品番：UG-4404 ：P-AA43/1BA06 （松下電池工業製）
インクフィルム（黒） （青） （赤） （緑）	品番：UF-3050 UF-3060-A UF-3060-R UF-3060-G

愛情点検　長年ご使用のファクスの点検を！

このような症状はありませんか

- **●電源を入れても動かないことがある。**
- **●こげくさい臭いや異常な音、振動がする。**
- **●記録紙や送信原稿がたびたびつまる。**
- **●時刻表示が大幅にくるうことがある。**
- **●その他の異常や故障がある。**

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	UF-L1WCL UF-L2CL
販売店名	☎　（　　　）　　-		
お客様ご相談窓口	☎　（　　　）　　-		

松下電器産業株式会社
松下電送システム株式会社
〒153-8687 東京都目黒区下目黒2-3-8

T02011-1061
DZSD001323-1